

ISSN 1344-7920

名古屋大学医学部保健学科

教 育 ・ 研 究 年 報

第 6 卷



*Annual Report  
of  
Nagoya University School of Health Sciences*

2003

## 名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第6巻の刊行によせて

名古屋大学医学部保健学科長

古池保雄

平成15年は本学にとって着実な発展のなかに、変化の「大きな波」が押し寄せた1年でした。

平成10年発足の保健学科（学部）は6期生を迎え入れ、平成14年発足の修士課程は2期生が入学し、学生数は学部生865名（編入生含）、修士課程123名、総計988名の大きな学科へと成長しました。この大幸キャンパスで毎年約1000名の学生が保健学科各専攻の教育を受け、夫々の専門職への道を歩んでいることを思う時、この1年間になされた大幸キャンパスでの様々な実践・努力の大きさに改めて思いを致します。

さらに、保健学科の最大の課題であった博士課程（後期課程）は平成15年11月に設置審議会の認可を得るに至り、保健学科の土台は築かれました。

博士課程（後期課程）設置に至る第一の要因は本学科教職員各位の多大な努力の結果であることは論を待ちません。しかし同時に、博士課程（後期課程）を持つことはこれまでの延長上に「自動的」に成し得るものではないことも明らかになりました。

平成16年は国立大学法人へと国立大学制度が一大変革する年にあたります。この平成16年本学は国立大学法人として初めて、3専攻の博士課程（後期課程）を持つ保健学科として出発しようとしています。本学は教育を通して有為な人材を育成し、医学医療の発展に参画することによって本学の存置理由を社会に問います。そして、平成16年からは大学院の研究教育活動を通しての学問的成果をもってその存置理由を問う責務が、改めて明確に加わることになります。この責任を果たすためには、これまでの延長ではなく、飛躍的な努力が求められます。その努力の実現のためには個々人の一層の努力とともに様々なレベルでの「協力・連携」が必要になるでしょう、積極的に「協力・連携」の機会を創っていく努力も、また、重要になりましょう。

教育・研究年報は本学における努力の成果を示す「道標」であると同時に、この一大変革の時期、「協力・連携」を強化させる等、本学の発展にとって有用な「資料」となることを念願致します。

## 目 次

1. 各専攻の教育・研究活動	1
2. 公開講座	23
3. 業績	27
看護学専攻	29
放射線技術科学専攻	51
検査技術科学専攻	69
理学療法学専攻	91
作業療法学専攻	101

1. 各専攻の教育・研究活動  
(平成14年度)

## 看護学専攻

(1年間の流れ)

平成14年3月25日、保健学科第1期生の卒業式が行われ看護学専攻卒業生85名が社会人として巣立っていき、同年4月8日、希望に胸を膨らませた新入生80名と編入生10名が入学してきました。1期生を卒業させることができ、大学教育の全体が一通り見えてきました。更に平成14年4月10日、修士課程の初めての選抜試験が行われ21名が合格、4月30日に当大学内大講義室にて入学式が挙行され、新たな教育のスタートをきりました。同時に博士課程の準備が開始されました。

### 1. 運営

平成14年の本専攻は36名の構成員（内部は4講座に分かれています）によって教育が行われ、各教官はそれぞれ4講座の特徴的専門領域を研究しております。看護学専攻会議（通常、教授と助教授による）は月2回設けられておりましたが、カリキュラムが膨らみ会議のための時間調整が困難をきたし、月1回がやっとという状況になってしまいました。そこで各講座の代表者（講座長）会議を専攻会議の前に行うよう努力し、問題の収集に当たりました。各講座は助手を含む全員で毎月講座会議がもたれております。また、主任は各種委員から毎月進行状況などを聞き、必要に応じて直接ワーキングに参加して専攻会議にかける等で、問題の遅延や情報の漏れを防ぐシステムをとり複雑化している学科と専攻と名大病院の運営の調整が行われました。

人事関係：退職者及び就任者

- 基礎看護学講座：中木高夫教授退職で後任として山内豊明教授就任、任和子助教授の退職後任として神里みどり助教授が就任、生田美智子、渡邊あゆみ、小笠原ゆかりの助手に代わり野坂久美子、相原優子、大宮絵里子助手就任
- 臨床看護学講座：北川裕子、嵯峨伸代助手に代わり井口弘子助手が就任
- 発達看護学講座：飯田美代子助教授辞任で濱松加寸子助教授が就任、石走知子助手退職で後任として渡邊実香助手が就任
- 地域・在宅看護学講座：伊藤隆之教授退職の後任として平井真理教授就任

### 2. 教育活動

- 1) 第2期生の国家試験合格については保健師90.6%、助産師93.3%、看護師98.6%という結果でありました。
- 2) 恒例となっている新入生合宿ガイダンスは愛知県青年の家で4月27日(土)、28日(日)で行われました。発達看護学講座の教官が中心となり、1年生80人、編入生12人、上級生22人、教官22人という大規模なもので学生たちは大変楽しかったと感想を述べております。
- 3) 修士の教育が開始される。受講生たちの緊張した面もちと、授業担当の教官の緊張感が漂っております。特に授業時間についての問題が発生し、土曜日の開講授業など教官は授業案づくりに寝る暇もないほどの忙しさに追い込まれておりました。
- 4) 新カリキュラムが1年生から開始となりました。同時に実習案などの見直しと新カリキュラムに向けての実習の考え方や方法などを整理するために、コア・カリキュラム委員会（これは看護技術検討委員会）と基盤委員会（実習要項を作成する委員会）が設けられ、毎週委員会活動が活発に行われました。

### 3. 研究活動

博士課程設置に向けて各教官は今までも増して熱心に研究に取り組んで努力いたしました。以下に各教官の研究の特徴を紹介します。

後藤節子教授：絨毛性疾患治療の海外技術移転，ジェンダーストレスの文理複合的研究

山内豊明 教授：看護実践におけるアセスメント理論構築と実証的研究，看護ケアシステムについての評価システムならびにその指標の開発

河津芳子 教授：看護師の対人関係形成能力育成に関する研究

森島恒雄 教授：中枢神経ウイルス感染症の病態の解明，免疫不全状態におけるウイルス感染症の動態，ウイルスの母子感染，ウイルス性肝炎の病態の解明および治療，院内感染の現状と対策

安田道子 教授：早期母子関係に問題を持つ事例の心理療法

渡邊順子 助教授：ベッドレストによる身体侵襲を緩和するポジショニング看護介入の開発

神里みどり 助教授：乳癌患者の更年期障害とその関連要因、QOL、対処行動および症状マネジメントに関する研究

水溪雅子 教授：精神看護における人の感情に関する研究，精神障害者のリハビリテーションと家族サポート

松村悠子 教授：意識障害患者の食事への看護一味覚刺激による脳波反応の研究—

渡邊憲子 教授：周手術期患者における看護問題の研究、QOLの視点からの根拠

片岡秋子 助教授：足部マッサージ・複式呼吸の看護介入が患者の心身に及ぼす効果

安藤詳子 助教授：がん性疼痛緩和ケアにおける実践知尺度の開発に関する研究

石黒彩子 教授：アレルギーをもつ子どもの看護

森田せつ子 教授：里帰り出産が親への移行過程に及ぼす要因に関する研究

玉里八重子 教授：周産期にある夫婦の親への移行に関する研究，女性の発達課題への支援に関する研究

浅野みどり 助教授：発達障害・慢性疾患の子どもをもつ家族のQOLに関する研究

濱松加寸子 助教授：出産の質的向上をめざす看護専門職（助産師）論および役割研究，保健・医療・看護・福祉サービスの有機的連携に関する研究

榊原久孝 教授：地域職域における健康の維持増進に関与する要因に関する疫学研究

梶田悦子 教授：骨粗鬆症予防の保健指導指針策定と骨折に関連する要因の研究

前川厚子 教授：ストーマ保有者の自己適応を促進する継続看護提供モデルの開発

平井眞理 教授：循環器領域における先進医療開発とその在宅医療支援システムの構築

吉田久美子 助教授：子どもの虐待防止とヘルスプロモーションに関する研究

#### 4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

- 1) 看護相談外来：4年目を迎え地域住民の健康支援の拠点を目指して活動が継続されている。毎週火曜日の午前1～2名の相談を受け、地域住民に貢献している。
- 2) 昨年にひきつづき国際的交流を活発にするために、山内教授はアメリカ及びカナダ等の大学との関連を強化し10大学との交渉を進めている。更に石黒教授らによるアメリカシアトル、ワシントン大学との交流を深める訪問が行われた。
- 3) 当看護学専攻で立ち上げた「日本看護医療学会」は順調に発展し、本年は第4回学術集会在静岡県立大学において盛大に行われた。

(主任：松村悠子)

## 放射線技術科学専攻

第1回のノーベル賞受賞者であるレントゲンによるX線の発見、同じく第3回のノーベル賞受賞に輝くベクレル、キュリー夫妻による放射性同位元素からの放射線の発見、直後における医療への応用等、19世紀末から20世紀初頭にかけては診療放射線技師にとっては重要な時期であった。それ以来100年を経過した21世紀においては、めざましい科学技術の発展に支えられて、医療分野における診断・治療面でも高度化が進んでいる。特に診療放射線技師がなすべきであり、なさなければならない業務は広がりを見せると共に、診療放射線技師に対する高度な知識と技術への要求が拡大している。そのため当専攻で扱うべき内容は一般的なX線診断装置、X線CT装置、核磁気共鳴診断装置、超音波診断装置、ガンマカメラなどを用いる診断、 $\gamma$ 線・加速器からのX線や粒子線による治療、さらに線量計測や安全管理が重要である。このような情勢から本学では4年制化を図り、平成14年3月には第1回の卒業生を送り出した。全国の国立大学も順次4年制へ移行している中で、本学の保健学科は大学院修士課程を設置した。放射線技術科学専攻は検査技術科学専攻と医学系研究科医療技術学専攻名で1専攻とし、当専攻は医用量子科学分野として10名の定員で平成14年度発足した。修士課程では医療現場で問題解決能力を備えた診療放射線技師、企業において開発研究やシステムエンジニアリングに携わる技術者、教育・研究機関で学問追求に対して必要な能力を発揮しうる教育・研究者の養成に務めている。

### 1. 運営

本専攻は形式上、基礎放射線技術学講座と医用放射線技術学講座の2つの大講座により構成されていて、平成14年度は前年と同じ19名の教官が在職しているが、研究活動は講座ごとではなく各々の教官が広い分野で先端的な研究を行っている。専攻の運営は講座とは関係なく月1回の専攻教授会及び助手を含む教官全員による専攻会議によって行っている。

### 2. 教育活動

放射線技術科学専攻の第5期の入学生として40名の入学生を迎え入れた。入学生の内訳は男子22名、女子18名であった。推薦入学生7名、前期日程試験入学生24名、後期日程試験入学生9名であった。3年次編入生は5名であり、編入生全員が診療放射線技師の資格をもっている。平成15年3月には放射線技術科学専攻の第2回の卒業生として、編入生を含めて44名を送り出すことができた。年間4回の国家試験の模擬試験を実施した結果、進路を変更した1名以外では1名を除いて国家試験に合格し、全員進学もしくは就職した。全国から入学者が集まると同様に就職先も北海道から鹿児島まで全国にわたっている。1年生から4年生まで共通教育と専門教育が組まれているが、教育効果を高めるためにさらに以下のような教育活動および関連した活動を行っている。

#### ガイダンス

4月8日 編入生ガイダンス、4年生臨床実習ガイダンス（名古屋大学医学部附属病院）

4月9日 新入生ガイダンス、2年生ガイダンス、3年生ガイダンス

4月16日 4年生臨床実習ガイダンス（愛知県がんセンター）

4月17日 4年生ガイダンス

4月8日には名古屋大学の入学式および編入生入学式が行われ、編入生に対しては引き続き一般的な事項に加え、編入生向けのカリキュラム及び名古屋大学医学部附属病院等における臨床研究について説明を行った。新入生ガイダンスは多数の教官が参加し、高校から大学へと大きな環境の変化の中で、4年間のカリキュラム、卒業後の診療放射線技師国家試験及び進学・就職、勉学の進め方、クラブやサークル活動、友人関係等について説明した。また指導教官を紹介し、専攻の教官と面識を得る機会でもあった。13日には新入生歓迎会を開きさらなる交流を持った。2・3年生に対するガイダンスでは専門教育、特に実験・実習等に対する注意を与え、忘れがちな一般的な連絡事項、安全に関する事項等について再度注意を喚起した。4年生ガイダンスでは進学・就職、夏期病院実習、国家試験模擬試験等について説明した。臨床実習については、実習開始前にそれぞれの病院に向いて病院担当者とともに説明を行

った。

#### 特別講義

9月24日	4年生	「眼底撮影について」本名秀任（トプコンメディカルジャパン）
9月26日	4年生	「PET」西野正成（名古屋大学医学部附属病院） 「アンギオ検査」近藤 悟（名古屋大学医学部附属病院） 「MRI」櫻井康雄（名古屋大学医学部附属病院）
9月27日	4年生	「インビボ検査」阿部真治（名古屋大学医学部附属病院） 「X線CT」阿知波正剛（名古屋大学医学部附属病院）
9月30日	4年生	「造影検査」堀部泰樹（名古屋大学医学部附属病院）
	4年生	「放射線治療」三宅良和（名古屋大学医学部附属病院）
2月4日	3年生	「撮影技術の基礎(1)」近藤智昭（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「撮影技術の基礎(2)」近藤智昭（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「RI インビボ」阿部真治（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「放射線治療(1)」三宅良和（名古屋大学医学部附属病院）
2月5日	3年生	「PACS、電算システム」外山和男（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「CR」勝 利彦（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「X線CT」阿知波正剛（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「リスク・マネジメント」阿部哲太郎（名古屋大学医学部附属病院）
2月6日	3年生	「PET」西野正成（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「放射線管理」亀山裕司（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「血管撮影」近藤 悟（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「MRI」櫻井康雄（名古屋大学医学部附属病院）
2月7日	3年生	「造影検査」堀部泰樹（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「RI インビトロ」山下雅人（名古屋大学医学部附属病院）
	3年生	「放射線治療(2)」青山裕一（名古屋大学医学部附属病院）

#### 施設見学

##### ○名古屋大学医学部附属病院見学 9月3日

4年生における臨床実習のため、編入生を除く3年生全員が出席し附属病院を見学した。

##### ○中部電力浜岡原子力発電所見学 9月4日

発電用原子炉の炉心隔壁（シュラウド）や再循環系配管に発生した「ひび割れ」、施設点検・修理等による運転停止のため電力不足による非常事態発生のおそれ心配された。しかし、原子力は重要なエネルギー供給源であり、「維持基準」や「法定自主検査」等社会的批判はあるものの現実に稼働している原子炉や環境放射能分析施設等の状況を放射線衛生学の授業の一環として3年生が見学した。

##### ○島津製作所三条工場および記念資料館見学 9月20日

放射線画像診断技術学実習など4実習科目の一部として島津製作所を見学した。最初にメディカルセンターで最新の各種X線装置、CTシステム、MRIシステム、超音波診断装置等を体験し、引き続き医用工場でそれらの組み立ての様子を見学した。その後、島津創業記念資料館で明治に始まる島津の歴史、医用機器のみならず産業用、教育用など各種機器の開発の心を学んできた。なお、当専攻の見学が、資料館の10万人目の見学者とのことで、花束や記念品を頂き、その後の社内報にも写真を掲載していただいた。

##### ○京都大学原子炉実験所 2月4日

教官1名と学生3名で中性子治療を行っている京都大学原子炉実験所を見学した。将来構想など、教授からそこで聞いた話のもとより学生は色々なことに興味を示した。進路選択肢の一つになったようである。



## 講習会

7月30日～8月2日 EGS4(モンテカルロシミュレーション)講習会

高エネルギー加速器研究機構で第10回 EGS4研究会と EGS4講習会が行われ、大学院生3名、学部学生2名が参加した。以前の EGS4講習会は工学系の参加者が多かったが、最近は医療系の参加者が比較的多く、特に吸収線量の測定が困難な場合にモンテカルロシミュレーションで求めている。講習会に参加した学生が主体となって「つくば会」と称して、保健学科内で勉強会を10回前後開催した。4年生は EGS4を用いて卒業研究を行い、また大学院生は EGS4を用いて研究を継続していて、修士論文に十分反映されるものと期待される。

## 大学説明会

8月2日(金) 豊田講堂及び経済学部第1講義室

午前中に豊田講堂で行われた全学説明の後、午後は経済学部第1講義室に移り保健学科入学希望者に対し説明と懇談を行った。まず、保健学科入学希望の高校生に対し学科長代理として松村看護学専攻主任より保健学科の概要について説明がなされた後、放射線技術科学専攻の概要と就職・進学などについて説明した。個々の専攻に分かれた時間帯では、医療における放射線に興味のある高校生が本人の進路を決定するにあたり、多くの質問をしてきた。なお、当専攻の受付に記名した学生は東海4県の29名であった。

## 大学院入学試験

4月10日(水) 本館講義室

保健学科に医学系研究科修士課程の3専攻の設置が認められたことにより、平成14年度入学試験を実施した。保健学科における放射線技術科学専攻は修士課程としては、医療技術学専攻医用量子科学分野として10名の定員で発足し、14名が受験し全員を合格とした。なお、14名の内訳は一般選抜6名、社会人特別選抜8名である。

8月31日(土) 本館講義室

平成15年度の大学院入学試験を実施し、12名の受験者に対して11名を合格とした。11名中7名が一般選抜で4名が社会人特別選抜によっている。

## 編入学試験

9月7日(土) 本館講義室

本学3年次編入学希望者を対象に平成15年度編入学試験を行った。放射線技術科学専攻へは全国の短期大学などからの受験希望者24名のうち1名欠席の23名が受験し、5名を合格とした。

## 3. 研究活動

当専攻の教官は幅広い専門分野を研究領域としているため、個々の教官が独自の研究活動を行っている。一部にグループによる研究活動、専攻以外との共同の研究活動も行っている。以下には各教官の研究領域を示し、外部と協力して実施している研究活動の一部を示す。

青山隆彦教授：医療放射線による被ばく線量計測システムの開発。医療放射線による被ばく線量の測定・調査

今井國治助手：高電圧下における誘電・絶縁材料の放電劣化・破壊現象に関する研究。医用画像観察下における医療従事者の視覚特性の解析とこれを応用した画像評価法の構築

伊藤茂樹助教授：CTの画像診断への応用。腹部、特に、肝胆膵領域の画像診断。胸部、特に、肺癌の画像診断。vascular interventional radiology

緒方良至助手：水素同位体分離に関する研究。環境放射能の測定—特に環境レベルのトリチウムの測定に関する研究。放射線取扱施設の安全管理に関する研究

小幡 康 範 教 授：原体照射法。生物学的線量評価法。治療領域線量測定法  
 金澤 寛 明 助教授：味蕾の超微形態に関する研究。免疫組織化学  
 川 浦 稚 代 助 手：生体への放射線が及ぼす影響に関する研究  
 小 寺 吉 衛 教 授：医用画像の評価法の開発。検出器、表示系を含む医用画像の解析、評価。画質の向上と被曝線量の低減を目的としたデジタル画像処理。3次元画像表示システムの開発  
 小 林 嘉 雄 助教授：コンピュータ画像診断支援  
 小 山 修 司 助 手：診断領域 X 線の計測法の研究。医学における知能情報学の応用。X 線 CT の患者・術者の被曝線量計測。診断領域 X 線のエネルギー計測。マンモグラフィにおける線量計測  
 島本佳寿広 教 授：乳腺・甲状腺の画像診断における、特に超音波による悪性腫瘍の診断に関する研究。フィルムレス読影の診断能に与える因子を明らかにし、診断能に悪影響を与えないモニタの基準、読影環境、端末の操作性等を確立する研究。画像診断をすすめる際の診断論理過程を明らかにするとともに、診断医の判断の再現性と一致度を解析することにより、その診断論理の妥当性を検証する研究  
 田 伏 勝 義 教 授：放射線治療における線量測定。放射線治療の最適照射法。チェレンコフ光の測定への影響。モンテカルロシミュレーションによる線量計算  
 田 宮 正 助教授：放射線被ばく線量測定法の検討。放射線による損害の認定に関する検討。医用放射性廃棄物の処理に関する検討  
 津 坂 昌 利 助教授：診断用 X 線スペクトル測定とその応用に関する研究。IT 活用による医療技術者教育システムの開発。高速画像ネットワークの技術開発と応用。X 線 CT の性能評価に関する研究。CT 画像を用いた診断支援システムの開発。暗号化通信技術の遠隔医療への応用  
 成 田 憲 彦 助 手：骨密度測定に関する研究。放射線被ばく線量評価に関する研究  
 本 間 光 彦 助 手：治療領域の放射線計測。CR の応用利用  
 前 田 尚 利 教 授：心臓のファントムの作成  
 宮 原 洋 教 授： $4\pi\beta\gamma$  同時計測法による放射能測定。崩壊核データの精密測定。PET 関係物品からの放射線測定

○医療用ライナックから放出される光中性子の計測実験（青山、宮原、緒方、小山）

5月1日、9月12～14日、11月8日：名古屋大学医学部附属病院

医療用ライナックから光核反応で放出される中性子による患者被ばく線量を評価するため、人体ファントム中の中性子フルエンス並びにその分布を測定する実験を、名古屋大学大学院工学研究科および名古屋大学医学部附属病院放射線部と共同で行った。

○大気中トリチウム測定用比例計数管の開発（青山、緒方）

文部科学省核融合科学研究所

大気中のトリチウム濃度をガス種別、即ち、 $H_2O$ 、 $H_2$ 、 $CH_4$ に分別し、各々の放射能濃度を測定する。このうち、分離された  $H_2$  の比例計数管での測定を担当した。大気中濃度から算出した予想濃度を測定できる比例計数管の形状・仕様を設計し、実際に HT を含む  $H_2$  ガスを測定し、比例計数管使用の可否を吟味し、その計数効率を測定した。

○電解法によるトリチウム分離の基礎実験研究（緒方）

(財)若狭湾エネルギー研究センター

トリチウムの電解による同位体分離において、発生する水素ガスのリアルタイムモニタリングのための比例計数管を開発し、その特性を解析した。

○水素同位体の電気分解による分離の研究（緒方）

富山大学水素同位体科学研究所

軽水または重水を電気分解し含まれる重水とトリチウム水の濃度を測定し、それらの濃縮機序について調べた。

○遠隔画像診断の研究（島本）

放射線名古屋広小路クリニック、イーメディカル・ソリューションズ、東芝メディカルとの共同研究として、DICOM 通信による CT、MRI の遠隔画像診断を実施した。通信トラブルの原因究明、画像表示端末の操作性改善等を通じて、技術的に安定した遠隔画像診断システムの構築を行った。

○IP のエネルギー特性の検討（本間、小山、田伏）

2月22～24日：高エネルギー加速器研究機構

KEK の放射光から取り出した単色 X 線を IP に照射して、IP の照射線量に対する線形性やエネルギー特性を調べる予備的な実験を行った。

○ $\gamma$  線放出率精密測定（宮原）

6月24～28日、1月13～17日：京都大学原子炉研究所

京都大学原子炉実験所の原子炉を使用して、濃縮安定同位体  $^{79}\text{Br}$ 、 $^{104}\text{Ru}$  等を中性子照射することにより中性子過剰核である  $^{80}\text{Br}$ 、 $^{105}\text{Ru}$  等を製造し、名古屋大学より運搬した  $4\pi\beta\text{-}\gamma$  同時計測装置により測定を行い、 $\gamma$  線放出率を精密測定した。

4月22・23日、5月27・28日、12月9・10日：日本原子力研究所

日本原子力研究所のタンデム加速器を使用して、濃縮安定同位体を陽子線照射することにより陽子過剰核である  $^{66}\text{Ga}$ 、 $^{143}\text{Pm}$ 、 $^{149}\text{Eu}$  を製造し、その後名古屋大学に持ち帰り  $4\pi\beta\text{-}\gamma$  同時計測装置により測定を行い、 $\gamma$  線放出率を測定した。

4. 対外的または社会と関わりのある活動

- 1) 国立大学診療放射線技師教育施設協議会及び全国診療放射線技師教育施設協議会に参加し、カリキュラムの大綱化に伴う国家試験ガイドラインの案作成に協力してきた。個々の教官としては、診療放射線技師を対象に、X 線 CT による患者被曝の考え方、線量測定に使用される器具、測定の方法、測定値の処理などについて説明し、その具体的な方法について実技指導を行った（小山）。さらに、中学生の放射線に対する理解を深めてもらうため、原子の成り立ちから、放射線の種類、放射線の物質との相互作用などにつきわかりやすく解説し、簡易式の放射線測定器を用いた実習を行い、自然に存在する放射線に対する理解を深めてもらった（小山）。
- 2) 地域における活動として、放射線障害防止法に基づく放射線業務従事者の新規教育、再教育に講師として専門知識を社会に還元し、さらには放射線取扱主任者試験受験および X 線作業主任者試験受験のための講義等を行った（田宮、宮原、緒方）。日本 ME 学会主催の第二種 ME 技術実力検定試験の試験委員（津坂）および試験監督（金澤、小山、成田、緒方、本間）として運営に関わった。また、小中高校の教員を対象とする愛知・岐阜・三重地区環境・エネルギー問題セミナーの実行委員として、企画・進行・実験指導を担当し（緒方）、類似の小中高校の教員を対象とするエネルギー・環境研究会や高等学校でも講演・実験を指導した（宮原）。
- 3) 国際的には、日本原子力産業会議が主催した平成14年度近隣アジア安全調査事業の一環として放射線治療プロセスの品質保証／管理の海外調査及び普及に関してベトナムの調査を行った（田伏）。国際放射能計測専門委員会の日本代表委員の一人として、放射能計量学の発展のために努力した（宮原）。

（主任：宮原 洋）

## 検査技術科学専攻

本専攻は、高度に専門化した医療に対応できる基礎力と応用力を備え、かつ医療人として不可欠な倫理観に裏付けられた豊かな人間性を備えた臨床検査技師、さらに検査技術科学を学問として追及する教育・研究者を育成することを目的としている。大学院医学系研究科医療技術学専攻病態解析学分野は、環境病因解析学、病態化学解析学、病因病態解析学、生体生理解析学、形態情報解析学、分子病態解析学の6領域からなり、先端的な研究、学際的な病態解析、技術開発を進めるとともに、先端医学につながる病態解析科学研究を遂行できる能力の育成、指導的立場に立つのに必要な高度な専門知識・技術を有する人材を育成することを目的としている。平成14年4月30日、病態解析学分野は、11名の第1期大学院生を迎えることができた。

### 1. 運営

本専攻は2つの大講座によって構成されているが、講座の壁をなくし、専攻が一丸となって運営している。

- (1) 基礎検査学講座：人体から得られる、あらゆる情報を分析・整理・総合して、健康状態や病的状態を把握するために、生体情報修得のためのハードウェアおよび情報処理のソフトウェア、生体情報取得のための管理・運営と精度管理の方法、人体に関する外的病因を環境分析によって認識する方法等、科学的根拠の提供に必要な基礎知識および技術について教育・研究を行う。
- (2) 病因・病態検査学講座：生体情報の基礎的理解に基づき、病原体および病因を病原体側と宿主反応側から検索する方法、形態変化としての情報を認識する方法、生理機能の変化を情報として記録・認識する方法、体液・分泌物・排泄物等の検体物中微量物質の変化を主として化学的・物理的に情報化する等、病的状態の把握や病因の解析に必要な知識および技術について教育・研究を行う。

専攻の運営は全教官が参加する専攻会議の決定に従って行われた。専攻会議は第1と第2水曜日の12時および第4水曜日の5時30分から開催された。

### 2. 教育活動

- 1) 4月に第5期の入学生40名（推薦入学生8名、前期日程入学生22名、後期日程入学生10名）を迎えた。
- 2) 4月の新入生ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教官、学生教育担当教官と全員の学生が参加し、専攻の教育と学生生活のガイダンス、教官の紹介、指導教官の紹介、学生の自己紹介などが行われた。
- 3) 4月の第3期編入生（入学生6名）ガイダンスには専攻主任、学生生活担当教官、学生教育担当教官が教育と学生生活、教官紹介、研究室紹介、研究指導教官などについて説明した。
- 4) 4月には検査技術科学専攻の2年生が中心になって教官と共に新入生歓迎会を大幸会館にて開催した。
- 5) 4月に第1回大学院医療技術学専攻病態解析学分野の入学試験を実施し、11名の合格者（内、1名は他学部出身）を決定し、11名の大学院修士1期生が入学した（4月30日）。
- 6) 8月に第2回大学院医療技術学専攻病態解析学分野の入学試験を実施し、17名の合格者（内、2名は他学部出身）を決定した。
- 7) 9月に第4回の3年次編入試験を行い、6名の合格者を決定した（道立衛生学院1名、東北大医短1名、筑波大医短1名、信州大医短2名、熊本大医短1名）。
- 8) 9月に第2期生の臨地実習を充実させることを目的に医学部附属病院検査部の教官および技師との合同会議を開催した。
- 9) 10月4日に開催された名古屋大学大学院修士課程設置記念式典において、本専攻は社団法人日本臨床衛生検査技師会会長である岩田進様を来賓として迎えた。
- 10) 平成14年3月には本専攻の第1期生の卒業生として、編入生を含めて43名を社会に輩出した。なお、11名が大学院修士課程への進学を希望し、就職希望の33名は主に国公立大学病院、公私立病院等の検査部に就職し、就職率はほぼ100%であった。
- 11) 第2期生の第49回臨床検査技師国家試験（平成15年3月1日）の合格率を上げるために、全教官による教育指

導と3回の模擬試験を実施した。1期生の第49回臨床検査技師国家試験合格率は94.7%であった。

### 3. 研究活動

本専攻では保健学科設立後、大学院修士課程設置に向けて各系独立型および融合型の研究体制を構築し、研究設備とスタッフの充実に重点を置き、大学院修士課程病態解析学分野への大学院生の受け入れ体制を整備してきた。本年4月30日に11名の大学院修士課程第1期生を迎え、研究活動がますます活発になり、国際学術雑誌への投稿論文数と国際学会への発表演題数が増加してきた。また、その成果の1つが9月27日に開催された第2期生による卒業研究発表でもある。以下に各講座における卒業研究発表内容を示す。

#### 【免疫・微生物系（病因病態解析学）】

担当教官：長瀬文彦、伊藤秀郎、杜 軍、川村久美子

1. リアルタイム PCR 法によるインフルエンザウイルス RNA の定量および臨床応用への基礎的研究
2. メタロ- $\beta$ -ラクタマーゼ産生菌の分布調査—院内感染例との遭遇—
3. Extended spectrum  $\beta$ -lactamases (ESBLs)産生菌の検出法と遺伝学的解析
4.  $\beta$ -lactamase-negative ampicillin-resistant *Haemophilus influenzae* の臨床分離株における薬剤感受性傾向と耐性機構の解析
5. Rapamycin はアンジーを誘導することができるか
6. ケモカイン SDF-1による ERK 活性化の経路についての検討
7. リコンビナントマウスケモカイン SDF-1 の作製とその活性の検討

#### 【病理系（形態情報解析学）】

担当教官：横井豊治、倉科正徳、橋本克訓

1. 細胞傷害性乳腺症における TIA-1 を用いた免疫組織学的解析
2. 閉塞性細気管支炎と閉塞性細気管支炎をともなう器質性肺炎の病理学的検討
3. 肺癌におけるマトリックスメタロプロテアーゼとその組織阻害因子の発現

#### 【生理系（生体生理解析学）】

担当教官：古池保雄、岩瀬三紀、野田明子

1. 大腸菌由来エンドトキシンにより惹起される心血管動態の変容
2. 心エコー法による肥大型および拡張型心筋症ハムスターの経時的な心機能評価
3. 小動物麻酔薬の循環動態に及ぼす影響
4. 睡眠時の皮膚交感神経活動と筋交感神経活動
5. 健常人における運動回復期上下肢血圧比の評価
6. 健常人における負荷心エコー法による運動時心機能評価
7. 拡張型心筋症における心電図所見、心エコー図所見の対比検討

#### 【血液系（分子病態解析学）】

担当教官：村手 隆、小嶋哲人、高木 明

1. 血液凝固第 XI 因子欠損症の遺伝子解析
2. マウスアンチトロンビン濃度測定 ELISA 系の作製
3. ヘパラン硫酸プロテオグリカン・ryudocan 遺伝子のプロモーター解析
4. ヒト血小板 glycoprotein V (GPV)の精製—GPV 測定 ELISA 系の作製に向けて—
5. リコンビナントタンパクを用いた抗ヒトスフィンゴシンキナーゼ 1 抗体の作製
6. 白血病細胞株 MEG-01の TPA による分化誘導時の SPHK1 遺伝子発現における転写因子 SP1、Ap2 の役割
7. スフィンゴシンキナーゼ 1 の神経系特異的発現の解析
8. yeast two-hybrid system を用いた新規転写因子 FKL2 と相互作用を有するタンパクの検索

#### 【分析系（病態化学解析学・環境病因解析学）】

担当教官：高木健三、長谷川高明、高木健次、柴田英治、北市清幸、巽 康彰

1. Shiga-like Toxin 投与ラットにおける肝薬物代謝酵素活性に関する研究
2. ラット胆管腔側細胞膜に存在する P 糖蛋白質および Mrp2 の薬物輸送機能に及ぼす Shiga-like Toxin の影響
3. 非ステロイド性抗炎症薬の脳移行に関する基礎的研究
4. ラット腹腔肥満細胞におけるヒスタミン遊離機構に関する研究
5. 農薬の毒性—有機リン系・カーバメート系農薬の血中コリンエステラーゼ活性への影響について—
6. GC/MS による有機リン系農薬およびその尿中代謝物の分析
7. シックハウス症候群の原因となった建造物室内の原因化学物質発生源の究明
8. ホルムアルデヒド曝露の生物学的モニタリング指標としての血中ホルムアルデヒド-ヘモグロビン付加体の有効性に関する研究

#### 4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

##### A) 国際交流

長谷川高明教授は国際漢方薬科学技術大会への招待と華西医科大学との共同研究打合せのため、平成14年10月31日～11月6日に中国成都市を訪問した。華西医科大学附属国家漢方薬安全性評価センター研究員である Zhao Ying Lan を外国人研究員として招聘した（平成14年4月1日～平成15年3月31日）。

小嶋哲人教授は、平成14年5月12日の「*International Symposium on DIC – New trend in Diagnosis & Management of DIC –*」（東京）に参加し、最新の学術情報収集を行った。また、3rd International Symposium on Serpin Biology, Structure and Function での「Antithrombin deficiency in mice」の講演の招請を受け出席するとともに、ボストン・ハーバード大学の R.D.Rosenberg 研究室を研究打合せのため、平成14年6月2日～6月9日に米国を訪問した。さらに、第29回国際血液学会(ISH)での教育講演「Education Program 3: Update on Hypercoagulability: Targeted gene disruption of natural anticoagulant proteins in mice」の招請を受けるとともに一般口演も発表のため、平成14年8月23日～8月28日にソウル（韓国）を訪問した。

村手隆教授は平成14年7月にカナダで行われた国際実験血液学会に参加し、sphingosine kinase の発現調節について発表した。

岩瀬三紀助教授は平成14年8月に米国で行われた Scientific conference on advance in the molecular and cellular mechanisms of heart failure に参加し、成長ホルモン放出ペプチドによる新しい心不全治療法に関する演題を含め3題について発表した。さらに11月に開催された米国心臓病学会(AHA)に発表し、同時にニュージャージー医科大学 Stephen F Vatner 教授および佐渡島助教授との ZAKI4 の心肥大における意義に関する研究打合せを進めた。

柴田英治助教授は平成14年12月に中国広東省深圳市およびその周辺地域でトリクロロエチレン取り扱い作業者に集団発生した Stevens-Johnson 症候群の原因究明のため、調査団の一員として同市を訪れ、患者が発生した職場の環境調査を行った。

##### B) 大学間交流—国立大学検査技師教育施設協議会—

平成14年度は金沢大学医学部保健学科検査技術科学専攻を主幹校にして、6月に第39回国立大学臨床検査技師教育施設協議会が開催された（出席者：長谷川教授、伊藤教授）。検査技師養成資格を持つ国立大学が文部科学省指定校でない現状に対して、国立大学医学部保健学科検査技術科学専攻の「文部科学大臣指定学校」への申請の是非について検討することになった。

##### C) 地域との連携

古池保雄教授は医師、検査技師に対する問題脳波の検討・相談を目的に毎月1回東市民病院地域連携室にて中部脳波研究会を主催した。また同教授は自律神経懇話会、睡眠研究会及パーキンソン病研究会の世話人として活発に東海地区の幅広い神経学領域の研究交流を促進した。また、同教授は野田助手と共に、平成11年4月に開設された睡眠呼吸障害外来（いびき外来）を継続させ、平成12年度から鶴舞キャンパスの病棟においても入院検査も開始し、検査技術の向上を図った。将来、地域の睡眠障害センターの設置とともに、本学学生が高度医療技術を習得するための教育と研究の場としての発展を目指す。また、野田助手と共に、地元企業の検診に参加し、生活習慣病の早期発見、早期治療のための新しい検査法の開発を企図した研究に着手した。

横井豊治教授は専門である呼吸器疾患の病理診断学の知識と経験を生かし、日本病理学会の呼吸器コンサルタントとして、東海地区を中心とする多数の医療施設より、呼吸器疾患を中心に病理診断のコンサルテーションを受け入れている。平成14年度は約120例の症例を検討・報告し、各施設における呼吸器領域における診療・研究に貢献した。また、同教授は日本臨床細胞学会の細胞診指導医として、同会東海連合会の主催する細胞診基礎講習会において呼吸器細胞診の講演を行い、細胞検査士の育成および生涯教育に貢献した。

小嶋哲人教授は、平成14年1月22日の平成14年テストチーム研究会に招待講演者として国立熊本病院に招かれ「Syndecan-4(Ryudocan)とアンチトロンビンの欠失マウス作製解析」の講演を行った。また、日本血液学会のプログラム委員として第64回日本血液学会総会(横浜：平成14年9月12日～9月15日)でのシンポジウム3「分子療法：基礎から臨床へ」においては、日本血液学会のプログラム委員の一人としてその企画・人選から関わり、司会を務めた。さらに、日本血栓止血学会においては評議員・庶務幹事として学会運営にも携わり、日本血液学会、日本臨床血液学会では評議員として広く学会活動を行っている。また、医師、検査技師を対象とする東海血栓症研究会、東海血栓症セミナー、ならびに凝固線溶セミナーの世話人として活発に東海地区の幅広い血液凝固学領域の研究交流を促進し、愛知県特定疾患研究協議会において血液凝固異常症調査研究を行った。

村手隆教授は愛知県特定疾患研究協議会の構成員として特発性造血障害についての研究報告を行った。また、同教授は愛知県特定疾患認定審査会議構成員として審査にあたっている。また岐阜大学医学部、岐阜国際バイオ研究所、理研、山梨大学医学部などとの共同研究を積極的に展開した。

岩瀬三紀助教授は内科専門医会の評議員として、循環器領域のみならず広い臨床内科領域にわたる学会活動を行っている。第13回認定内科専門医会学術講演会会長として、3月に講演会を主催した。また同月に第99回日本内科学会学術集会において内科専門医によるCPCの司会者として統括した。また関西不全心研究会および東海心機能研究会、東海ハートセミナーの世話人として、関西地区および中部地区の「心不全に対する基礎から臨床にいたる幅広い研究」の交流を積極的に行った。さらに東海循環超音波研究会、心臓薬理研究会の世話人として幅広い循環器領域研究の当地域における活性化に努めている。また名城大学薬学部卒後教育委員会生涯教育講演会において教育的講演をし、コメディカルスタッフの生涯教育の一端を担った。

高木健三教授は愛知・岐阜在宅酸素療法研究会の会長として、東海喘息研究会および愛知成人喘息研究会の代表世話人として、呼吸器・アレルギー領域の東海地区における医師、医療従事者の卒後教育の一端を担った。また、日本呼吸器学会理事(東海支部長)、日本アレルギー協会理事(東海支部長)として、『肺の日』記念市民公開講座、アレルギー週間(市民公開講座など)の責任者として、地域社会への啓蒙活動を積極的に推進した。さらに、同教授は愛知県公害健康被害認定審査会委員として審査にあたっている。

伊藤秀郎教授は愛知県下10病院の検査部細菌室の臨床検査技師との共同研究として高度薬剤耐性菌の分布状況調査や耐性機構の解析を行った。A病院泌尿器科病棟で緑膿菌と *Pseudomonas putida* による院内感染が、B病院新生児病棟でESBL産生菌による院内感染の疑いが示唆されたので適切な院内感染対策を講じたところまもなく終息した。また、同教授は愛知県健康福祉部主管の精度管理専門委員として、県下の登録衛生検査所を立ち入り指導調査するとともに登録衛生検査所の精度管理責任者らを指導した。

柴田英治助教授は愛知県衛生研究所・旭労災病院との共同で殺虫剤散布作業者の殺虫剤曝露評価のための生物学的モニタリングに関する研究を行った。また、同助教授は名古屋市衛生研究所との共同でシックハウス症候群症例の環境調査などの研究を行った。また、日本産業衛生学会東海地方会の総務部長として地方会誌編集にあたった。また、11月に三重県津市で開かれた同地方会学会では特別企画のシンポジウム「職業がんの研究からがん予防の実践へ」のシンポジストとして「職業がん—建設業に見るがん死亡とリスク—」のテーマで報告を行った。さらに11月に日本作業環境測定士協会東海支部主催の第1回愛知部会で講演「エチレンオキシドの毒性」を行った。一方、愛知県環境部の化学物質に係る専門家グループの一員として県の化学物質取り扱いに関わる相談窓口への助言を行った。また11月に開かれた同環境部主催の平成14年度愛知県化学物質管理セミナーで「化学物質の健康リスク評価」と題した講演を行った。

長谷川高明教授は、3月に開催された第13回認定内科専門医会学術講演会にて、「内科医に必要な薬物相互作用の知識」をテーマとする講演会で「薬物相互作用のABC」について講演し、内科専門医の生涯教育の一端を担った。8

月に開催された第3回『肺の日』記念市民公開講座で「タバコをはじめとする嗜好品と体のしくみ」と題し、タバコの発がん性物質の本体と禁煙の意義について講演した。10月、愛知県女子薬剤師会主催の卒後教育講演会にて「薬の代謝について」を講演し、コメディカルスタッフの生涯教育の一端を担った。

高木健次助教授は認定臨床化学者として、8月に名古屋市近辺で勤務されている理学療法士を中心としたコメディカルスタッフを対象として「コメディカルのための血液データの見方」と題して教育的講演をし、コメディカルスタッフの生涯教育の一端を担った。

北市清幸助手は7月に文部省学術フロンティア推進事業の一環として名城大学生命薬学リサーチセンターが主催して行った講演会で『薬物依存症における生体膜輸送能の変化—覚醒剤依存動物モデルを用いた検討—』のタイトルで講演し、コメディカル研究者の資質向上に貢献した。

(主任：長谷川高明)



## 理学療法学専攻

本専攻は、東海地区では唯一の修士過程を有する理学療法士の教育・研究機関である。平成14年度に大学院修士課程が保健学科に設置され、本専攻は作業療法学専攻とともにリハビリテーション療法学専攻を構成し、この分野の高等教育を担うことになった。本専攻の教育・研究目標は、高度医療・技術を支える豊かな人間性の形成を基本とし、理学療法に必要な基礎・臨床医学的知識を身体機能と障害の観点から再編して、体系化し、機能と障害を生体の情報として分析・評価し、それらの回復や予防への科学的関連づけを可能にすることである。これにより新たな理学療法を理論的に構築し、より高度な知識と技術を身に付けた理学療法士を養成するとともに、最近必要性が高まりつつあるスポーツ障害リハビリテーションや生涯スポーツ医科学領域への道を開き、さらに高齢社会に対応できるよう地域や高齢者に対する理学療法を強化する。さらには、理学療法研究を通じて理学療法を実証的学問として確立し、医療の場、教育の場、地域において指導的役割を果たすことができる教育・研究者の養成を目指している。開設以降、こうした理念・目標を理解した有能な学生が入学してきている。また、大学院修士課程では、質の高い研究が展開されており、将来が期待される。

### 1. 運営

本専攻は教官総数11名により基礎理学療法学講座と病態理学療法学講座の2大講座から構成されているが、専攻運営は、講座の壁をはずし全教官による専攻会議（毎週水曜日12時から開催）における協議の決定にしたがい進められている。

- (1) 基礎理学療法学講座：理学療法研究の基礎となる知識や技術を開発・発展させるための生体の構造と機能を関連づけた体系的な基礎教育、身体運動からみた人体機能の体系的教育、機能と障害に重点を置いた臨床医学実践の基盤となるような基礎（医学）教育、機能異常や障害を病態として把握し的確な分析・評価能力を培う教育を実践しつつ、それらを裏付けるための研究を推進している。
- (2) 病態理学療法学講座：理学療法の実践に必要な科学的知識と技術を発展させるため、経験や感覚に頼りがちな生体反応の認識を生体情報として定量的に評価すること、障害を機能的に分析し理学療法の適用との理論的関連を追求すること、またそれらを通して障害からの回復のための治療法・障害の予防方略などに科学性を持たせることを目標とし教育・研究を行っている。

これらの教育・研究を実践するため、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマをできるだけ合わせ持つようにして、研究を推し進めている。

病態理学療法学講座の辻井洋一郎教授の後任として、聖マリアンナ医科大学病院から山田純生教授が着任し、教育・研究・専攻運営がさらに充実したものとなった。また、短期任用教官の宮津真寿美助手、加藤智香子助手は継続任用となり、専攻の強力な戦力になっている。

### 2. 教育活動

4月に保健学科理学療法学専攻第5期生として22名の入学生を迎え入れた。内訳は推薦入学7名、前期日程試験入学10名、後期日程試験入学5名であった。男子学生10名、女子学生12名であった。また、編入生3名（3名とも専門学校出身）を受け入れた。その時点で理学療法学専攻としての学生数は、第2期生18名、第3期生22名、第4期生21名、第5期生22名、3年次編入生6名となった。

4月8日（月）に保健学科全体と理学療法学専攻単独の編入学ガイダンスを行い、14年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。主任、学部教育委員、学生生活委員、授業担当教官がこの説明会を担当した。

4月9日（火）に東山で保健学科新生生に対して当初ガイダンスを午前中に行った後、午後から理学療法学専攻の新生生に対して専攻別ガイダンスを行った。主任、学部教育委員が担当した。

4月10日（水）に共通科目については理学療法学専攻・作業療法学専攻専攻合同で、専門科目については理学療法学専攻単独で、在校生ガイダンスを開催し、各学年別に1時間ずつを使い、14年度のカリキュラムの説明、学生生活のルールの再確認を行った。主任、学部教育委員、学生生活委員、授業担当教官がこの説明会を担当した。

4月10日（水）に保健学科による初めての大学院修士課程入試が行われた。理学療法学専攻では受験生10名（一般3名、社会人7名）が受験し、全員が修士課程1期生として合格した。

4月11日（木）に保健学科内で動物実験講習会が開催され、動物実験を行っている教官とともに卒業研究で動物を扱う学生も講習に参加した。

4月13日（土）に専攻内での新入生歓迎会を行った。年度の始めの土曜日半日を使い、在校生、新入生、教官が全員参加し、新2年生が幹事となり、全員自己紹介、スポーツリクレーション（バレーボール、体育館）、懇親会（大幸厚生会館）を通じて人間的交流・連携の強化を達成した。まだ入学して間もない新入生の緊張を解きほぐすための良い企画であった。

4月17日（水）午前中の授業の一部を割愛し、新入生と理学療法学専攻、作業療法学専攻の全教官との顔合わせを行い、さらに大幸キャンパスにおける学生生活のルール説明、注意点の説明が学生生活委員によってなされた。

4月22日（月）から26日（金）の期間を利用して、4年生を対象として臨床実習Ⅱ・Ⅲの実習に備え、各教官が臨床実習に必要な項目についての学内実習を行った。

連休明けの5月7日（火）から、4年生の臨床実習Ⅱ・Ⅲが始まった。この実習は各種疾患を観察し、臨床実習指導者のもとに基本的検査技術を実施することを目的としている。多くの不安を抱きながら、実習先に向かった。4週ごとに反省会が行われ、種々の問題点などが指摘されたが、全員無事この実習を終えることが出来た。今年度から開始した臨床実習前の各教官による学内実習により、各学生とも実りの多い臨床実習を経験できた。

6月1日（土）、2日（日）の両日、学生55名、教官8名、職員1名、講師1名の参加のもとに、中津川東海地区国立大学研修センターにおいて厚生補導特別企画が実施された。この企画は、新入生がスムーズに快適で充実した大学生活を送れるようにするための導入部としての研修旅行であり、教官・職員・学生・先輩・後輩が寝食を共に生活することにより、縦と横の強い人間関係を構築することを目的として、短期大学部時代から毎年実施されてきたものである。今年度は、1日目に名古屋市立大学大学院医学系研究科博士課程在学中の浦川将氏（名古屋大学医療技術短期大学部理学療学科第14期生）の講演「自身の研究活動について」、スポーツ活動（バレーボール、ソフトボール）、懇親会を開いた。とくに浦川氏の講演は本学医療技術短期大学部を卒業後、大阪大学修士課程、名古屋市立大学博士課程へと進んでいる中で、大学院への進学理由、研究テーマ、研究内容、苦労話など多岐にわたり講演され、参加した学生に強烈な印象を与えた。2日目は研修所からほど近い妻籠、馬籠へのハイキングを行った。企画の目的は十分に達成し得た。河村教授、河上講師が担当した。

6月5日（水）の名大祭第1日目の夕刻、保健学科別館中庭において、理学療法学・作業療法学両専攻の学生・教官を交えて、バーベキューパーティーを開催し両専攻の交流を図った。

6月25日（火）と7月9日（火）の2日間を利用して、3年次編入生6名と指導教官2名で編入学後の状況把握と相互理解のための話し合いを持った。内容はおもに教科履修、研究テーマ、学生生活についてであり、現況および将来構想、大学への要望など活発に話し合った。

8月31日（土）に大学院修士課程入試を実施した。今年度は8名（一般3名、社会人5名）受験し、全員合格となった。

9月7日（土）に編入学試験を実施した。今年度は専門学校出身者が6名受験し、4名の合格となった。

前期補講期間を用い、9月3日（月）～7日（金）の5日間、夏期特別実習（人体解剖実習）が開催され、理学・作業両専攻の多数の学生が参加した。指導は両専攻の教官が共同で行った。医学部主催の人体解剖トレーニングセミナーで解剖された遺体が提供された。学生にとっては、人体構造と機能の理解を深めるとともに、遺体に対する感謝の念を通して人の命の尊厳を考え、将来の医療人としてのあり方を考えるよい機会となった。

後期授業では4年生の卒業研究の後半部分が再開され、12月6日（金）に大学院講義室において、最終発表がなされた。編入生を含め22題の発表があり、3年生をはじめとする下級生も参加し、活発な討論がなされた。研究テーマは動物脳出血モデル研究2題、動物関節拘縮モデル研究1題、筋生理関連研究3題、尿失禁関連研究1題、疼痛関連研究2題、自律神経系研究1題、高齢者関連研究3題、測定評価関連研究8題、理学療法臨床関連研究1題であった。この発表会には1、2年生も参加し、将来の自身の研究の参考になったと思われる。また、3年生の卒業研究中間発表会が平成15年2月28日（金）に大学院講義室で行われた。合計24題の発表があり、1、2年生からの質問も多く、活

発な発表会であった。

大学院では、作業療法学専攻を含むリハビリテーション療法学修士課程1期生の中間研究報告会が平成15年3月29日(土)に大学院講義室で行われた。合計20題の発表があった。

平成15年3月24日(月)には保健学科第2期生の卒業式が執り行われた。本専攻は22名の新卒業者を世に送り出した。

3月7日(日)に理学療法士国家試験が施行され、本専攻学部卒業予定者20名が受験し、全員合格し、その内16名が病院に勤務し、3名が大学院へ進学した。

今年度中に開催された特別講義は以下の如くであった。

- 1) 「筋痛の発生メカニズム」講師：川喜田健司(明治鍼灸大学教授)、平成14年10月21日(月)

### 3. 研究活動

前述の通り本専攻は、全教官が基礎的テーマと臨床的テーマを可及的に併せ持つように努力し、研究を進めている。各教官の研究テーマは、以下の通りである。

猪田 邦雄 教授：関節の生理・バイオメカニクス・病態とリハビリテーション、関節の拘縮と軟骨代謝、高齢者の関節疾患と医療経済

小林 邦彦 教授：関節拘縮の病態と微細構造、コラーゲンの分子解剖学—分子レベルの可視化—、結合組織と運動器の肉眼および微細構造

河村 守雄 教授：実験的異所性骨化と関節運動および不動化の関係、骨形成因子の特性と臨床応用、高齢者脊椎手術とリハビリテーション

鈴木 重行 教授：培養筋細胞を用いた機械的刺激の影響、筋・関節ストレッチングと疼痛抑制法の臨床的効果、女性尿失禁に対するバイオフィードバック療法

山田 純生 教授：心不全患者における主観的労作軽減のための運動療法、換気補助を用いた運動療法、骨格筋パワーを用いた運動処方、健康行動獲得を目的とする運動指導方策

木山 喬博 助教授：超音波の皮膚・筋・骨における反射・吸収・透過、物理療法機器の特性と臨床効果

河上 敬介 講師：機械刺激に対する培養細胞の形態応答のメカニズムの解明、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム、筋・筋膜連結の形態と臨床的意義

肥田 朋子 助手：炎症時における交感神経機能と皮膚血流動態、筋痛と筋特性の関連性

石田 和人 助手：脳出血モデル動物における中枢神経の病理変化、脳出血モデル動物を用いた運動療法の効果、ニューロンの最初期障害像の解析とその予後に関する研究。地域リハビリテーションと理学療法士の役割

宮津真寿美 助手：伸張刺激による内皮細胞の細胞骨格・接着斑の動態、伸張刺激による骨格筋の可塑性のメカニズム

加藤智香子 助手：高齢者の筋力・バランス、転倒予防

現在は、これらの研究テーマをもとに、リハビリテーションに関係した臨床系の研究、生体の微細構造究明に関する研究、物理療法の機器の開発と治療効果に関する研究、モデル動物を用いた各種病態究明と治療・予防法の確立に関する研究の4本柱を構築して、それぞれの研究室を整備・充実させている過程である。

### 4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

今年度も臨床実習指導者連絡協議会(スーパーバイザー会議)を2回開催した。第1回は平成14年8月1日(木)に行い、臨床実習Ⅱ・Ⅲの反省と今年度より開始した臨床実習前の学内実習である臨床実習Ⅰbの効果、さらに臨床実習Ⅰaの概要と本学の臨床実習の理念と流れについても協議を行った。第2回は平成15年2月13日(木)に開催し、臨床実習Ⅰaの反省と次期に始まる臨床実習Ⅱ・Ⅲおよび理学療法コミュニケーションの実施方法について協議を行った。

専攻代表が今年度出席した学外関係会議は、臨床実習東海地区理学療法士養成施設連絡協議会(6月11日(火)及び9月3日(火)、会場：名古屋大学)、全国理学療法士・作業療法士学校養成施設連絡協議会(5月11日(土)、会場：

東京都)、第5回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会(10月3日(木)・4日(金)、担当:名古屋大学)であった。特に第5回国立大学理学療法士・作業療法士教育施設協議会は作業療法学専攻とともに本専攻が担当し、全国から13校、約50名が参加し、文部科学省から岩瀬係長を招いて活発な討議が行われ、実り多い協議会となった。

また、10月4日(金)夕刻から、保健学科修士課程の発足式典が文部科学省からも臨席を賜り、関係諸団体の会長、名古屋大学総長、医学系研究科長、歴代医療技術短期大学部長、保健学科長等の出席のもと執り行われた。

7月27日(土)に愛知医療学院(名古屋市)にて行われた「高校生向けの理学療法士養成校紹介」に出席し本学及び本専攻の特徴等について宮津助手がアピールした。

名古屋大学大学説明会が8月2日(金)に行われ、保健学科は東山キャンパスを会場として、各専攻の特徴等について10分の持ち時間で、参加した高校生に鈴木重行主任が説明した。本専攻への質問も鋭くかつ多く、高校生の興味の深さが示された。

その他の対外活動としては、前年度より開始された隣接する大幸医療センターでの相談外来では、河村守雄教授の腰痛相談室、猪田邦雄教授、加藤智香子助手の転倒予防・骨粗鬆症外来、鈴木重行教授の女性尿失禁相談外来が引き続き行われた。

(主任:鈴木重行)

## 作業療法学専攻

作業療法学専攻は作業療法に関する論理的学問体系を確立し、作業療法学領域の高度専門職業人の養成と教育・研究者の育成を目的として設置された専攻である。ちなみに作業療法とは人間行動の本質的な理解の上に立って、自己自らが積極的、創造的で生産的な生命活動を導き出すことで障害を克服ないし受容して生きることを支援するリハビリテーション科学の1分野である。

本専攻は基礎作業療法学講座と病態作業療法学講座の2つの大講座から構成されている。

基礎作業療法学講座は人体構造機能学、神経障害学、内部障害学、精神障害学といった作業療法の基礎となる学問領域で構成されており、人体の構造と機能に関する研究、精神あるいは神経障害の病態の分析と評価、内部障害の病態の分析などが主要な教育・研究領域である。

病態作業療法学講座は作業療法理論、作業評価学、作業治療学、地域作業療法学に関する教育と研究にあっている。また病態作業療法学講座は対象となる障害によって身体障害、精神障害、発達障害、老年期障害といった各領域について研究している。同時に領域を越えた総合的な視点での研究にも対応できるように学際的領域や情報科学など関連領域との交流にも心掛けている。

このように本専攻の教官は、それぞれ医学分野と作業療法学分野の各領域の教官から編成され、各々の背景分野を生かした研究活動を通してともに作業療法学の発展に資するよう努力をしている。

### 1. 運営

本専攻の運営は全員参加して行われる毎週水曜日の専攻会議を中心に行われる。専攻会議では作業療法学専攻の運営上の諸問題が話し合われる一方、全保健学科の委員会の報告や持ち帰り案件の審議と作業療法学専攻としての態度決定などがなされる。さらに専攻の行事が決定され、役割分担された任務活動の報告などが行われる。また学生の教育上の問題や成績評価などが討議され、総合臨床実習や卒業論文の可否の最終決定の教官投票が行われる。

教官人事などの教授専任事項については不定期に専攻教授会議を開催し、全員一致によって決定する。

またさまざまな点で密接に連携をとっている理学療法学専攻との月1回の両専攻会議も専攻運営上重要な会議となっている。

大学院修士課程の授業が開始され、院生による研究活動も開始された。大学院は理学療法学分野とでリハビリテーション療法学専攻を構成しているが作業療法学分野独自の問題もあり、それらは専攻会議の場で審議される。

専攻運営に関わる主要行事として、8月20日には初めての試みとして作業療法学専攻教官研修会が行われ、日頃の専攻会議では時間の関係でじっくり討議の出来ない学部教育の在り方、教育・研究の国際化の問題、専攻内の共同研究の問題などが話し合われ、有意義な1日となった。

10月16日、理学療法学専攻教授に就任した山田純生教授の就任歓迎会を理学療法学専攻と共催した。

### 2. 教育活動

専攻として1期生となる4年生は後期から卒業研究、就職活動、卒業研究発表会と慌ただしく過ごし、1月以降は国家試験準備に追われたが、3月3日の国家試験を経て、14年3月には卒業にこぎ着けることができた。大学院に進学した3名を除く全員がそれぞれ希望する医療機関などに就職することができた。

2月7日の臨床実習指導者会議から準備が進められ、4月から開始された第2期生の総合臨床実習は1名を除いて大過なく終了し、まずまずの成績と臨床実習指導者の評価を得ることができた。

4月19日、20日は例年の新生犬山ガイダンスを行って作業療法学教育の意義や学習方法についてガイダンスを行った。

4月1日発足となった大学院は4月10日入学試験、4月17日入学試験合格判定会議、4月30日入学式となったが、作業療法分野は一般選抜3名、社会人選抜7名の修士課程1年生を迎えることができた。

8月31日は大学院入学試験、9月7日は編入学試験が行われた。

9月14日、9月21日は保健学科の公開講座が作業療法学専攻が担当で「在宅障害者の自立支援」をテーマに4回に

わたって実施された。

### 3. 研究活動

当専攻の教官はそれぞれの異なった専門分野から構成されているため、専攻としての共同研究が成立しにくい側面を持っている。そのため専攻の研究は各個研究が多くなっている。

#### (1) 共同研究

- a. スモン患者の運動能力評価に関する研究（杉村、清水、美和、寶珠山、伊藤）
- b. スモン患者の基本動作時間の経時的变化に関する研究（清水、杉村、美和、寶珠山、伊藤）
- c. 若年スモン患者の ADL と QOL（伊藤、杉村、清水、美和、寶珠山）

#### (2) 各個研究

- a. 老年痴呆の障害分析学的研究（杉村）
- b. 老年痴呆患者の行動評価法の開発（杉村）
- c. 介護老人保健施設等における作業療法の効果に関する研究（田川）
- d. 老人痴呆患者の問題処理能力等の定量的評価に関する研究（田川）
- e. 分裂病の精神病理学的研究（鈴木）
- f. 青年期の精神医学的研究（鈴木）
- g. 神経疾患の性差に関する研究（鈴木）
- h. 動物介在療法（原）
- i. 介助犬に関する研究（原）
- j. 補装具と福祉機器に関する研究（原、伊藤）
- k. 作業療法の歴史に関する研究（加賀谷）
- l. 作業療法と自律神経機能に関する研究（美和）
- m. 精神障害に対する作業療法介入効果に関する研究（美和）
- n. 水浸と入浴の自律神経機能に与える影響に関する研究（美和）
- o. 脳磁図と体性感覚に関する研究（寶珠山）
- p. 認知機能と情動の関係についての研究（清水）
- q. 自己関連情報に関する心理的処理特性（清水）
- r. 作業療法とクリニカルパス（清水）
- s. QOL に関する研究（清水）
- t. 地域リハビリテーションシステムに関する研究（伊藤）
- u. 住宅改造における作業療法介入の効果に関する研究（伊藤）
- v. 精神分裂病に対する作業療法介入効果に関する研究（向）
- w. 児童虐待の精神心理学的研究（向）
- x. グループホームにおける作業療法（森）
- y. 機能訓練事業に対する作業療法の役割（森）

### 4. 対外的な、または社会と関わりのある活動

5月11日開催の全国理学療法士作業療法士学校養成施設連絡協議会に出席し、作業療法教育に関する諸問題、養成校の抱える諸問題を討議した。

10月3日、4日の国立大学理学療法士作業療法士教育施設協議会総会が本学保健学科の当番主催で行われた。夏期休暇以降さまざまな準備活動に追われた。

10月4日には大学院設置記念式典が行われ、来賓として日本作業療法士協会会長の杉原素子氏に出席いただいた。各教官がそれぞれ市町村が行う機能訓練事業やヘルパー養成、痴呆介護実務者研修などに講師として協力した。介護保険に関しては介護認定審査会委員、介護支援専門員の指導などに参画した。

各種の公開講座や市民のための講演会に講師として協力した。

このように当専攻では少数の教官が忙しい教育、研究の合間をぬってできるだけ市民のための、あるいは他職種のための教育活動に参画し、協力してきた。

(主任：杉村公也)

## 2. 公開講座

(平成14年度)



## 在宅障害者の自立支援 ―生活を支える環境・技術・交流―

名古屋大学医学部保健学科では、昭和58年以来、健康問題や医療問題を中心に人間生活に関する公開講座を開催し、多くの一般市民の皆様の参加を頂いてまいりました。

今回は、作業療法専攻が中心となり、現代の我が国におけるリハビリテーションの大きな流れとなっている地域における障害者の暮らしを支援するさまざまな活動について紹介しました。

### 実施要綱

主 催	名古屋大学医学部保健学科
後 援	愛知県、名古屋市、名古屋大学医師会、愛知県医師会、名古屋市医師会、名古屋市教育委員会
開催日時	平成14年 9月14日・21日（土曜日） 午後2時～4時半
開催場所	名古屋大学医学部保健学科大学院講義室
募集人員	150名
受講料	4,800円（テキスト代を含む）
修了書	3回以上出席の受講者に修了書を授与

### 講義内容と講師

第1回 9月14日 「生き甲斐のある生活獲得のために―作業療法からのメッセージ」（田川義勝教授）

リハビリテーションの目標は、疾病や障害を克服し、最高のレベルで元の状態にもどること、すなわち「人生の質」の再獲得といわれます。「障害」や「自立」の意味、障害の構造や内容、また、さまざまなリハビリテーション的方法あるいは考え方などについて、作業療法の立場から紹介しました。

第2回 9月14日 「生きた自助具―補助犬：介助犬・盲導犬・聴導犬」（原 和子助教授）

介助犬は肢体不自由者の日常生活動作を介助するように訓練された犬で、具体的には物を拾い上げて届けたり、ドアの開閉等の介助をします。盲導犬は視覚障害者の歩行を補助し、聴導犬は聴覚障害者の耳の代わりにするように訓練された犬です。しかし補助犬の普及には適切な育成と管理、社会の理解が欠かせません。介助犬使用者の適性も問われます。今回はこれらについて考えてみました。

第3回 9月21日 「自分でできることをふやすために―移動動作を中心にした便利な機器」（清水英樹助手）

もし私たちが障害をもったり、高齢になって介護を受けることになったとしても、自分のことぐらひは自分でしたいと思うのではないのでしょうか。また、仮に身の回りのことをするのに介助を受けるとしても、できるだけ負担にならないようにと考えると思います。このような思いに対する援助の一端として、さまざまな福祉用具や機器が考案されています。今回は、特に外出などの移動に関わる機器を中心にご紹介するとともに、参加者にもできる援助について一緒に考えてみました。

第4回 9月21日 「福祉と医療の連携―総合的サービスの実現に向けて」（加賀谷 一助教授）

障害をもって人が住み慣れた地域で暮らすことは、一人一人の生活を大切にしようとするこれからの福祉の大きなテーマですが、同時に自立生活支援を目指すリハビリテーションの目的とも深く関わる問題でもあります。ここでは在宅の障害をもった人たちが地域で生活することの意義と現状、そこに果たすリハビリテーションの役割と今後の展望について考えてみました。

(1) 受講者について

アンケートによると受講者の状況は以下のとおりでした。性別では女性が多く、年齢的には40代、50代の参加が目立ち、職業ではやはり、医療福祉関係者（医療事務、看護師、福祉施設職員、介護士など）が多くありました。

参加者：35名（男11名、女24名）

修了書授与者：31名

年齢構成：10代（3名）、20代（6名）、30代（5名）、40代（7名）、50代（7名）、60代（5名）、70代（2名）

職業（記載のあったもの）：医療福祉職（10名）、学生（4名）、会社員（3名）、公務員（2名）、教員（1名）、自営業（1名）

(2) 参加のきっかけと動機

講座を知ったきっかけでは新聞がもっとも多く、以前の受講者への案内や友人からの紹介、ポスター、インターネットをあげるものもありました。

受講者の背景と関連して、「職業上の知識・理解を増すため」がもっとも多く、40～50代では「余暇を有効に利用したい」「生活上の知識向上」を目的にあげるものが多くありました。

(3) 受講後の感想と今後の希望

修了後のアンケートでは「参考になった」「面白かった」「わかりやすかった」など、おおむね好意的な感想がみられました。また自分の仕事に役立つとの回答も関連職種では聞かれました。

今後とりあげるテーマとしては、「老人福祉に関すること」「介護に関すること」をあげるものが多く、この中には自らの在宅介護との関わりからの希望もありました。他には「予防」「看護」「自閉症」などに関するテーマの希望がありました。

また受講料については、少し高いのではないかという意見や、在宅介護に関わっている家族に対する割引制度の希望なども聞きかれました。

全体として、おおむね今回の講座は受講者から好意的に迎えられたと思われました。ただし60代、70代の高齢者への配慮（資料を見やすくするなど）や医療福祉関連職種の受講者と一般の受講者の希望する内容の違いの調整、受講料の検討などは今後も工夫・検討していかなければならないと感じさせられました。

（作業療法学専攻 平成14年度公開講座委員長 加賀谷 一）

### 3. 業 績 (2002年)

#### 凡 例

◎業績の収録期間は2002(平成14)年1月～12月とした。

◎業績は下記の種別に分類した。

- \* 著書
- \* 原著論文
- \* 総説・解説・その他
- \* 科研費・班研究等
- \* その他の印刷物等
- \* 学会発表
- \* 公開講座・講演会

◎掲載順位は ①専攻, ②業績種別, ③著者のアルファベット順 とした。

看護学専攻

〔著書〕

浅野みどり

第7章 子どもの思いをひきだすかわりータイミングが大切な小児白血病再発事例ー

『「今、ここ」にかかわる看護：患者支援のためのコミュニケーション』（任和子，豊田久美子共編）朱鷺書房，2002.  
pp 99-108

飯田美代子，森田せつ子

『10年女性健康手帳』（女性健康手帳を考える会著）  
博文館新社，2002. 175 p

石黒彩子

VII 健康障害をもつ子どもの看護 1. 呼吸機能の障害

『小児看護学（母子看護学）』（山中久美子，藤原千恵子，蝦名美智子編集，氏家幸子監修）廣川書店，2002. pp 201-  
213

石黒彩子

VII 健康障害をもつ子どもの看護 7. 運動機能の障害

『小児看護学（母子看護学）』（山中久美子，藤原千恵子，蝦名美智子編集，氏家幸子監修）廣川書店，2002. pp 273-  
283

河津芳子

第2部 ヒューマニスティック・グループ・アプローチの実践と研究 第7章 看護教育・現場でのヒューマニステ  
ィック・アプローチ

『ヒューマニスティック・グループ・アプローチ』（伊藤義美編著）ナカニシヤ出版，2002. pp 101-111

前川厚子，近藤あゆ子，松井茂登子，北澤昭子，松本恵美子，松浦稲子

訪問看護の質の向上への取り組みー大学と臨床の協働

『訪問看護白書：訪問看護10年の歩みとこれからの訪問看護』（日本訪問看護振興財団事業部編集）日本訪問看護振興  
財団，2002. pp 113-131

前川厚子

第2編 サービス利用者の理解，内部障害

『ケア輸送サービス従事者研修用テキスト』（シルバーサービス振興会編集）中央法規出版，2002. pp 152-162

前川厚子

①互療会・日本オストミー協会と私ーオストメイトに寄り添いながら生きて学ぶこと

『協会30年史』（日本オストミー協会協会30年史編集委員会編）日本オストミー協会，2002. pp 42-43

前川厚子

②ストーマ術式の変遷と装具，ケアの歴史

『協会30年史』（日本オストミー協会協会30年史編集委員会編）日本オストミー協会，2002. pp 120-131

前川厚子

#### 第10章 相談受付票の記入例 5. 知的障害の例

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル：身体障害・知的障害共通編 新版』（身体障害ケアマネジメント研究会，知的障害者ケアマネジメント研究会監修）中央法規出版，2002. pp 81-82

#### 前川厚子

#### 第11章 生活ニーズと社会資源のヒント 4. 内部障害の例

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル：身体障害・知的障害共通編 新版』（身体障害ケアマネジメント研究会，知的障害者ケアマネジメント研究会監修）中央法規出版，2002. pp 101-104

#### 前川厚子

#### 第12章 一次アセスメント票の記入例 5. 内部障害の例

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル：身体障害・知的障害共通編 新版』（身体障害ケアマネジメント研究会，知的障害者ケアマネジメント研究会監修）中央法規出版，2002. pp 134-139

#### 前川厚子

#### 第14章 二次アセスメントの記入例 3. 二次アセスメントの例（認定 WOC 看護師）

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル：身体障害・知的障害共通編 新版』（身体障害ケアマネジメント研究会，知的障害者ケアマネジメント研究会監修）中央法規出版，2002. p 160

#### 前川厚子

#### 第15章 ケア計画の記入例 5. 内部障害の例

『障害者ケアマネジメント実施マニュアル：身体障害・知的障害共通編 新版』（身体障害ケアマネジメント研究会，知的障害者ケアマネジメント研究会監修）中央法規出版，2002. pp 175-177

#### 渡邊あゆみ，森島恒雄

#### 第3章 どんな疾患があるのか | 神経系の感染症 | 単純ヘルペス脳炎

『脳・神経系疾患（看護のための最新医学講座 第1巻）』（祖父江元編集）中山書店，2002. pp 186-189

#### 渡邊順子

#### 第III部 看護診断の正確性のための指針 第4章 看護診断の正確性：概念開発

『事例に基づく看護診断の正確性の検証—看護診断のスキルアップのために—』（マーガレット・ラニー著；小笠原知枝，江本愛子，久米弥寿子監訳）コメディカルエディター，ブレーン出版（発売），2002. pp 178-187

#### 山内豊明

#### 第3章 対象のアセスメント及び計画，評価

『訪問指導マニュアル』（訪問指導マニュアルワーキンググループ著）保健同人社，2002. pp 33-39

#### 山内豊明

#### 第3章4 クリティカルパスを生んだアメリカの背景とパスの実例，そして今後の課題

『疾患別クリティカルパスと看護記録 下巻』（NTT 東日本関東病院看護部，高知県立中央病院クリティカルパス実行委員会，山内豊明編）日総研出版，2002. pp 175-187

#### 山内豊明監訳

『事例で学ぶ医療コミュニケーション・スキル：患者とのよりよい関係のために』（医療コミュニケーション研究会

訳) (原著 LLOYD Margaret, BOR Robert : Communication skills for medicine. New York : Churchill Livingstone, 1996)  
西村書店, 2002. v, 226 p

#### 山内豊明訳

『ベイツ診察法ポケットガイド』(原著 BICKLEY Lynn S., HOEKELMAN Robert A. : Bates' pocket guide to physical examination and history taking. 3rd ed. Philadelphia: Lippincott, c2000)  
メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2002. xii, 279 p

#### 〔原著論文〕

ONO Yuichiro, IMAEDA Toshihiko, SHIMAOKA Midori, HIRUTA Shuichi, HATTORI Yoji, **ANDO Shoko**, HORI Fumiko, TATSUMI Asami  
Associations of length of employment and working conditions with neck, shoulder and arm pain among nursery school teachers  
Ind Health 40 : 149-158, 2002

**安藤詳子**, 田中美由紀, 松浦恵子, 山口政江, **西川晶子**, **松村悠子**  
腎機能障害と患者の食事自己管理行動の促進に関する検討  
Quality Nursing 8(1) : 67-72, 2002

#### 安藤詳子

広がる緩和ケア病棟への期待—遺族の想い—  
健康文化振興財団紀要 33 : 22-25, 2002

#### 安藤詳子, 西川晶子, 松村悠子

ターミナルケアにおける倫理教育  
生命倫理 12(1) : 175-182, 2002

#### 松岡 薫, 山本隆行, 吉田和枝, 安藤詳子, 前川厚子

IBD 患者におけるオストミー保有群と非保有群のニーズの相違  
東海ストーマリハビリテーション研究会誌 22(1) : 109-111, 2002

#### 山田知子, 杉浦太一, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子

喘息児の QOL—喘息児自身が記入する QOL 調査票を用いた喘息児と健常児の QOL スコア比較—  
看護技術 48 : 322-329, 2002

#### 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子

血友病の子どもと家族のアセスメントとケア計画  
小児看護 25 : 1491-1495, 2002

#### 浅野みどり

母親が看護専門職から受けたサポートの活用経験と認識—アトピー性皮膚炎の乳幼児をもつ母親の場合—

日本看護医療学会雑誌 4(1):7-13, 2002

浅野みどり, 石黒彩子, 杉浦太一

気管支喘息をもつ学童の QOL 調査票 Ver.1の作成

日本看護科学会誌 22(1):53-63, 2002

江藤真紀, 久保田 新

地域高齢者の生活環境・習慣と転倒特性およびその後の変化

日本看護研究学会雑誌 25(4):33-51, 2002

藤井千恵, 古田真司, 松井利幸, 榊原久孝

小中学生とその両親の血清脂質検査等の相関に関する研究

東海学校保健研究 26(1):11-18, 2002

藤井千恵, 榊原久孝

地域消防団における若年男性の高尿酸血症とマルチプルリスクファクター症候群の関与

日本看護研究学会雑誌 25(1):111-118, 2002

後藤節子

ベトナムの絨毛性疾患克服への援助活動(第二報)

健康文化振興財団紀要 33:18-21, 2002

SAWADA Takahisa, **HIRAI Makoto**, AKAHOSHI Makoto, INDEN Yasuya, YOSHIDA Yukihiro, ISHIHARA Daizo, YAMADA Kiyoyasu, TAKADA Yasuo, TANAKA Toshiro, TAKADA Yasunobu, KONDO Takahisa, MUROHARA Toyoaki

Ventricular activation and recovery measured in electrocardiographic limb leads correlate with measurements from specific areas in body surface mapping

Europace 4:401-410, 2002

TANAKA Toshiro, IINO Shigeo, TAKESHITA Kyosuke, KONDO Takahisa, **HIRAI Makoto**

The effects of vasodilators on the relaxation of guinea-pig aorta during acute recoil

Int J Cardiol 86:193-198, 2002

SHIBATA Yoshihisa, MURAMATSU Takashi, **HIRAI Makoto**, INUI Tatsuya, KIMURA Terutoshi, SAITO Hidehiko, McCORMICK Lynn M., BU Guojun, KADOMATSU Kenji

Nuclear targeting by the growth factor midkine

Mol Cell Biol 22:6788-6796, 2002

TAKESHITA Kyosuke, YAMAMOTO Koji, ITO Masafumi, KONDO Takahisa, MATSUSHITA Tadashi, **HIRAI Makoto**, KOJIMA Tetsuhito, NISHIMURA Masahiko, NABESHIMA Yoichi, LOSKUTOFF David J., SAITO Hidehiko, MUROHARA Toyoaki

Increased expression of plasminogen activator inhibitor-1 with fibrin deposition in a murine model of aging, "Klotho" mouse

Semin Thromb Hemost 28:545-554, 2002



廣瀬允美, 飯田美代子, 玉里八重子, 森田せつ子  
在日ブラジル人女性の生活支援を考えるための生活実態調査  
愛知母性衛生学会誌 19:13-20, 2002

飯田美代子, 今井理沙, 南部真紀, 岡山久代, 宮里和子  
産後の母親の身体活動と疲労症状の変化と子どもへの感情について (第1報) —初産婦と経産婦の1年間の追跡調査から—  
愛知母性衛生学会誌 20:63-70, 2002

飯田美代子, 宮里和子, 星山佳治, 福岡秀興, 日暮 眞  
改訂版・育児日記の利用状況に関する実態調査  
母性衛生 43:300-307, 2002

YAMADA Michiharu, NUMAGUCHI Yasushi, OKUMURA Kenji, HARADA Mitsunori, NARUSE Keiji, MATSUI Hideo, **ITO Takayuki**, HAYAKAWA Tetsuo  
Prostacyclin synthase gene transfer modulates cyclooxygenase-2-derived prostanoid synthesis and inhibits neointimal formation in rat balloon-injured arteries  
Arterioscler Thromb Vasc Biol 22:256-262, 2002

UCHIDA Takanori, OKUMURA Kenji, **ITO Takayuki**, KAMIYA Hiroki, NISHIMOTO Yasuhiko, YAMADA Michiharu, TOMIDA Takahito, MATSUI Hideo, HAYAKAWA Tetsuo  
Quinapril treatment restores the vasodilator action of insulin in fructose-hypertensive rats  
Clin Exp Pharmacol Physiol 29:381-385, 2002

NISHIMOTO Yasuhiro, TOMIDA Takahito, MATSUI Hideo, **ITO Takayuki**, OKUMURA Kenji  
Decrease in renal medullary endothelial nitric oxide synthase of fructose-fed, salt-sensitive hypertensive rats  
Hypertension 40:190-194, 2002

川崎恵実, 門田直美, 前川厚子  
医療ニーズの高い在宅療養者が東海豪雨に遭遇したときの体験  
月刊ナーシング 22(8):128-135, 2002

IKI Masayuki, SAITO Yukie, DOHI Yoshiko, **KAJITA Etsuko**, NISHINO Harumi, YONEMASU Kunio, KUSAKA Yukinori  
Greater trunk muscle torque reduces postmenopausal bone loss at the spine independently of age, body size, and vitamin D receptor genotype in Japanese women  
Calcif Tissue Int 71:300-307, 2002

笠井恭子, 梶田悦子  
在宅高齢者の主観的健康感と治療疾患との関連  
福井県立大学論集 20:43-51, 2002

神里みどり, 孫 麗梅, 渋谷優子, 會田信子  
臨床看護職における自己教育力とその関連要因—看護職の特性とソーシャル・サポートとの関連—

Quality Nursing 8(6):69-76, 2002

**神里みどり**

乳癌患者の更年期障害とその関連要因および対処行動  
お茶の水医学雑誌 50(1):1-18, 2002

**片岡秋子, 渋谷菜穂子**

腹式呼吸における呼息一吸息時間の変化が及ぼす自律神経系への影響  
日本看護医療学会雑誌 4(1):14-18, 2002

**河津芳子, 大宮絵里子, 野坂久美子**

わが国における内容分析を用いた看護研究・最近10年間の動向  
日本看護医療学会雑誌 4(2):37-40, 2002

**河津芳子**

ナイチンゲールの近代看護婦養成システムの構造  
日本看護学教育学会誌 12(1):1-9, 2002

**前川厚子**

在宅ケアにおける重点課題  
日本在宅医学会雑誌 4(1):17-20, 2002

**柳沢尚代, 吉本照子, 前川厚子, 波川京子, 森下浩子**

行政事務職が認識した行政保健婦・士の専門能力と活動, および今後の役割への期待  
日本地域看護学会誌 4(1):100-105, 2002

**前川厚子**

訪問看護のエッセンス  
名古屋市高齢者療養サービス事業団年報 平成14年度:4-20, 2002

**三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 酒井知子**

小児看護実習における指導の実際と課題  
看護展望 27:1172-1179, 2002

OMURA Izumi, MIZUTANI Masako, GOTO Setsuko, HASHIMOTO Ryo, KITAGAMI Tomitsune, MIURA Hideki,  
OHTA Tatsuro

Plasma biopterin levels and depressive state in pregnancy and the early puerperal period  
Neuropsychobiology 45:134-138, 2002

**藤井憲子, 水溪雅子**

介護保険制度による通所サービスに対する利用者家族の満足度  
岐阜医療技術短期大学紀要 18:39-53, 2002

**島岡三紀子, 森田せつ子**

幼少期の父親イメージが赤ちゃんイメージに与える影響  
愛知母性衛生学会誌 19:5-12, 2002

**森田せつ子**, 野田みや子

母親教室が及ぼす出産後の友好関係  
愛知母性衛生学会誌 19:27-33, 2002

加藤千晶, **森田せつ子**

産科初診時の妊婦の実態調査—保健指導を考える—  
愛知母性衛生学会誌 19:49-54, 2002

**森田せつ子**

月経周期に伴う自覚的睡眠感の変動  
愛知母性衛生学会誌 19:63-70, 2002

**森田せつ子**

里帰り出産における夫婦の里方との関係  
愛知母性衛生学会誌 20:15-23, 2002

**岡山久代**, 高橋真理

日本語版 Prenatal Self-Evaluation Questionnaire の開発  
女性心身医学 7(1):55-63, 2002

**岡山久代**

妊婦の胎児への愛着に対する実母ならびに夫との関係の影響—パス解析による因果モデルの検討—  
日本看護研究学会雑誌 25(5):15-25, 2002

MÄKITIE Antti, PIRVOLA Ulla, PYYKKÖ Ilmari, **SAKAKIBARA Hisataka**, RIIHIMÄKI Vesa, YLIKOSKI Jukka  
Functional and morphological effects of styrene on the auditory system of the rat  
Arch Toxicol 76:40-47, 2002

HIRATA Mamoru, **SAKAKIBARA Hisataka**, ABE Mitsuru

Reduced sensory nerve conduction velocity of the distal part of the radial nerve among patients with vibration syndrome  
Electromyogr Clin Neurophysiol 42:113-118, 2002

**SAKAKIBARA Hisataka**, LUO Jin, ZHU Sankuan, HIRATA Mamoru, ABE Mitsuru

Autonomic nervous activity during hand immersion in cold water in patients with vibration-induced white finger  
Ind Health 40:254-259, 2002

MAEDA Setsuo, **SAKAKIBARA Hisataka**

Thermotactile perception thresholds measurement conditions  
Ind Health 40:353-361, 2002

**SAKAKIBARA Hisataka**, MAEDA Setsuo, YONEKAWA Yoshiharu

Thermotactile threshold testing for the evaluation of sensory nerve function in vibration-exposed patients and workers

Int Arch Occup Environ Health 75 : 90-96, 2002

TOIBANA Norikuni, ISHIKAWA Nobuhide, **SAKAKIBARA Hisataka**

Measurement of manipulative dexterity in patients with hand-arm vibration syndrome

Int Arch Occup Environ Health 75 : 106-110, 2002

**渡邊実香**, 久納智子

母子同室と母子異室における安静保持・疲労感の比較—ライフコーダによる活動量計測を通しての考察—  
愛知母性衛生学会誌 20 : 43-50, 2002

**渡邊憲子**, 伊藤美武

ラットにおける脂肪と血清脂質値に及ぼす食餌制限の効果  
日本看護医療学会雑誌 4 (1) : 36-42, 2002

河内伸浩, 岩瀬 敏, 高田宗樹, 道上大策, **渡邊順子**, 前 直美

腹部温電法が便秘を訴える若年女子の胃電図に及ぼす影響  
自律神経 39 : 433-437, 2002

傳 琦, 岩瀬 敏, 新美由紀, 神谷厚範, 道上大策, 間野忠明, **渡邊順子**

模擬微少重力環境曝露前後におけるヒトの下腿毛細血管浸透圧の変化と起立耐性との関係  
自律神経 39 : 514-522, 2002

**山内豊明**

諸外国における看護職の医行為実施について

Nursing Today 17(10) : 39-41, 2002

**山内豊明**, 吉川博子

クロイツフェルト・ヤコブ病とその看護  
医療 56 : 677-681, 2002

**山内豊明**, 佐々木詩子, 近藤こずゑ

事例で学ぶ高齢者のフィジカルアセスメントの実践  
老年看護 9 (3) : 23-30, 2002

**吉田久美子**

子どもの虐待とネットワーク

健康文化振興財団紀要 33 : 26-30, 2002

〔総説・解説・その他〕

山本貴代, 安藤詳子, 柴田英治, 手塚昶子  
医療機関の滅菌機周辺におけるエチレンオキシドガス濃度に関する検討  
医材と滅菌 74:40-47, 2002

浅野みどり

野口裕二著「物語としてのケア—ナラティブ・アプローチの世界へ—」書評  
家族療法研究 19:281-282, 2002

藤井千恵, 三浦清世美

小児看護学 (実習に役立つポケットリーフ2002)  
クリニカルスタディ 23(6):77-82, 2002

井口弘子, 高坂さと子, 神谷順一, 上坂克彦

胆管癌の周術期のメンタルケア  
消化器外科 Nursing 7(6):45-50, 2002

飯田美代子

大学教員による看護相談外来の実践  
看護教育 43:248-249, 2002

山内しのぶ, 河津芳子

聴こえんぞ  
看護学雑誌 66:776-779, 2002

MAEKAWA Atsuko, KAWATSU Yoshiko, ISHIGURO Ayako, ASANO Midori, IIDA Miyoko, ANDO Shoko, MORITA Setsuko, GOTO Setsuko, SAKAKIBARA Hisataka, ITO Takayuki, KAJITA Etsuko, TAMARI Yaeko, MIZUTANI Masako, YASUDA Michiko, WATANABE Noriko, MORISHIMA Tsuneo, KATAOKA Akiko, WATANABE Yoriko, YOSHIDA Kumiko, ETOH Maki, OKAYAMA Hisayo, KATSUYAMA Kimiko, KADOTA Naomi, SHIBUYA Naoko, NISHIKAWA Akiko, FUJII Chie, MIURA Kiyomi, KAMIZATO Midori, YAMAUCHI Toyoaki, MATSUMURA Yuko

International educational exchange for nursing students and faculty members in 2001-2002. Experience of Washington University, Boromarajonani College of Nursing Nopparat Vajira and Nagoya University School of Health Sciences  
J Jpn Soc Nurs Health Care (Nihon Kango Iryou Gakkai Zasshi) 4(1):51-54, 2002

前川厚子, 神里みどり

糖尿病による壊疽や切断は防げないのか?  
Nursing Today 17(5):35, 2002

前川厚子, 毛受矩子, 伊藤美智子, 積美保子, 塚田邦夫

第14回国際ストーリーナビリテーション学会フィレンツェ大会 進歩—明日に向かってともに歩もう!  
月刊ナーシング 22(14):106-110, 2002

**森田せつ子**

出産と家族

健康文化振興財団紀要 32：14-19, 2002

**中木高夫**

領域4《活動／休息》をじっくりと読み解く②（若く美しくなった看護診断ってNANDA ちゃって！第10回）

月刊ナーシング 22(1)：68-71, 2002

**中木高夫**

領域5《知識／認知》をじっくりと読み解く①（若く美しくなった看護診断ってNANDA ちゃって！第11回）

月刊ナーシング 22(2)：74-77, 2002

**中木高夫**

領域5《知覚／認知》をじっくりと読み解く②（若く美しくなった看護診断ってNANDA ちゃって！第12回）

月刊ナーシング 22(3)：70-75, 2002

**榊原久孝**

手腕振動暴露実験における末梢神経機能の影響評価

騒音制御 26：387-389, 2002

蜂須賀智宏, 畝山常人, **榊原久孝**

電動工具の人体影響評価

騒音制御 26：390-393, 2002

**榊原久孝**

Breslow の7つの健康習慣と社会的ネットワーク

日本看護医療学会雑誌 4(1)：3-5, 2002

**渡邊順子**

Freedom Trail to Nursing (1)

健康文化振興財団紀要 34：14-20, 2002

**渡邊順子**

ケア技術のエビデンス—ポジショニングのエビデンス—

臨床看護 28：1998-2004, 2002

**山内豊明**

フィジカルアセスメント 基礎知識と呼吸・循環

ナースビーンズ 4：973-995, 2002

**山内豊明**

フィジカルアセスメント 観察のポイントとその記録

ナースビーンズ 4：1085-1107, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 私だけの努力なの?  
ナース専科 22(4):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 患者対応って大変!  
ナース専科 22(5):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 相手に伝わることば  
ナース専科 22(6):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 あれで本当にいいの?  
ナース専科 22(7):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 イヤな上司にNOを言う?  
ナース専科 22(9):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 ナースとしての再出発  
ナース専科 22(10):42-45, 2002

**山内豊明**

ものの見方, 考え方 ナースとしての立場と成長とは  
ナース専科 22(11):42-45, 2002

**山内豊明**

(座談会) 臨床で活躍する先輩ナースが語る／大学で「自分で考え学ぶ」姿勢をみにつけた!  
ナース専科大学版 2003:4-8, 2002

**山内豊明**

なぜ標準化が必要なのか  
看護 54(8):34-37, 2002

**山内豊明**

年1回の全国一斉試験という国家試験の運用実態から考える  
看護教育 43:550-551, 2002

**山内豊明**

クリティカルシンキングアセスメント能力向上の鍵  
看護展望 27:1409, 2002

〔科研費・班研究等〕

石走知子, 福田博美, 天野敦子

慢性疾患を持つ子どもをめぐる家庭および医療機関と学校との連携に関する研究

平成12～13年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書「心身に障害を持つ人を学生が理解するための看護・教育学的研究」 pp 68-76, 2002

石走知子

小児糖尿病サマーキャンプへの学校職員の参加に関する研究

平成12～13年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書「心身に障害を持つ人を学生が理解するための看護・教育学的研究」 pp 77-80, 2002

石走知子

小児糖尿病をもつ児童生徒をめぐる家庭および医療機関と学校との連携に関する研究

平成12～13年度文部科学省科学研究費補助金（基盤研究C2）研究成果報告書「心身に障害を持つ人を学生が理解するための看護・教育学的研究」 pp 81-93, 2002

〔その他の印刷物等〕

近藤あゆ子, 松井茂登子, 北澤昭子, 松本恵美子, 松浦稲子, 前川厚子

訪問看護ステーション利用者の座位姿勢保持の実態について

平成13年度第7回訪問看護・在宅ケア研究助成事業報告書 pp 122-133, 2002

水溪雅子

メンタルケアの手法論Ⅱ 家族の仲で病む人を支える—患者, 家族との面接例を通して—

第47回メンタルケアのスペシャリスト養成講座（メンタルケア協会）実践課程テキスト pp 1-10, 2002

渡邊憲子

看護学生の「名声会」見学について

名古屋市名声会 32:13, 2002

〔学会発表〕

相原優子, 佐藤栄子, 橋本秀和, 恵美宣彦, 松下 正

造血管腫瘍のために通院しながら社会生活を送っている20代30代の人々の希望と希望の維持に関連する要因（講演集 p 283, 2002）

第22回日本看護科学学会学術集会, 2002.12（東京）

安藤詳子, 西川晶子, 前川厚子

患者遺族による開設期の緩和ケア病棟に対する評価（日本がん看護学会誌 16(Suppl.):135, 2002）

第16回日本がん看護学会学術集会, 2002.2（松山）



**安藤詳子, 前川厚子**

地域に根づく緩和ケア病棟 (抄録集 p 100, 2002)

第4回日本在宅医学会大会, 2002.2 (名古屋)

**安藤幸子, 加藤経子, 安藤詳子**

治療の同意説明におけるコーディネーターの役割とその取り組み—治験参加者に対するアンケート調査より— (日本看護研究学会誌 25(3):238, 2002)

第28回日本看護研究学会, 2002.8 (横浜)

**中村みゆき, 安藤詳子**

脳神経外科領域における初回遺伝子治療例に関する看護倫理の考察 (抄録集 p 55, 2002)

第14回日本生命倫理学会, 2002.11 (広島)

**杉浦太一, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子**

喘息をもつ学童を対象とした自記式 QOL 調査票の改良—改良版を使用した信頼性・妥当性の検討— (抄録集 p 19, 2002)

第6回日本看護研究学会東海地方会, 2002.1 (名古屋)

**浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子, 杉浦太一**

JSCA-QOL Ver.2 による喘息学童児の QOL 調査 (講演集 p 51, 2002)

第19回日本小児難治喘息・アレルギー疾患学会, 2002.5 (大阪)

**浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子**

在宅障害児における家族の強み—強みタイプ別の面接データ分析から— (講演抄録集 p 28, 2002)

第4回日本看護医療学会学術集会, 2002.10 (静岡)

**浅野みどり, 杉浦太一, 三浦清世美, 鳥居新平, 石黒彩子**

喘息をもつ学童の QOL の現状—JSCA-QOL (Ver.2) を用いて— (プログラム講演集 pp 284-285, 2002)

第49回日本小児保健学会, 2002.10 (神戸)

**木村美香子, 浅野みどり, 三浦清世美, 石黒彩子**

子どもの入院がきょうだいに及ぼす影響—母親からみた子どもの変化— (講演抄録集 p 27, 2002)

第4回日本看護医療学会学術集会, 2002.10 (静岡)

**多田 元, 浅野みどり, 隈元真理子, 鬼頭まり子, 佐野 実, 立松照康, 田中直美, 水谷美佐子, 井上直美, 今西洋子, 井上 薫**

あいち子どもの虐待防止研究会の活動報告 (プログラム・抄録集 p 152, 2002)

第8回日本子どもの虐待防止研究会学術集会, 2002.12 (東京)

**江藤真紀, 中谷芳美, 松原 勇, 梶田悦子, 鏡森定信**

地域高齢者の社会参加と転倒経験との関連 (日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録):753, 2002)

第61回日本公衆衛生学会, 2002.10 (さいたま)

**藤井千恵, 榎原久孝**

家庭・学校・地域連携による児童・生徒の生活習慣病予防活動—子どもの身体の実態把握と連携システム構築について— (講演集 p 17, 2002)

第6回日本看護研究学会東海地方会学術集会, 2002.1 (名古屋)

**藤井千恵**, 古田真司, **榊原久孝**

小中学生とその両親の血清脂質検査等の相関に関する研究 (講演集 p 40, 2002)

第48回東海公衆衛生学会学術大会, 2002.7 (津)

**藤井千恵**, 古田真司, **梶田悦子**, **榊原久孝**

血清脂質検査結果等の親子相関に関する研究 (抄録集 p 453, 2002)

第61回日本公衆衛生学会総会, 2002.10 (さいたま)

大村いづみ, **後藤節子**

更年期女性の不定愁訴と抑うつ状態について(第2報)—カテコールアミンおよび血漿中ビオプテリン値による検討— (日本産科婦人科学会雑誌 54(2):381, 2002)

第54回日本産科婦人科学会学術講演会, 2002.4 (東京)

竹下亨典, 近藤隆久, 飯野重夫, **平井眞理**, 室原豊明, 山本晃士, 伊藤雅文, 北市清幸, 藤森俊彦, 鍋島陽一, 本壮晴朗, 安井健二, 李 鐘国, 神谷香一郎, 児玉逸雄

早期老化マウス klotho mouse の突然死に関する研究 (要旨集 p 12, 2002)

第27回東海不整脈研究会, 2002.10 (名古屋)

TAKESHITA Kyosuke, KONDO Takahisa, YASUI Kenji, LEE Jong-Kook, IINO Shigeo, **HIRAI Makoto**, HONJO Haruo, KAMIYA Kaichiro, KODAMA Itsuo

Unexpectedly early death of klotho mice, a human aging model, is associated with a failure of autonomic response of heart rate. (Circulation 106(19, Suppl.2):153, 2002)

2002 Annual Meeting / American Heart Association, 2002.11 (Chicago, USA)

YOSHIDA Yukihiro, **HIRAI Makoto**, TSUBOI Naoya, ITO Teruo, TAKEFUJI Mikihiro, YAMADA Takumi, KONDO Takahisa, INDEN Yasuya

Beneficial effect of cardiac resynchronization therapy on nocturnal disordered breathing in patients with chronic heart failure and intraventricular conduction delay. (Circulation 106(19, Suppl.2):431, 2002)

2002 Annual Meeting / American Heart Association, 2002.11 (Chicago, USA)

**飯田美代子**, 宮里和子

「10年女性健康手帳」の試作と評価—40代女性の2年間の使用を通して— (母性衛生 43(3):106, 2002)

第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9 (旭川)

今井理沙, 南部真紀, **飯田美代子**, 宮里和子

出産後の身体活動量と自覚疲労および児に対する感情の推移—初産婦と経産婦の1年間の追跡調査から— (母性衛生 43(3):293, 2002)

第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9 (旭川)

南部真紀, 今井理沙, **飯田美代子**, 宮里和子

母子同室と母子異室における産褥4日目の母親の身体活動量と自覚疲労調査（母性衛生 43(3)：289, 2002）  
第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9（旭川）

**生田美智子, 渡邊順子**

排泄の体験学習における学生の実施状況（抄録集 p 26, 2002）  
第6回日本看護研究学会東海地方会学術集会, 2002.1（名古屋）

**鳥居新平, 石黒彩子**

小児気管支喘息のQOL（アレルギー 51(2/3)：209, 2002）  
第14回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2002.3（千葉）

**近藤あゆ子, 松浦稲子, 門田直美, 前川厚子**

体圧分散状況からみた在宅高齢者の座位姿勢評価法の検討（抄録集 p 95, 2002）  
第4回日本在宅医学会大会, 2002.2（名古屋）

**近藤あゆ子, 松浦稲子, 北澤昭子, 林 由紀子, 門田直美, 前川厚子**

T訪問看護ステーション利用者の座位保持の実態について～在宅での座位保持ケア確立を目指して～（抄録集 p 11, 2002）  
第33回日本看護学会学術集会, 2002.5（松江）

**中谷芳美, 松原 勇, 関根道和, 鏡森定信, 梶田悦子**

地域住民のQOLを高める要因の検討（日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録)：429, 2002）  
第61回日本公衆衛生学会総会, 2002.10（さいたま）

**KAMIZATO Midori, SHIBUYA Masako, MAEKAWA Atsuko**

Menopausal symptoms, daily difficulties and self-care behaviors among breast cancer. (Abstract. p 54, 2002)  
12th International Conference on Cancer Nursing, 2002.8 (London, UK)

**片岡秋子, 井口弘子**

救急で入院する患者, 家族, 看護者へのリラクゼーションに向けての基礎的研究—腹式呼吸・足部マッサージ・両技法併用の生理的効果の比較（日本救急看護学会雑誌 4(1)：108, 2002）  
第4回日本救急看護学会学術集会, 2002.11（東京）

**勝山貴美子**

患者-看護者間におけるケアに関する一考察～看護者の患者家族に対する認識を手がかりにして～（プログラム・予稿集 p 23, 2002）  
第21回日本医学哲学倫理学会大会, 2002.10（大阪）

**河津芳子, 生田美智子**

体験学習を取り入れたコミュニケーション技術論の授業展開（講演集 p 112, 2002）  
第12回日本看護学教育学会学術集会, 2002.7（札幌）

**前川厚子, 安藤詳子, 西川晶子, 門田直美, 神里みどり, 渋谷優子**

要介護認定を受けたストーマ保有者の在宅ケア困難要因（日本がん看護学会誌 16(Suppl.)：113, 2002）

第16回日本がん看護学会学術集会, 2002.2 (松山)

前川厚子, 安藤詳子, 渋谷由紀, 滝本宏美, 山本亜矢, 鈴木愛美, 伊藤美智子, 積美保子

オストメイトの社会復帰 看護職から見た虚弱・高齢・要介護オストメイトに対する在宅ケアへの課題 (日本ストーマリハビリテーション学会誌 17(3):40, 2002)

第19回日本ストーマリハビリテーション学会, 2002.2 (熊本)

前川厚子, 安藤詳子, 西川晶子, 門田直美, 渡邊憲子, 榊原久孝, 楠神和男, 伊奈研次, 伊藤美智子, 高添正和, 松岡薫, 神里みどり, 渋谷優子, 小松喜子, 山崎京子, 吉川由利子, 片平洸彦

外科治療経験をもつ IBD 患者の医療と看護のニーズ (予稿集 p1, 2002)

第18回名古屋クローン病研究会, 2002.3 (名古屋)

前川厚子, 安藤詳子, 神里みどり, 門田直美, 渡邊憲子, 作間久美, 平井孝, 中里博昭

「健心友の会」現況調査にみる OSAS 得点と QOL の関連 (予稿集 p2, 2002)

第45回東海ストーマリハビリテーション研究会, 2002.6 (名古屋)

MAEKAWA Atsuko, ANDO Shoko, KAMIZATO Midori, KADOTA Naomi, KUSUGAMI Kazuo, MENJU Noriko, KATAHIRA Kiyohiko, KOMATSU Yoshiko, SHIBUYA Masako, YAMAZAKI Kyouko

Long term needs of Japanese IBD patients who had surgical treatment. (Abstract. p 336, 2002)

14th Biennial Congress / World Council of Enterostomal Therapists (WCET), 2002.7 (Florence, Italy)

MENJU Noriko, MAEKAWA Atsuko, ANDO Shoko, KAMIZATO Midori, KADOTA Naomi, YOSHIKAWA Yuriko, WATANABE Noriko, NAKAZATO Hiroaki

Related factor of ostomate's self adjustment and QOL of Japanese ostomy club members. (Abstract. p 310, 2002)

14th Biennial Congress / World Council of Enterostomal Therapists (WCET), 2002.7 (Florence, Italy)

前川厚子, 神里みどり, 安藤詳子, 渡邊憲子, 楠神和男, 伊奈研次, 伊藤美智子, 高添正和, 小松喜子, 片平洸彦  
北海道, 関東, 東海地区における IBD 患者の生活ニーズの現況 (抄録集 pp 3-4, 2002)

第19回名古屋クローン病研究会, 2002.9 (名古屋)

前川厚子, 岡みゆき, 神里みどり, 安藤詳子, 門田直美, 渡邊憲子, 鳥居修平

系統的レビューによる褥瘡研究会活動の動向分析 (予稿集 p2, 2002)

第21回褥瘡研究会, 2002.9 (名古屋)

前川厚子, 神里みどり, 楠神和男, 伊奈研次, 伊藤美智子, 高添正和, 小松喜子, 渋谷優子, 山崎京子, 片平洸彦  
北海道, 関東, 東海地区における IBD 患者の生活ニーズの現況 (抄録集 pp 21-22, 2002)

平成14年度第1回厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班総会, 2002.11 (東京)

小松喜子, 前川厚子, 神里みどり, 渋谷優子, 山崎京子, 錦織正子, 片平洸彦

炎症性腸疾患患者の保健医療福祉ニーズと QOL (抄録集 pp 19-20, 2002)

平成14年度第1回厚生労働科学研究費補助金特定疾患対策研究事業特定疾患の疫学に関する研究班総会, 2002.11 (東京)

**三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 塩見美幸**

胆道閉鎖症の子どもの看護アセスメントに関する学生の傾向～実習記録の分析～（講演集 pp 64-65, 2002）  
第12回日本小児看護学会学術集会, 2002.7（横浜）

**三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子**

子どもを亡くした母親の体験—生体部分肝移植のドナーとして—（講演集 p 63, 2002）  
第33回日本看護学会小児看護学術集会, 2002.9（富山）

**水野美奈子, 三浦清世美, 浅野みどり, 石黒彩子, 吉田久美子**

在宅人工呼吸器療法中の小児の母親の思い（抄録集 p 26, 2002）  
第4回日本看護医療学会学術集会, 2002.10（静岡）

**MORISHIMA Tsuneo**

Influenza-associated encephalopathy in Japan (Invited lecture)  
CDC Seminar / Center for Disease Control and Prevention, 2002.3 (Atlanta, USA)

**森島恒雄**

ヘルプスウイルスの潜伏感染と再活性化  
第25回日本顔面神経研究会, 2002.6（高知）

**MORISHIMA Tsuneo**

Pathogenesis of influenza-associated encephalopathy  
Japan-US Cooperative Medical Science Program, 2002.2 (New Orleans, USA)

**北市清幸, 森島恒雄**

インフルエンザ脳炎・脳症における NSAIDs の影響について  
平成14年度第2回厚生労働省インフルエンザ脳炎・脳症研究班会議, 2002.11（東京）

**森田せつ子**

地域別にみた里帰り出産における夫婦の里方との経済的・情緒的關係（母子衛生 43(3) : 124, 2002）  
第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9（旭川）

**任 和子, 中井義勝**

糖尿病患者の心理社会的ストレスと血糖コントロールの関連について  
第33回日本心身医学会近畿地方会, 2002.2（大阪）

**西川晶子, 安藤詳子, 前川厚子**

がん性疼痛管理の妨害因子に対する医療関係者の認識（日本がん看護学会誌 16(Suppl.) : 143, 2002）  
第16回日本がん看護学会学術集会, 2002.2（松山）

**西川晶子, 安藤詳子, 松村悠子**

臨床実習におけるインフォームド・コンセントに関する看護学生の学び（予稿集 p 53, 2002）  
第14回日本生命倫理学会年次大会, 2002.11（広島）

小笠原ゆかり, 坪井明代, 長崎菜穂子, 平山隆喜, 土平俊子, 伊藤光子  
在宅死を支える訪問看護婦に求められるもの—在宅ターミナルケアの満足度調査から— (日本在宅医学会雑誌  
4 (1) : 54, 2002)  
第4回日本在宅医学会大会, 2002.2 (名古屋)

岡山久代, 高橋真理  
初産婦における妊婦の母親との関係と出産への準備との関連性 (日本助産学会誌 5 (3) : 168-169, 2002)  
第16回日本助産学会学術集会, 2002.3 (東京)

岡山久代, 高橋真理  
妊娠経過による妊婦の不安要因の分析—心理・社会的側面の適応状態の影響について— (日本看護研究学会雑誌 25  
(3) : 129, 2002)  
第28回日本看護研究学会学術集会, 2002.8 (横浜)

榊原久孝  
振動感覚閾値検査法の国際標準化  
第15回日本産業衛生学会東海地方会振動障害研究会, 2002.3 (名古屋)

前田節雄, 榊原久孝  
温冷覚検査 第一報 測定条件の検討 (抄録集 p 266, 2002)  
第75回日本産業衛生学会, 2002.4 (神戸)

榊原久孝, 前田節雄  
温冷覚検査 第二報 振動暴露者での有効性の検討 (抄録集 p 267, 2002)  
第75回日本産業衛生学会, 2002.4 (神戸)

平田 衛, 榊原久孝  
振動障害患者における上肢の感覚神経伝導速度の測定 (抄録集 p 274, 2002)  
第75回日本産業衛生学会, 2002.4 (神戸)

榊原久孝, 藤井千恵  
血液凝固因子 (血漿フィブリノゲン濃度) と動脈硬化因子 (抄録集 p 85, 2002)  
第48回東海公衆衛生学会, 2002.7 (津)

**SAKAKIBARA Hisataka, FUJII Chie**  
Plasma fibrinogen and its relating factors in community-based Japanese samples. (Abstract. p 198, 2002)  
16th International Epidemiological Association World Congress of Epidemiology, 2002.8 (Montreal, Canada)

HACHISUKA Tomonori, HARA Yachio, UNEYAMA Tsunehito, **SAKAKIBARA Hisataka**  
Multiple evaluation of hand-held portable power tools of percussion hammer and rotary hammer. (Proceedings pp 130-  
142, 2002)  
10th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration, 2002.8 (Ube)

渋谷菜穂子, 水溪雅子, 立石充子, 鈴木敦子

精神看護学実習における学生の“理解できた”とは—実習記録の分析を通して—  
第4回日本看護医療学会学術集会, 2002.10 (静岡)

**玉里八重子, 飯田美代子, 赤川里美, 岡山久代, 渡邊実香, 森田せつ子**  
周産期の家族生活の変容に関するカテゴリー化の試み (母性衛生 43(3):224, 2002)  
第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9 (旭川)

**大久保尚子, 玉里八重子, 岡山久代**  
母乳栄養が出来ない母親の自尊心の検討 (母性衛生 43(3):295, 2002)  
第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9 (旭川)

**北村知子, 玉里八重子, 岡山久代**  
NICUに入院した児をもつ父親への説明と愛着形成の関連 (母性衛生 43(3):232, 2002)  
第43回日本母性衛生学会総会, 2002.9 (旭川)

**渡邊実香, 久納智子**  
母子同室と母子異室における安静保持・疲労感の比較—ライフコーダによる活動量計測を通しての考察— (プログラム・講演抄録集 p9, 2002)  
愛知母性衛生学会20周年記念学術集会, 2002.5 (名古屋)

**鈴木達彦, 岩瀬 敏, 河内伸浩, 高田宗樹, 道上大策, 渡邊順子, 前 直美**  
腹部温罨法が便秘を訴える若年女子の胃電図に及ぼす影響 (プログラム・抄録集 p80, 2002)  
第55回日本自律神経学会総会, 2002.10 (さいたま)

**渡辺千尋, 三笠里香, 山内豊明**  
血圧測定に必要とされる安静時間の妥当性についての実証的研究 (講演抄録集 pp46-47, 2002)  
第1回日本看護技術学会学術集会, 2002.10 (東京)

**安田道子**  
長年の内的ひきこもりから不登校に陥ったA子 (報告書「平成13年度更生補導特別企画・松江シンポジウム—テーマ・引きこもりと学生相談—」 pp80-92, 2002)  
第35回全国学生相談研究会議, 2002.1 (松江)

**安田道子, 水野鮎子**  
高校生における友人関係と満足感との関連 (講演集 p17, 2002)  
第45回東海学校保健学会総会, 2002.10 (刈谷)

**吉田久美子, 佐々木佳代, 梶田悦子**  
乳幼児を持つ父親の子育てと子ども観や仕事観の関連 (日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録):653, 2002)  
第61回日本公衆衛生学会総会, 2002.10 (さいたま)

**堀川亜紀子, 吉田久美子, 梶田悦子**  
乳幼児を持つ母親の子育て支援に関する一考察—育児に対するイメージとソーシャルサポートの関連から— (日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録):650, 2002)

第61回日本公衆衛生学会総会，2002.10（さいたま）

〔公開講座・講演会〕

**浅野みどり**

家庭訪問を考える—地域保健・看護の立場から—  
あいち子どもの虐待防止セミナーシンポジウム，2002.3（大府）

**藤井千恵**

子どもの食と生活  
愛知県刈谷市立井ヶ谷幼稚園教育講演会，2002.12（刈谷）

**門田直美**

在宅介護におけるホームヘルパーの役割  
京都介護者ネットワーク公開講座，2002.7（京都）

**勝山貴美子**

ケアの質はいかに保証されるか（資料集 pp 48-69，2002）  
日本医学哲学・倫理学会関東支部文部科学省成果公開講座「今，ケアにとわれているもの—医療におけるケアとその倫理」，2002.11（東京）

**榊原久孝**

振動障害診断法の国際的検討  
第7回高知振動病研究会，2002.3（高知）

**榊原久孝**

生活習慣病を通じた健康づくり  
豊橋市ヘルスポランティア地域活動講座，2002.5（豊橋）

**吉田久美子**

明日の公衆衛生を考える 保健婦の元気の素！（豊田版報告集 pp 50-53，2002）  
いきいき公衆衛生の会・明日の公衆衛生を考える，2002.3（豊田）



放射線技術科学専攻

〔著書〕

大西英雄, 奥村雅彦, 熊谷道朝, 唐沢治男, 小山修司, 金場敏憲, 澤田道人, 畑川政勝, 花井耕造, 松井美楯, 松田豪, 丸橋一夫, 宮崎 茂, 山口和也, 砂屋敷 忠

『放射線技術学用語集 (補遺編)』(日本放射線技術学会平成13年度学術調査検討班)

日本放射線技術学会出版委員会, 2002. 79 p

小幡康範

第9章 腫瘍の放射線生物学

『放射線生物学 (放射線技術学シリーズ)』(日本放射線技術学会監修 江島洋介, 木村博共編) オーム社, 2002. pp 166-186

小幡康範

第3章 放射線治療技術 3. 患者とのコミュニケーションおよび治療計画 1) 患者とのコミュニケーション, 2) 治療術式の検討 (標的体積の設定), 3) シミュレーション (標的体積の決定), 4) 投与線量の設定

『図解診療放射線技術実践ガイド: 第一線で必ず役立つ知識・実践のすべて』(高橋正治編集主幹) 文光社, 2002. pp 908-922

〔原著論文〕

**AOYAMA Takahiko, KOYAMA Shuji, KAWAURA Chiyo**

An in-phantom dosimetry system using pin silicon photodiode radiation sensors for measuring organ doses in x-ray CT and other diagnostic radiology

Med Phys 29 : 1504-1510, 2002

**HOMMA Mitsuhiro, TABUSHI Katsuyoshi, OBATA Yasunori, TAMIYA Tadashi, KOYAMA Shuji, ISHIGAKI Takeo**

A method for measuring the dose distribution of the radiotherapy domain using the computed radiography system

Jpn J Med Phys (Igaku Butsuri) 22 : 487-494, 2002

**HOMMA Mitsuhiro, TABUSHI Katsuyoshi, OBATA Yasunori, TAMIYA Tadashi, KOYAMA Shuji, KUROOKA Masahiko, SHIMOMURA Kouhei, ISHIGAKI Takeo**

A new method for measuring the dose distribution of the radiotherapy domain using IP

Proceedings of the 3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and the 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics (Sept. 26-28, 2002 ; Gyeongju, Korea). pp 237-240

**IMAI Kuniharu**

Properties of tree propagation from a simulated tree channel in LLDPE prepared by metallocene catalyst

2002 annual report : Conference on Electrical Insulation and Dielectric Phenomena, October, 20-24, 2002, Cancun, Quintana Roo, Mexico (IEEE Publication 02CH37372). Piscataway, N.J. : IEEE Operations Center, c2002. pp 963-966

**IMAI Kuniharu**

Relationship between superstructure of crystalline polymer and tree propagation from a simulated tree channel

Proceedings of the 11th Aasian Conference on Electrical Discharge (Nov., 2002 ; Seoul, Korea). pp 548-551

今井國治

模擬トリー径と模擬トリーから伸展するトリーの伸展要因との関係  
静電気学会誌 26(2) : 84-90, 2002

今井國治

模擬トリーからのトリー伸展に及ぼすアニール効果—初期・偶発的なトリー伸展要因の検証—  
静電気学会誌 26(4) : 175-181, 2002

ITOH Shigeki, SATAKE Hiroko, OHTA Toyohiro, ASAI Hideaki, ENDO Tokiko, ISHIGAKI Takeo

Pancreatic ductal adenocarcinoma showing iso-attenuation in early-phase contrast-enhanced CT : comparison with  
histopathological findings  
Rad Med 20 : 59-67, 2002

ITOH Shigeki, IKEDA Mitsuru, MORI Yoshine, SUZUKI Koujiro, SAWAKI Akiko, IWANO Shingo, SATAKE Hiroko,  
ARAHATA Shoji, ISOMURA Takayuki, OZAKI Masahiro, ISHIGAKI Takeo

Lung : feasibility of a method for changing tube current during low-dose helical CT  
Radiology 224 : 905-912, 2002

ZHAO Ying Lan, DU Jun, **KANAZAWA Hiroaki**, CEN Xiao Bo, TAKAGI Kenji, KITAICHI Kiyoyuki, TATSUMI  
Yasuaki, TAKAGI Kenzo, OHTA Michio, HASEGAWA Takaaki

Shiga-like toxin II modifies brain distribution of a P-glycoprotein substrate, doxorubicin and P-glycoprotein expression  
in mice  
Brain Res 956 : 246-253, 2002

ZHAO Ying Lan, DU Jun, **KANAZAWA Hiroaki**, SUGAWARA Ayako, TAKAGI Kenji, KITAICHI Kiyoyuki,  
TATSUMI Yasuaki, TAKAGI Kenzo, HASEGAWA Takaaki

Effect of endotoxin on doxorubicin transport across blood-brain barrier and P-glycoprotein function in mice  
Eur J Pharmacol 445 : 115-123, 2002

金澤寛明, 保住 功, 松山善治郎, 犬塚 貴, 内田洋子, 永沼 章

ラットの味蕾内におけるメタロチオネインの局在  
日本味と匂学会誌 9(3) : 601-602, 2002

KODAMA Naoki, SHIMADA Tetsuo, **KOBAYASHI Yoshio**, HIWATASHI Kei, HIYOSHI Isao, SHIBUKAWA Makoto,  
KAWASE Yasuhiro, FUKUMOTO Ichiro

The possibility of magnetic resonance imaging-based diagnosis of Alzheimer-type dementia  
IEICE Trans Inf & Syst E85-D(3) : 592-596, 2002

吉田 彰, 朝原正喜, 岡田弘治, 東田善治, 本田 貢, 西原貞光, 村上康則, **小寺吉衛**, 大塚昭義

最近の感材の特性と評価  
日本放射線技術学会雑誌 58 : 251-257, 2002

吉田 彰, 朝原正喜, 大塚昌彦, 隅田博臣, 東田善治, 村上康則, 杜下淳次, 吉田堅一, **小寺吉衛**, 大塚昭義  
増感紙／フィルム系の画質因子の経年的測定

日本放射線技術学会雑誌 58 : 322-329, 2002

KUROOKA Masahiko, **KOYAMA Shuji**, **OBATA Yasunori**, **HOMMA Mitsuhiko**, **IMAI Kuniharu**, **TABUSHI Katsuyoshi**  
A convenient system for film dosimetry using NIH-image software  
Proceedings of the 3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and the 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics (Sept. 26-28, 2002 ; Gyeongju, Korea). pp 260-262

服部真澄, **小山修司**, **前田尚利**  
MRIにおける実用 MTF 測定法—エッジ法を使用して—  
日本放射線技術学会雑誌 58 : 487-494, 2002

青山裕一, **小山修司**  
アプリケーションのない電子線照射野の軸外平均入射エネルギーの測定：シンチレーションファイバ電子線エネルギーモニタの利用  
日本放射線技術学会雑誌 58 : 826-832, 2002

**MIYAHARA Hiroshi**, HAYASHI Nobuo, FUJIKI Kazuo, TAKEUCHI Norio, HINO Yoshio  
Determination of the emission probabilities of the principal gamma-rays for  $^{134}\text{Cs}$  to a high precision  
Appl Radiat Isot 56 : 131-135, 2002

**MIYAHARA Hiroshi**, YOSHIDA Atsushi, GATOT WURDIYANT, NAGATA Hideaki, NADA MARNADA  
Determination of precise gamma-ray emission probabilities for  $^{88}\text{Rb}$   
Appl Radiat Isot 56 : 163-167, 2002

KATOH Keiji, **MIYAHARA Hiroshi**, NADA MARNADA, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, FUJIKI Kazuo, HABA Hiromitsu, NISHINAKA Ichiro, TSUKADA Kazuaki, NAGAME Yuichiro, ASAI Masato, ICHIKAWA Shin-ichi  
Production of  $^{147}\text{Eu}$  for gamma-ray emission probability measurement  
J Nucl Sci Tech 39 : 329-331, 2002

NADA MARNADA, **MIYAHARA Hiroshi**, UEDA Naoyoshi, IKEDA Keiichi, HAYASHI Nobuo  
 $\gamma$ -ray emission probabilities of  $^{193}\text{Os}$   
Nucl Instrum and Meth A 480 : 591-597, 2002

手塚貴子, 坂倉規之, **小幡康範**, **田伏勝義**, **小山修司**, 青山裕一, 下平晃代, 近藤 悟  
全身照射のためのファントムによる線量測定  
日本放射線技術学会雑誌 58 : 511-516, 2002

**OGATA Yoshimune**, NISHIZAWA Kunihide  
In situ calibration and evaluation of the accuracy of a waste water monitoring system  
Health Phys 82 : 327-334, 2002

**緒方良至**, 佐久間洋一, 大谷暢夫, 小高正敬  
比例計数管を用いたトリチウム放射能濃度のリアルタイムモニタリング  
Proceedings of the 3rd Workshop on Environmental Radioactivity (Mar., 2002 ; Tsukuba). pp 109-114

佐久間洋一, 山西弘城, 飯田孝夫, 森泉 純, 緒方良至, 辻 成人  
重水からのトリチウム分離における陰極材質による分離係数の差異  
Proceedings of the 3rd Workshop on Environmental Radioactivity (Mar., 2002 ; Tsukuba). pp 115-120

小金澤孝之, 飯田孝夫, 佐久間洋一, 山西弘城, 緒方良至, 辻 成人, 佐竹 洋, 垣内正久  
電解濃縮を用いた環境水中トリチウム濃度測定効率化  
Proceedings of the 3rd Workshop on Environmental Radioactivity (Mar., 2002 ; Tsukuba). pp 121-126

ISHIHARA Shunichi, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, IKEDA Mitsuru, KATO Katsuhiko, MORI Yoshine, ISHIGUCHI Tsuneo, ISHIGAKI Takeo  
CRT diagnosis of pulmonary disease : influence of monitor brightness and room illuminance on observer performance  
Comput Med Imaging Graph 26 : 181-185, 2002

**SHIMAMOTO Kazuhiro**, IKEDA Mitsuru, SATAKE Hiroko, ISHIGAKI Satoko, SAWAKI Akiko, ISHIGAKI Takeo  
Interobserver agreement and performance score comparison in quality control using a breast phantom : screen-film mammography vs computed radiography  
Eur Radiol 12 : 2192-2197, 2002

ISHIGAKI Takeo, IKEDA Mitsuru, USAMI Hisashi, HIDANO Satoshi, **SHIMAMOTO Kazuhiro**, **KODERA Yoshie**  
Verification of clinical test objects for diagnostic quality-guaranteed CRT monitor based on the visual evaluation  
Medical Imaging 2002, Image perception, observer performance, and technology assessment : 26-28 February 2002, San Diego, USA (Proc SPIE-Int. Soc. Opt. Eng. 4686). Bellingham, Wash. : SPIE, 2002. pp 347-354

田伏勝義, 日比野幸子, 松岡祐樹, 河井淑裕, 長瀬友繁, 田宮 正, 八島美穂子, 本間光彦, 小山修司, 小幡康範  
チェレンコフ光によるCT(CCT)  
Jpn J Med Phys (Igaku Butsuri) 21 (Suppl. 3) : 82-84, 2002

**TABUSHI Katsuyoshi**, ENDO Masahiro, IKEDA Hiroshi, UCHIYAMA Yukio, HOSHINA Masao, NAKAGAWA Keiichi, SAKAI Kunito  
Overexposed accident due to erroneous input to treatment planning system in Japan  
Proceedings of the 3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and the 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics (Sept. 26-28, 2002 ; Gyeongju, Korea). pp 11-12

SHIMBO Munefumi, **TABUSHI Katsuyoshi**, ENDO Masahiro, IKEDA Hiroshi  
A new research program that aims to establish an external audit system to radiotherapy QA in Japan  
Proceedings of the 3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and the 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics (Sept. 26-28, 2002 ; Gyeongju, Korea). pp 17-18

**TABUSHI Katsuyoshi**, **KOYAMA Shuji**, **HOMMA Mitsuhiro**, **TAMIYA Tadashi**, **YAJIMA Mihoko**, **IMAI Kuniharu**, **OBATA Yasunori**  
Observation systems of Cherenkov radiation from water phantom irradiated with Co-60 gamma-rays  
Proceedings of the 3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and the 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics (Sept. 26-28, 2002 ; Gyeongju, Korea). pp 123-125

津坂昌利, 長嶋宏和, 原 武史, 飯田葉子, 野上真子  
ギガビットネットワークを活用した AquariusNET 3D 作成サーバの性能評価  
電子情報通信学会技術研究報告. MI, 医用画像 102(299) : 7-11, 2002

〔総説・解説・その他〕

金澤寛明

味の解剖学

JOHNS 18(5) : 879-883, 2002

小寺吉衛

ECR における IHE の動き

Views Radiology 4(2) : 18-19, 2002

小寺吉衛

モニタの現状と課題—液晶を含めて

新医療 29(9) : 119-121, 2002

片渕哲朗, 塚越伸介, 宮地利明, 村松禎久, 山本智朗, 真田 茂, 藤田広志, 小寺吉衛  
社会人としての大学院—職場と大学—  
日本放射線技術学会雑誌 58 : 1-13, 2002

小山修司

線量計による被ばく線量の測定

インナービジョン 17(11) : 21-24, 2002

小山修司

平均乳腺線量と皮膚近傍の吸収線量との比較検討

日本放射線技術学会計測分科会誌 10(1) : 61-66, 2002

宮原 洋

医療技術学専攻医用量子科学分野とは—名古屋大学大学院医学系研究科(修士課程)—  
健康文化振興財団紀要 33 : 52-55, 2002

緒方良至, 長谷川信司, 青山隆彦

液シンによる環境水中トリチウム濃度測定の簡素化

Isotope News 579 : 66-69, 2002

佐竹弘子, 澤木明子, 島本佳寿広, 伊藤茂樹, 野口由美子, 石垣武男

マルチスライス CT による乳癌の診断

映像情報. Medical 34 : 312-317, 2002

島本佳寿広

乳癌の画像診断の定量化と CAD への展開  
映像情報. Medical 34:318-322, 2002

津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (70): コンピュータウイルスとセキュリティ  
臨床放射線 47:259-264, 2002

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦  
インターネット入門 (71): 情報を制すものはネットワークを制す!  
臨床放射線 47:376-379, 2002

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦  
インターネット入門 (72): 病院内のネットワークは接続されるか?  
臨床放射線 47:496-498, 2002

津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (73): パソコンとプロジェクタを用いたプレゼンテーションにおける接続技術  
臨床放射線 47:605-610, 2002

津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (74): パソコンとプロジェクタを用いたプレゼンテーションにおける接続技術 (2)  
臨床放射線 47:718-725, 2002

市橋卓司, 津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (75): Linux でデータベース (1)  
臨床放射線 47:841-845, 2002

市橋卓司, 津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (76): Linux でデータベース (2)  
臨床放射線 47:961-966, 2002

市橋卓司, 津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (77): Linux でデータベース (3)  
臨床放射線 47:1073-1078, 2002

市橋卓司, 津坂昌利, 長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (78): Linux でデータベース (4)  
臨床放射線 47:1186-1192, 2002

江本 豊, 津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦  
インターネット入門 (79): IHE (その1) —IHE とは—  
臨床放射線 47:1645-1648, 2002

江本 豊, 津坂昌利, 長嶋宏和, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 古賀佑彦

インターネット入門 (80) : IHE (その2) —IHEのプロファイル (integration profile)  
臨床放射線 47 : 1754-1761, 2002

長嶋宏和, 江本 豊, 高橋正樹, 市橋卓司, 辻村善樹, 津坂昌利, 古賀佑彦  
インターネット入門 (81) : VPNによる接続方法  
臨床放射線 47 : 1871-1874, 2002

〔科研費・班研究等〕

**田伏勝義**

外部照射の線量のQAについての研究

平成13年度厚生科学研究費補助金21世紀型医療開拓推進研究事業「放射線治療の技術評価及び品質管理による予後改善のための研究」(H13-21世紀(がん)-22) 総括研究報告書 pp 30-31, 2002

〔その他の印刷物等〕

**本間光彦**

第22回人体解剖トレーニングセミナーに参加して  
第22回人体解剖トレーニングセミナー (2002年) 報告書 p 42, 2002

**小寺吉衛**

IHE—今後の医療の理想の姿  
RSNA 2001 Flash pp 21-23, 2002

**前田尚利**

負荷直後と3時間後の心筋シンチ—心腔内血液流入速度とSCIの関係について—  
東海循環器核医学研究会記録集 35 : 11-12, 2002

**MIYAHARA Hiroshi, FUJIKI Kazuo, KATOH Keiji**

Emission probability measurement of principal gamma-rays of <sup>193</sup>Os  
KURRI Progress Report 2001 p 43, 2002

**MIYAHARA Hiroshi, KATOH Keiji, FUJIKI Kazuo, HABA Hiromitsu, ASAI Masato, TSUKADA Kazuaki, ICHIKAWA Shin-ichi**

Determination of disintegration rate and gamma-ray emission probabilities for <sup>66</sup>Ga source  
JAERI-Review 2002-029 pp 55-56, 2002

**NAKAMURA Yuzuru, SAKATA Suou, TABUSHI Katsuyoshi**

The acquisition of radiation source position for brachytherapy of cervical cancer  
Physical aspect of quality assurance in brachytherapy for the carcinoma of cervix uteri. FCNA, 2002. pp 6-9



[学会発表]

**青山隆彦**, 下川和宏, **小山修司**, **緒方良至**

医療用電子ライナックからの光中性子による患者被ばく線量の評価 (講演要旨集 p 66, 2002)

第36回日本保健物理学会研究発表会, 2002.6 (金沢)

倉田泰吉, **青山隆彦**, **緒方良至**, **小山修司**, 長谷川涼美, 仁川英紀, **宮原 洋**, 井口哲夫, 宮田 学

治療用電子ライナックからの光中性子による患者被ばく線量の測定・評価 (1) —放射化法による熱中性子束およびその人体ファントム内分布の測定 (要旨集 p 8, 2002)

第34回日本原子力学会中部支部研究発表会, 2002.12 (名古屋)

宮田 学, 井口哲夫, **青山隆彦**, 倉田泰吉, **緒方良至**, **小山修司**, 長谷川涼美, 仁川英紀, **宮原 洋**

治療用電子ライナックからの光中性子による患者被ばく線量の測定・評価 (2) —人体ファントム内熱中性子束分布に基づく光中性子スペクトルおよび線量評価 (要旨集 p 9, 2002)

第34回日本原子力学会中部支部研究発表会, 2002.12 (名古屋)

西澤孝夫, 岩瀬三紀, 高木健三, 高木健次, 加藤洋介, 橋本克訓, 横井豊治, **金澤寛明**, 横田充弘

TO-2ハムスターにおける拡張型心筋症の発症および進展 (Exp Anim 51(Suppl.): 140, 2002)

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

**HOMMA Mitsuhiro**, **TABUSHI Katsuyoshi**, **OBATA Yasunori**, **TAMIYA Tadashi**, **KOYAMA Shuji**, **KUROOKA**

Masahiko, **SHIMOMURA Kouhei**, **ISHIGAKI Takeo**

A new method for measuring the dose distribution of the radiotherapy domain using the IP. (Proceedings pp 237-240, 2002)

3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2002.9 (Gyeongju, Korea)

**本間光彦**, **田伏勝義**, **小幡康範**, **田宮 正**, **小山修司**, 黒岡将彦, 霜村康平, 石垣武男

診断用 CR システムに用いる IP を利用した線量分布測定法 (日本放射線技術学会雑誌 58: 1167, 2002)

第30回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2002.10 (松江)

森下友香理, 大橋俊夫, 松村光章, 吉田智香, **本間光彦**, **金澤寛明**

放射線治療時における実験動物の線量測定 (日本放射線技術学会雑誌 58: 1170, 2002)

第30回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2002.10 (松江)

**本間光彦**, 霜村康平, **田伏勝義**, **小幡康範**, **田宮 正**, **小山修司**, 黒岡将彦

IP を用いた放射線治療装置光学照射野確認システムの開発 (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1): 168-169, 2003)

第37回日本放射線技術学会中部部会, 2002.11 (富山)

**今井國治**, 木下幸弘, 平石義博

模擬ポイド表面の残留電荷分布と放電劣化領域の経時変化 (講演論文集 p 21, 2002)

平成14年電気学会全国大会, 2002.3 (東京)

**今井國治**, 木全浩市

メタロセン系 LLDPE 内における模擬トリーからのトリー伸展特性 (講演論文集 p 44, 2002)  
平成14年電気学会全国大会, 2002.3 (東京)

**今井國治**, 木下幸弘

模擬ポイド表面の沿面放電形態の違いに基づくトリー発生特性の検討 (講演論文集 pp 57-60, 2002)  
第26回静電気学会全国大会, 2002.8 (豊橋)

**今井國治**, 木下幸弘, 平石義博

部分放電による模擬ポイド内表面の放電劣化 (講演論文集 pp 65-66, 2002)  
第26回静電気学会全国大会, 2002.8 (豊橋)

**今井國治**

模擬トリーからのトリー伸展に及ぼす球晶の影響—ワイブル分布を用いた統計的解析— (講演論文集 p 260, 2002)  
平成14年電気学会基礎・材料・共通部門大会, 2002.9 (横浜)

**今井國治**, 木下幸弘, 木全浩市

模擬ポイドからのトリー発生特性に及ぼす沿面放電形態の影響 (講演論文集 p 102, 2002)  
2002年度電気関係学会東海支部連合大会, 2002.9 (名古屋)

新美孝永, 亀谷健一, 日置竹志, 真野晃浩, 田中 豊, **今井國治**

マルコフ連鎖による信号検出能の推定 (日本放射線技術学会雑誌 58:1158, 2002)  
第30回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2002.10 (松江)

**今井國治**

模擬トリーからのトリー伸展と高次構造との関係 (予稿集 pp 109-112, 2002)  
第34回電気電子絶縁材料システムシンポジウム, 2002.11 (新潟)

**IMAI Kuniharu**

Relationship between superstructure of crystalline polymer and tree propagation from a simulated tree channel.  
(Proceedings pp 548-551, 2002)  
11th Asian Conference on Electrical Discharge, 2002.11 (Seoul, Korea)

**ITOH Shigeki**, IKEDA Mitsuru, ACHIWA Masataka, OTA Toyohiro, ISHIGAKI Takeo

Evaluation of tailored scan delay for hepatic arterial phase acquisition with a multislice CT scanner in patients without cardiovascular disease. (Eur Radiol 12(Suppl.): 351, 2002)  
14th European Congress of Radiology, 2002.3 (Wien, Austria)

**ITOH Shigeki**, IKEDA Mitsuru, ACHIWA Masataka, SATAKE Hiroko, OTA Toyohiro, ISHIGAKI Takeo

Multiphase contrast-enhanced CT of the liver with a multislice CT scanner : effects of rate of contrast material injection and a 5% dextrose flush on enhancement in the liver. (Eur Radiol 12(Suppl.): 350, 2002)  
14th European Congress of Radiology, 2002.3 (Wien, Austria)

**伊藤茂樹**, 池田 充, 石垣武男

マルチスライス CT による肝動脈相の撮影時期の個別化の評価 (日本医学放射線学会雑誌 62(3):58, 2002)  
第61回日本医学放射線学会学術発表会, 2002.4 (神戸)

**金澤寛明, 川浦稚代, 本間光彦, 保住 功, 松山善次郎, 犬塚 貴, 内田洋子, 永沼 章**  
ラット味蕾内のメタロチオネインの局在 (解剖学雑誌 76(Suppl.):66, 2002)  
第107回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2002.3 (浜松)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, **金澤寛明**, 高木健次, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘  
HCM 及び DCM ハムスターにおける左室機能及び交感神経脱感作の経時的評価  
第18回日本超音波医学会中部地方会, 2002.11 (名古屋)

**川浦稚代, 金澤寛明, 本間光彦**  
放射線による味覚異常の解明 2. 分割照射の影響について (解剖学雑誌 76(Suppl.):66, 2002)  
第107回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2002.3 (浜松)

高村美穂, 坪井絵美, 法月佐織, 山本香織, 町田佳士, **小寺吉衛**  
マンモグラフィの画質特性の測定法について  
平成14年度秋季(第134回)医用画像情報学会大会, 2002.10 (金沢)

町田佳士, 飯山清美, **小寺吉衛**  
デジタル検出器を用いた骨塩定量解析法の研究  
平成14年度秋季(第134回)医用画像情報学会大会, 2002.10 (金沢)

高村美穂, 法月佐織, 坪井絵美, 山本香織, 町田佳士, **小寺吉衛**  
乳房撮影システムにおけるウィナーспекトルの測定法  
第37回日本放射線技術学会中部部会研究発表会, 2002.11 (富山)

坪井絵美, 山本香織, 法月佐織, 高村美穂, 町田佳士, **小寺吉衛**  
乳房撮影装置を用いた受光系の MTF の測定について  
第37回日本放射線技術学会中部部会研究発表会, 2002.11 (富山)

法月佐織, 高村美穂, 坪井絵美, 山本香織, 町田佳士, **小寺吉衛**  
乳房撮影装置を用いたブートストラップ法によるセンシトメトリの検討  
第37回日本放射線技術学会中部部会研究発表会, 2002.11 (富山)

**小山修司, 網野和雅, 青山隆彦, 川浦稚代**  
X 線 CT の CTDI 測定におけるファントム材質の違いとその影響について (日本放射線技術学会中部部会誌  
4(1):138-139, 2002)  
第36回日本放射線技術学会中部部会, 2002.2 (津)

**小山修司, 有賀英司, 才賀 治, 小林育夫, 前越 久**  
OSL とガラス線量計の線量と実効エネルギー測定値の相互比較 (予稿集 p175, 2002)  
第58回日本放射線技術学会総会学術大会, 2002.4 (神戸)

服部真澄, 小山修司

ウェーブレットを使った low density area の強調の検討—CT 画像を使用して— (予稿集 p 174, 2002)  
第58回日本放射線技術学会総会学術大会, 2002.4 (神戸)

黒岡将彦, 小山修司, 小幡康範, 本間光彦, 田伏勝義, 今井國治

PC を用いた簡易的な線量分布描画の試み (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1):112-113, 2003)  
平成14年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2002.6 (名古屋)

島 正光, 長谷川貴彦, 山下一彰, 小山修司, 成田憲彦, 小寺吉衛

CR における撮影条件の適正化と画像処理による被曝線量低減について (医用画像情報学会雑誌 19(3):159, 2002)  
第4回医用画像認知研究会・第133回医用画像情報学会合同研究会, 2002.6 (盛岡)

島 正光, 山本邦博, 山下一彰, 山田誠一, 斉藤直俊, 宮崎裕之, 渡辺ルミ, 安藤里江, 長谷川貴彦, 小山修司, 小寺吉衛

CR を用いた画像処理による被曝線量低減の検討 (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1):168-169, 2003)  
第37回日本放射線技術学会中部部会, 2002.11 (富山)

前田尚利, 寺沢彰浩

長軸・短軸方向の心筋収縮異常の検出—心電図同期 SPECT と超音波検査の比較— (核医学 39:194, 2002)  
第54回日本核医学会中部地方会, 2002.2 (名古屋)

加藤佳志, 宮原 洋, 藤木一雄, 市川進一, 永目諭一郎, 羽場宏光, 西中一郎, 塚田和明

$^{66}\text{Ga}$  の  $\gamma$  線放出率測定 (要旨集 p 151, 2002)  
2002年(第40回)日本原子力学会春の年会, 2002.3 (神戸)

藤木一雄, 加藤佳志, 宮原 洋

$^{72}\text{Ga}$  の  $\gamma$  線放出率と  $\beta$  線分岐比の決定 (要旨集 p 152, 2002)  
2002年(第40回)日本原子力学会春の年会, 2002.3 (神戸)

宮原 洋, 緒方良至, 加藤佳志, 石川直臣, NADA MARNADA

$^{199}\text{Pt}$  の崩壊率測定 (予稿集 p 132, 2002)  
2002年日本原子力学会秋の大会, 2002.9 (いわき)

加藤佳志, 宮原 洋, 藤木一雄, 市川進一, 西中一郎, 塚田和明, 浅井雅人, 羽場宏光

$^{149}\text{Eu}$  の  $\gamma$  線放出率測定 (予稿集 p 131, 2002)  
2002年日本原子力学会秋の大会, 2002.9 (いわき)

KUROOKA Masahiko, KOYAMA Shuji, OBATA Yasunori, HOMMA Mitsuhiko, IMAI Kuniharu, TABUSHI Katsuyoshi

A convenient system for film dosimetry using NIH-image software. (Proceedings pp 260-262, 2002)  
3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2002.9  
(Gyeongju, Korea)

SAKUMA Yoichi, YAMANISHI Hiroki, OGATA Yoshimune, TSUJI Naruhito, IIDA Takao

Removal of impurities from environmental water samples for tritium measurement by means of LS counter.

(Abstract. p 65, 2002)

4th International Conference on Isotopes, 2002. 3 (Cape Town, South Africa)

佐久間洋一, 山西弘城, 飯田孝夫, 小金澤孝之, **緒方良至**

環境水中トリチウム測定簡素化 (要旨集 p 42, 2002)

第36回日本保健物理学会研究発表会, 2002. 6 (金沢)

**緒方良至**, 佐久間洋一, 小高正敬, 大谷暢夫, 白鳥芳武

電解による重水からのトリチウム分離における分離係数の電極依存性 (要旨集 p 142, 2002)

第39回理工学における同位元素研究発表会, 2002. 7 (東京)

小金澤孝之, 飯田孝夫, 佐久間洋一, 山西弘城, **緒方良至**, 辻 成人, 佐竹 洋, 垣内正久

環境水中トリチウム濃度測定の時間効率化, 正確化 (要旨集 p 141, 2002)

第39回理工学における同位元素研究発表会, 2002. 7 (東京)

辻 成人, 山西弘城, 佐久間洋一, **緒方良至**

電解濃縮を伴う環境水中トリチウム濃度測定手法の最適化 (要旨集 p 111, 2002)

第43回放射線取扱主任者研修会, 2002. 11 (大阪)

ISHIGAKI Takeo, IKEDA Mitsuru, USAMI Hisashi, HIDANO Satoshi, **SHIMAMOTO Kazuhiro, KODERA Yoshie**  
Verification of clinical test objects for diagnostic quality-guaranteed CRT monitor based on the visual evaluation.  
(Proc SPIE 4686 : 347-354, 2002)

Medical Imaging 2002 / SPIE, 2002. 2 (San Diego, USA)

**島本佳寿広**, 遠藤登喜子, 植野 映, 久保田光博, 小西 豊, 角田博子, 橋本秀行, 増田慎三, 水谷三浩, 森島 勇,  
安田秀光, 渡辺隆紀, 池田 充

乳腺・腫瘍像形成性病変の超音波診断における判断の再現性および読影者間の一致度の解析

第4回医用画像認知研究会, 2002. 6 (仙台)

池田 充, 石垣武男, **島本佳寿広**, **小山修司**, 山内一信

胸部単純 X 線画像における結節像の検出における解剖学的構造の影響 (医療情報学 22(Suppl.) : 608-609, 2002)

第22回医療情報学連合大会, 2002. 11 (博多)

**TABUSHI Katsuyoshi, KOYAMA Shuji, HOMMA Mitsuhiro, TAMIYA Tadashi, YAJIMA Mihoko, IMAI Kuniharu,**  
**OBATA Yasunori**

Observation systems of Cherenkov radiation from water phantom irradiated with Co-60 gamma-rays. (Proceedings  
pp 123-125, 2002)

3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2002. 9  
(Gyeongju, Korea)

**TABUSHI Katsuyoshi, ENDO Masahiro, IKEDA Hiroshi, UCHIYAMA Yukio, HOSHINA Masao, NAKAGAWA**  
**Keiichi, SAKAI Kunio**

Overexposed accident due to erroneous input to treatment planning system in Japan. (Proceedings pp 11-12, 2002)

3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2002. 9

(Gyeongju, Korea)

SHIMBO Munefumi, **TABUSHI Katsuyoshi**, ENDO Masahiro, IKEDA Hiroshi

A new research program that aims to establish an external audit system to radiotherapy QA in Japan. (Proceedings pp 17-18, 2002)

3rd Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics and 2nd Asia Oceania Congress of Medical Physics, 2002.9 (Gyeongju, Korea)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 原 武史

AquariusNET の試用とネットワーク性能試験 (日本放射線技術学会中部部会誌 4(1):140-141, 2002)  
第36回日本放射線技術学会中部部会, 2002.2 (津)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 原 武史, 小寺吉衛, 田伏勝義, 藤田広志

AquariusNET のパフォーマンステスト (医学物理 22(Suppl.2):184-187, 2002)  
第83回日本医学物理学会大会, 2002.4 (横浜)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 飯田葉子, 野上真子

AquariusNET 3D 作成サーバのパフォーマンステスト—ギガビットネットワークでの性能評価— (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1):82-83, 2003)

平成14年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2002.6 (名古屋)

原 孝則, 加藤秀記, **津坂昌利**

フラクタル次元解析による 4Row Multi-Slice CT の評価 (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1):80-81, 2003)  
平成14年度日本放射線技術学会中部部会会員研究発表会, 2002.6 (名古屋)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 原 武史, 飯田葉子, 野上真子

ギガビットネットワークを活用した AquariusNET 3D 作成サーバの性能評価 (信学技報 MI-2002-48:7-11, 2002)  
電子情報通信学会, 2002.9 (岐阜)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 原 武史, 飯田葉子, 野上真子

ギガビットネットワークを活用した 3D 作成サーバのパフォーマンステスト (日本放射線技術学会雑誌 58:1153, 2002)

第30回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2002.10 (松江)

**津坂昌利**, 長嶋宏和, 原 武史, 飯田葉子, 野上真子

3D 作成サーバの遠隔医療への応用実験 VPN 装置の性能評価 (日本放射線技術学会中部部会誌 5(1):136-137, 2003)

第37回日本放射線技術学会中部部会, 2002.11 (富山)

**TSUZAKA Masatoshi**, NAKAGAWA Mayumi, HASHIMOTO Makiko, **KANAZAWA Hiroaki**, HARA Takeshi, FUJITA Hiroshi

Web-based interactive electronic textbook using multi-slice x-ray CT image database. (Suppl. to Radiology 225(P):756, 2002)

88th Scientific Assembly and Annual Meeting / Radiological Society of North America (RSNA 2002), 2002.12

(Chicago, USA)

〔公開講座・講演会〕

**青山隆彦**

放射線の医学利用

清水市寿大学講演会, 2002.1 (清水)

**青山隆彦**

高校生のための放射線実習セミナー

長野県木曾高等学校, 2002.2 (長野県木曾福島町)

**青山隆彦, 小山修司**

高校生のための放射線実習セミナー

長野県伊那北高等学校, 2002.2 (伊那)

**青山隆彦**

中学生のための放射線セミナー

江南市立北部中学校, 2002.5 (江南)

**青山隆彦**

放射線と人間

子育てサークル「スキップ」講演会, 2002.6 (尼崎)

**青山隆彦, 小山修司**

中学生のための放射線セミナー

奈良学園中学校, 2002.7 (大和郡山)

**青山隆彦**

中学生のための放射線セミナー

石田学園星城中学校, 2002.9 (豊明)

**小寺吉衛**

DR システムの画質評価—なっとくできる DQE—

第36回 DR 研究会, 2002.1 (福岡)

**小寺吉衛**

米国と日本における IHE の状況

第21回山口ゼミ, 2002.2 (宇部)

**小山修司**

X 線 CT 撮影時の被ばく線量評価の実際

第37回日本放射線技術学会東京部会セミナー「医療被ばく測定セミナー」, 2002.1 (東京)

**小山修司**

CT 被曝線量測定の最近の動向  
第40回山口県 CT 研究会, 2002.5 (山口)

**小山修司**

放射線のはなし  
財団法人日本原子力文化振興財団「中学生のための放射線教室」, 2002.5 (岐阜県付知町)

**小山修司**

マルチスライス CT 検査における被ばくと対策について「線量計による被ばく線量の測定」  
全国 X 線 CT 技術サミット・シンポジウム, 2002.7 (広島)

**小山修司**

医療被ばく線量の測定・評価法 (一般撮影検査, 透視検査)  
平成14年度日本放射線技師会生涯学習セミナー, 2002.8 (鈴鹿)

**宮原 洋**

エックス線の管理  
エックス線作業主任者勉強会講習会, 2002.2 (名古屋)

**宮原 洋**

放射線と RI の安全取扱の基礎  
平成14年度放射線業務従事者教育訓練講習会, 2002.5 (名古屋)

**宮原 洋**

エックス線の管理  
エックス線作業主任者勉強会講習会, 2002.6 (名古屋)

**宮原 洋**

図でみる環境放射線  
名古屋経済大学高蔵高等学校, 2002.9 (名古屋)

**宮原 洋**

放射線と放射能  
平成14年度エネルギー・環境研究会, 2002.10 (名古屋)

**緒方良至**

放射線管理技術  
平成14年度第 2 種放射線取扱主任者受験講習会, 2002.5 (名古屋)

**緒方良至**

霧箱の作製と放射線の測定  
21世紀の環境・エネルギー問題と教育, 2002.8 (犬山)



島本佳寿広

モニタ診断における画像認知の諸問題

名古屋先端量子医学フォーラム, 2002.12 (名古屋)

検査技術科学専攻

〔著書〕

古池保雄

第3章 どんな疾患があるのか | 自律神経疾患 | 汎自律神経障害/起立性低血圧

『脳・神経系疾患 (看護のための最新医学講座 第1巻)』(祖父江元編集) 中山書店, 2002. pp 435-442

古池保雄

第3章 どんな疾患があるのか | 自律神経疾患 | パーキンソン病に伴う自律神経不全症

『脳・神経系疾患 (看護のための最新医学講座 第1巻)』(祖父江元編集) 中山書店, 2002. pp 444-446

古池保雄

第3章 どんな疾患があるのか | てんかん・機能的疾患 | ナルコレプシー

『脳・神経系疾患 (看護のための最新医学講座 第1巻)』(祖父江元編集) 中山書店, 2002. pp 470-472

古池保雄

起立性低血圧, 無汗症

『わかりやすい内科学 第2版』(大井元春 [ほか] 編) 文光堂, 2002. pp 1147-1150

石黒和博, 小嶋哲人

凝固制御因子のノックアウトマウス

『Annual review. 血液. 2002』(高久史磨 [ほか] 編集) 中外医学社, 2002. pp 203-206

久永直見, 柴田英治, 上島通浩, 酒井 潔

建設国民健康保険組合と協力して進める労働衛生研究とその成果の活用

『中小企業の安全衛生を創る』(日本産業衛生学会・中小企業安全衛生研究会編著) 労働調査会, 2002. pp 197-204

高木 明

V. 赤血球の形態異常

『新血液細胞アトラス—細胞分類の基礎と特殊染色—』(日本臨床衛生検査技師会血液検査研究班編) 日本臨床衛生検査技師会, 2002. p 95

〔原著論文〕

MA Xiuyang, **DU Jun**, NAKASHIMA Izumi, **NAGASE Fumihiko**

Menadione biphasically controls JNK-linked cell death in leukemia Jurkat T cells

Antioxid Redox Signal 4 : 371-378, 2002

AKHAND Anwarul A., **DU Jun**, LIU Wei, HOSSAIN Khaled, MIYATA Toshio, **NAGASE Fumihiko**, KATO Masashi,

SUZUKI Haruhiko, NAKASHIMA Izumi

Redox-linked cell surface-oriented signaling for T-cell death

Antioxid Redox Signal 4 : 445-454, 2002

ZHAO Ying Lan, **DU Jun**, KANAZAWA Hiroaki, CEN Xiao Bo, **TAKAGI Kenji**, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TATSUMI Yasuaki**,

**TAKAGI Kenzo**, OHTA Michio, **HASEGAWA Takaaki**

Shiga-like toxin II modifies brain distribution of a P-glycoprotein substrate, doxorubicin, and P-glycoprotein expression in mice

Brain Res 956 : 246-253, 2002

SANG Chen, KOBAYASHI Yasushi, **DU Jun**, KATSUMO Masahisa, ADACHI Hiroaki, DOYU Manabu, SOBUE Gen  
c-Jun N-terminal kinase pathway mediates Lactacystin-induced cell death in a neuronal differentiated Neuro2a cell line  
Brain Res Mol Brain Res 108 : 7-17, 2002

ZHAO Ying Lan, **DU Jun**, KANAZAWA Hiroaki, SUGAWARA Ayako, **TAKAGI Kenji**, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TATSUMI Yasuaki**, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

Effect of endotoxin on doxorubicin transport across blood-brain barrier and P-glycoprotein function in mice  
Eur J Pharmacol 445 : 115-123, 2002

TAKESHITA Kyosuke, YAMAMOTO Koji, ITO Masafumi, KONDO Takahisa, MATSUSHITA Tadashi, HIRAI Makoto, **KOJIMA Tetsuhito**, NISHIMURA Masahiko, NABESHIMA Yoichi, LOSKUTOFF David J., SAITO Hidehiko, MUROHARA Toyoaki

Increased expression of plasminogen activator inhibitor-1 with fibrin deposition in a murine model of aging, "Klotho" mouse

Semin Thromb Hemost 28 : 545-554, 2002

**伊藤秀郎**, 和知野純一, **川村久美子**

メタロ β ラクタマーゼ産生菌の分布調査と臨床的意義

日本臨床微生物学雑誌 12(2) : 13-18, 2002

NAGATA Kohzo, SOMURA Fuji, OBATA Koji, ODASHIMA Mari, IZAWA Hideo, ICHIHARA Sahoko, NAGASAKA Tetsuro, **IWASE Mitsunori**, YAMADA Yoshiji, NAKASHIMA Nobuo, YOKOTA Mitsuhiro

AT<sub>1</sub> receptor blockade reduces cardiac calcineurin activity in hypertensive rats

Hypertension 40 : 168-174, 2002

KIM Il Sung, IZAWA Hideo, SOBUE Toshikazu, ISHIIHARA Hitoshi, SOMURA Fuji, NISHIZAWA Takao, NAGATA Kohzo, **IWASE Mitsunori**, YOKOTA Mitsuhiro

Prognostic value of mechanical efficiency in ambulatory patients with idiopathic dilated cardiomyopathy in sinus rhythm

J Am Coll Cardiol 39 : 1264-1268, 2002

**川村久美子**, 加藤千明, **伊藤秀郎**, 飯沼由嗣

リアルタイム PCR による BCR/ABL キメラ遺伝子定量法の検討

医学検査 51(1) : 28-33, 2002

NOBATA Kazuo, INA Kenji, OHTA Michio, **KAWAMURA-SATO Kumiko**, TSUZUKI Tomoyuki, ANDO Takahumi, KUSUGAMI Kazuo

Lower concentrations of clarithromycin suppress urease activity, motility, and binding to gastric epithelial cells in *Helicobacter pylori* isolates

Dig Liver Dis 34 : 489-497, 2002

ZHAO Ying Lan, CAI Shao Hui, WANG Li, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TATSUMI Yasuaki**, NADAI Masayuki, YOSHIZUMI Hideo, **TAKAGI Kenji**, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

Possible involvement of P-glycoprotein in the biliary excretion of grepafloxacin

Clin Exp Pharmacol Physiol 29 : 167-172, 2002

SUZUKI Ryujiro, KIMURA Tomoki, **KITAICHI Kiyoyuki**, **TATSUMI Yasuaki**, MATSUSHIMA Miyoko, ZHAO Ying Lan, **SHIBATA Eiji**, BABA Kenji, **HASEGAWA Takaaki**, **TAKAGI Kenzo**

Platelet factor 4 fragment induces histamine release from rat peritoneal mast cells

Peptides 23 : 1713-1717, 2002

長谷川康博, 新美由紀, 白水重尚, **古池保雄**, 高橋 昭

パーキンソン病における起立性低血圧と立ちくらみなどの体位性症候との関係

自律神経 39 : 272-277, 2002

浜田健介, 平山正昭, 渡辺宏久, 小林 麗, 伊藤宏樹, 家田俊明, **古池保雄**, 祖父江 元

Parkinson 病における <sup>123</sup>I-metaiodobenzylguanidine (MIBG) 心筋シンチグラフィー所見 : 発症年齢との関係について 100症例の検討から

自律神経 39 : 377-382, 2002

平山正昭, 渡辺宏久, 深津 博, **古池保雄**, **野田明子**, 伊藤宏樹, 小林 麗, 祖父江 元

低磁場 MRI を用いた睡眠時無呼吸時の上気道と声帯の変化—多系統萎縮症と肥満による閉塞性睡眠時無呼吸症との対比

自律神経 39 : 383-387, 2002

**古池保雄**, 小林 麗, 浜田健介, 伊藤宏樹, 家田俊明, 平山正昭, **野田明子**, 長谷川康博, 杉山由樹

睡眠時の自律神経活動—効果器反応からみた皮膚交感神経活動— (第3報)

自律神経 39 : 409-419, 2002

小林 麗, 平山正昭, **古池保雄**, 伊藤宏樹, 浜田健介, 祖父江 元

多系統萎縮症における食事性低血圧時の静脈コンプライアンスの変化

自律神経 39 : 464-469, 2002

YAMAMOTO Koji, SHIMOKAWA Takayoshi, YI Hong, ISOBE Ken-ichi, **KOJIMA Tetsuhito**, LOSKUTOFF David J., SAITO Hidehiko

Aging accelerates endotoxin-induced thrombosis : increased responses of plasminogen activator inhibitor-1 and lipopolysaccharide signaling with aging

Am J Pathol 161 : 1805-1814, 2002

YANADA Masamitsu, **KOJIMA Tetsuhito**, ISHIGURO Kazuhiro, NAKAYAMA Yukiko, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA Tadashi, KADOMATSU Kenji, NISHIMURA Masahiko, MURAMATSU Takashi, SAITO Hidehiko  
Impact of antithrombin deficiency in thrombogenesis : lipopolysaccharide and stress-induced thrombus formation in heterozygous antithrombin deficient mice

Blood 99 : 2455-2458, 2002

YAMAMOTO Koji, SHIMOKAWA Takayoshi, YI Hong, ISOBE Ken-ichi, **KOJIMA Tetsuhito**, LOSKUTOFF David J., SAITO Hidehiko

Aging and obesity augment the stress-induced expression of tissue factor gene in the mouse

Blood 100 : 4011-4018, 2002

ISHIGURO Kazuhiro, MURAMATSU Takashi, **KOJIMA Tetsuhito**

Syndecan-4 (Ryudocan) as a defense molecule in endotoxin shock

Connect Tissue 34 : 277-282, 2002

#### **KOJIMA Tetsuhito**

Targeted gene disruption of natural anticoagulant proteins in mice

Int J Hematol 76(Suppl.2) : 36-39, 2002

NAKAYAMA Takayuki, MATSUSHITA Tadashi, DONG Zhengyu, SADLER J. Evan, JORIEUX Sylvie, MAZURIER Claudine, MEYER Dominique, **KOJIMA Tetsuhito**, SAITO Hidehiko

Identification of the regulatory elements of the human von Willebrand factor for binding to platelet GPIIb. Importance of structural integrity of the regions flanked by the CYS<sup>1272</sup>-CYS<sup>1458</sup> disulfide bond

J Biol Chem 277 : 22063-22072, 2002

石黒和博, 小嶋哲人, 齋藤英彦

ジーンターゲティングを用いた血液凝固制御因子の生体における機能解明：マウス antithrombin の完全欠損による胎児死亡と syndecan-4 欠損による胎盤迷路層胎児血管の変性

日本血栓止血学会誌 13(1) : 9-16, 2002

#### **KURASHINA Masanori**

Fine needle aspiration cytology of benign and malignant adenomyoepithelioma : report of two cases

Diagn Cytopathol 26 : 29-34, 2002

IGARASHI Tadahiko, KOBAYASHI Yukio, OGURA Michinori, KINOSHITA Tomohiro, OHTSU Tomoko, SASAKI Yasutsuna, MORISHIMA Yasuo, **MURATE Takashi**, KASAI Masaharu, UIKE Naokuni, TANIWAKI Masashi, KANO Yoshihumi, OHNISHI Kazunori, MATSUNO Yoshihiro, NAKAMURA Shigeo, MORI Shigeo, OHASHI Yasuo, TOBINAI Kensei ; IDEC-C2B8 Study Group in Japan

Factors affecting toxicity, response and progression-free survival in relapsed patients with indolent B-cell lymphoma and mantle cell lymphoma treated with rituximab : a Japanese phase II study

Ann Oncol 13 : 928-943, 2002

**MURATE Takashi**, SUZUKI Motoshi, HATTORI Masashi, **TAKAGI Akira**, **KOJIMA Tetsuhito**, TANIZAWA Tomomi, ASANO Haruhiko, HOTTA Tomomitsu, SAITO Hidehiko, YOSHIDA Shonen, TAMIYA-KOIZUMI Keiko

Up-regulation of acid sphingomyelinase during retinoic acid-induced myeloid differentiation of NB4, a human acute promyelocytic leukemia cell line

J Biol Chem 277 : 9936-9943, 2002

HATANO Sonoko, ASANO Haruhiko, NAGAI Hirokazu, **MURATE Takashi**, MORI Naoyoshi, KAWASHIMA Kouhei, SAITO Hidehiko, KINOSHITA Tomohiro

In vitro effects of recombinant human IL-11 on human malignant lymphoma cells

J Clin Exp Hematopathol 42(2) : 55-60, 2002

SUYAMA Takahiro, OHASHI Haruhiko, NAGAI Hirokazu, HATANO Sonoko, ASANO Haruhiko, **MURATE Takashi**, SAITO Hidehiko, KINOSHITA Tomohiro

The MAGE-A1 gene expression is not determined solely by methylation status of the promoter region in hematological malignancies

Leuk Res 26 : 1113-1118, 2002

YOKOYAMA Yumiko, KAWAMURA Takashi, TAMAKOSHI Akiko, **NODA Akiko**, HIRAI Makoto, SAITO Hidehiko, OHNO Yoshiyuki

Comparison of accelerometry and oxymetry for measuring daily physical activity

Circ J 66 : 751-754, 2002

深津 博, 吉田喜代, 長縄慎二, 石垣武男, **野田明子**

MR fluoroscopy による閉塞性睡眠時無呼吸症候群 (Obstructive sleep apnea syndrome : OSAS) の上気道所見の検討 : Oral splint, Nasal BiPAP 装着時の形態情報

Radiology Frontier 5(1) : 25-29, 2002

**SHIBATA Eiji**, JOHANSON Gunnar, LÖF Agneta, ERNSTGÄRD Lena, GULLSTRAND Elisabeth, SIGVARDSSON Karl

Changes in n-hexane toxicokinetics in short-term single exposure due to co-exposure to methyl ethyl ketone in volunteers

Int Arch Occup Environ Health 75 : 399-405, 2002

SUN Jian, KUBOTA Hitoshi, HISANAGA Naomi, **SHIBATA Eiji**, KAMIJIMA Michihiro, NAKAMURA Kuniomi

Mortality among Japanese construction workers in Mie Prefecture

Occup Environ Med 59 : 512-516, 2002

WANG Hailan, ICHIHARA Gaku, ITO Hidenori, KATO Kanefusa, KITO Junzoh, YAMADA Tetsuya, YU Xiaozhong, TSUBOI Seiji, MORIYAMA Yoshinori, SAKATANI Rie, **SHIBATA Eiji**, KAMIJIMA Michihiro, ITOHARA Seiichiro, TAKEUCHI Yasuhiro

Biochemical changes in the central nervous system of rats exposed to 1-bromopropane for seven days

Toxicol Sci 67 : 114-120, 2002

**TAKAGI Akira**, YAMADA Takayuki, HAYASHI Koji, NAKADE Yusuke, **KOJIMA Tetsuhito**, TAKAMATSU Junki, **SHIBATA Eiji**, ICHIHARA Gaku, TAKEUCHI Yasuhiro, **MURATE Takashi**

Involvement of caspase 3 mediated apoptosis in hematopoietic cytotoxicity of metabolites of ethylene glycol monomethyl ether

Ind Health 40 : 371-374, 2002

中出祐介, 山田貴之, 太田明伸, 高木 明, 村手 隆, 小嶋哲人

発現ベクターを用いた抗マウスアンチトロンビン抗体の作製  
らぼ；愛知県臨床衛生検査技師会誌 53(1)：17-23, 2002

ZHAO Ying Lan, CEN Xiao Bo, ITO Masafumi, YOKOYAMA Keiko, **TAKAGI Kenji**, **KITAICHI Kiyoyuki**, NADAI Masayuki, OHTA Michio, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**  
Shiga-like toxin II derived from Escherichia coli O157:H7 modifies renal handling of levofloxacin in rats  
Antimicrob Agents Chemother 46：1522-1528, 2002

NAKAO Makoto, OGURA Yozo, SATAKE Syousuke, ITO Izumi, IGUCHI Akihisa, **TAKAGI Kenji**, NABESHIMA Toshitaka  
Usefulness of soluble dietary fiber for the treatment of diarrhea during enteral nutrition in elderly patients  
Nutrition 18：35-39, 2002

SUDO Yukio, KUME Hiroaki, ITO Satoru, ITO Yasushi, YAMAKI Kenichi, **TAKAGI Kenzo**  
Effects of direct and indirect activation of G protein of adenylyl cyclase on the subsequent response to  $\beta$ -adrenergic receptor agonists in human trachealis  
Arzneimittelforschung 52：803-812, 2002

TOHDA Yuji, FUJIMURA Masaki, TANIGUCHI Hiroyuki, **TAKAGI Kenzo**, IGARASHI Tsuyoshi, YASUHARA Hajime, TAKAHASHI Kihito, NAKAJIMA Shigenori  
Leukotriene receptor antagonist, montelukast, can reduce the need for inhaled steroid while maintaining the clinical stability of asthmatic patients  
Clin Exp Allergy 32：1180-1186, 2002

MIZUTANI Hiroshi, KUME Hiroaki, ITO Yasushi, **TAKAGI Kenzo**, YAMAKI kenichi  
Different effects of beta-adrenoceptor desensitization on inhibitory actions in guinea-pig trachealis  
Clin Exp Pharmacol Physiol 29：646-654, 2002

KUME Hiroaki, KONDO Masashi, ITO Yasushi, SUZUKI Ryujiro, YAMAKI Kenichi, **TAKAGI Kenzo**  
Effects of sustained-release tulobuterol on asthma control and beta-adrenoceptor function  
Clin Exp Pharmacol Physiol 29：1076-1083, 2002

ITO Yuko, TAMAKOSHI Atsuko, WAKAI Kenji, **TAKAGI Kenzo**, YAMAKI Kenichi, OHNO Yoshiyuki  
Trends in asthma mortality in Japan  
J Asthma 39：633-639, 2002

ITO Yasushi, SATO Shinji, SON Masami, KONDO Masashi, KUME Hiroaki, **TAKAGI Kenzo**, YAMAKI Kenichi  
Bisphenol A inhibits  $\text{Cl}^-$  secretion by inhibition of basolateral  $\text{K}^+$  conductance in human airway epithelial cells  
J Pharmacol Exp Ther 302：80-87, 2002

BABA Kenji, SAKAKIBARA Ayako, YAGI Takeo, NIWA Sayaka, WAKAYAMA Hideo, **TAKAGI Kenzo**  
Long-term observations of the clinical course after step down of corticosteroid inhalation therapy in adult chronic asthmatics：correlation with serum levels of eosinophil cationic protein  
Respirology 7：255-266, 2002



ITO Yasushi, SATO Shinji, SON Masami, KUME Hiroaki, **TAKAGI Kenzo**, YAMAKI Kenichi  
Bioelectric toxicity caused by chlorpromazine in human lung epithelial cells  
Toxicol Appl Pharmacol 183 : 198-206, 2002

TAKEUTI Masayuki, **TATSUMI Yasuaki**, **KITAICHI Kiyoyuki**, BABA Kenji, SUZUKI Ryujiro, **SHIBATA Eiji**, **TAKAGI Kenji**, MIYAMOTO Ken-ichi, **HASEGAWA Takaaki**, **TAKAGI Kenzo**  
Selective phosphodiesterase type 4 inhibitors reduce the prolonged survival of eosinophils stimulated by granulocyte-macrophage colony-stimulating factor  
Biol Pharm Bull 25 : 184-187, 2002

SHINMURA Yuichiro, **YOKOI Toyoharu**, TSUTSUI Yoshihiro  
A case of clear cell adenocarcinoma of the müllerian duct in persistent müllerian duct syndrome : the first reported case  
Am J Surg Pathol 26 : 1231-1234, 2002

SEKIDO Yoshitaka, SATO Mitsuo, USAMI Noriyasu, SHIGEMITSU Kikuo, MORI Shoichi, MAEDA Osamu, **YOKOI Toyoharu**, HASEGAWA Yoshinori, YOSHIOKA Hiromu, SHIMOKATA Kaoru  
Establishment of a large cell lung cancer cell line (Y-ML-1B) producing granulocyte colony-stimulating factor  
Cancer Genet Cytogenet 137 : 33-42, 2002

〔総説・解説・その他〕

**伊藤秀郎**

リポ多糖体 (LPS)  
感染と抗菌薬 5 : 270-271, 2002

**岩瀬三紀**

モデル小動物の循環機能評価 (第48回日本実験動物学会総会学術集会シンポジウム)  
実験動物ニュース 51(2) : 30-40, 2002

**岩瀬三紀**, 米倉修司

第13回認定内科専門医会講演会特別講演および講演まとめ  
内科専門医会雑誌 14 : 301-348, 2002

小西得司, **岩瀬三紀**

内科専門医による CPC 原因不明の出血を初発症状とし, 心症状が進行性に出現し死亡した71歳男性  
日本内科学会雑誌 91(Suppl.) : 99-106, 2002

**小嶋哲人**

ヘパラン硫酸  
ICUとCCU 26 : 853-858, 2002

竹下享典, **小嶋哲人**

血栓症を理解するための基礎知識 血管内皮細胞の抗血栓性  
臨床医 28:2248-2250, 2002

酒井 潔, 柴田英治  
空气中ホルムアルデヒド測定法  
アレルギーの臨床 22:250-253, 2002

山本貴代, 安藤詳子, 柴田英治, 手塚昶子  
医療機関の滅菌機周辺におけるエチレンオキシドガス濃度に関する検討  
医材と滅菌 74:40-47, 2002

久永直見, 城内 博, 兪 小忠, 小川康恭, 毛利一平, 上島通浩, 市原 学, 柴田英治, 竹内康浩  
トリクロロエチレンおよびテトラクロロエチレンに曝露された労働者に発生する急性肝炎を伴うスチーブンス・ジョンソン症候群  
産業衛生学雑誌 44(2):33-49, 2002

高木健三, 馬場研二  
成人喘息の診断  
アレルギーの臨床 22:350-354, 2002

高木健三  
臨床応用されているロイコトリエン拮抗薬  
臨床医 28:299-302, 2002

横井豊治, 橋本克訓, 平林紀男, 伊藤雅文, 蛇沢 晶  
閉塞性細気管支炎  
病理と臨床 20:904-909, 2002

#### 〔科研費・班研究等〕

鍋島俊隆, 山田清文, 中島 晶, 永井 拓, 内山武久, 宮本嘉明, 野田幸宏, 北市清幸, 長谷川高明, 斎藤邦明  
メタンフェタミンの精神神経毒性における TNF $\alpha$  の役割  
平成13年度厚生科学研究費補助金医薬品安全総合研究事業分担報告書「規制薬物の依存及び神経毒性の発現にかかわる仕組みの分子生物学的解明に関する研究」 pp 104-112, 2002

長谷川高明, 高木健三, 柴田英治, 高木健次, 北市清幸  
覚醒剤による神経毒性と精神病の発現下における覚醒剤体内動態の変化に関する基礎的検討  
平成13年度厚生科学研究費補助金医薬品安全総合研究事業分担報告書「規制薬物の依存及び神経毒性の発現にかかわる仕組みの分子生物学的解明に関する研究」 pp 113-120, 2002

古池保雄  
「高齢者の生活障害の要因と評価に関する研究班」総括研究報告  
平成13年度厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業研究報告書 pp 1-4, 2002

伊藤宏樹, 浜田健介, 小林 麗, 平山正昭, **古池保雄**, 祖父江 元  
未治療 parkinson 病における発症年齢と筋交感神経活動障害の関係  
平成13年度厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業研究報告書 pp 34-36, 2002

家田俊明, 平山正昭, 伊藤宏樹, 浜田健介, 渡辺宏久, 小林 麗, **古池保雄**, 祖父江 元  
高齢者 Parkinson 病患者における MIBG 心筋 scintigraphy  
平成13年度厚生科学研究費補助金長寿科学総合研究事業研究報告書 pp 49-54, 2002

#### 小嶋哲人

動脈硬化の発症に関わる HSPG・Ryudocan の機能解析  
平成9～13年度科学研究費補助金特定領域研究 (A1)「動脈硬化の分子機構」研究成果報告書 pp 271-272, 2002

#### 小嶋哲人

欠失マウスを用いたヘパラン硫酸プロテオグリカン・Ryudocan の生理的機能解析  
平成12～13年度科学研究費補助金 (基盤研究 (C)(2)) 研究成果報告書 1冊, 2002

#### 村手 隆, 青木恵津子, 浅野治彦, 幡野その子, 木下朝博, 齋藤英彦

BFU-E での FKLf/FKLf2 と gamma globin 遺伝子発現の相関  
平成13年度厚生科学研究費補助金 (特定疾患対策研究事業) 特発性造血障害に関する研究班研究業績報告書 pp 109-110, 2002

#### 荒記俊一, 小川康恭, 平田 衛, 毛利一平, 圓藤陽子, **柴田英治**, 河合俊夫

労働環境におけるシックハウス症候群の実態と労働衛生学的対策に関する研究  
平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究  
pp 229-264, 2002

#### 竹内康浩, 上島通浩, 山田哲也, 糸原誠一朗, 王 海蘭, 市原 学, **柴田英治**, 酒井 潔, 大野浩之, 早川律子, 杉浦真理子, 山木健市

シックハウス症候群への有機溶剤の関与に関する研究  
平成13年度厚生科学研究費補助金生活安全総合研究事業シックハウス症候群の病態解明, 診断治療法に関する研究  
pp 415-448, 2002

#### [学会発表]

**DU Jun**, CAI Shao Hui, NAKASHIMA Izumi, **NAGASE Fumihiko**, SUZUKI Haruhiko  
C-C chemokine C10 promotes survival of murine T cells in vitro (記録 32:158, 2002)  
第32回日本免疫学会総会・学術集会, 2002.12 (東京)

馬 秀揚, **杜 軍**, 高木義和, 中島 泉, **長瀬文彦**  
Menadione の arylation による細胞死誘導の二相性制御 (記録 32:77, 2002)  
第32回日本免疫学会総会・学術集会, 2002.12 (東京)

川本善之, ホサイン・カールド, 武田湖州恵, **杜 軍**, アカンド・アンワルル, 鈴木治彦, 中島 泉

T細胞における酸化ストレスによる p38MAP キナーゼ情報伝達経路の活性化と細胞膜脂質ラフトの関与 (記録 32 : 77, 2002)

第32回日本免疫学会総会・学術集会, 2002.12 (東京)

井澤英夫, 岩瀬三紀, 横田充弘

肥大型心筋症における運動中の左室拡張末期圧の二相性変化

第99回日本内科学会講演会, 2002.3 (名古屋)

梅田久視, 岩瀬三紀, 井澤英夫, 横田充弘

労作性狭心症における運動誘発性交感神経刺激の左室弛緩に対する効果

第99回日本内科学会講演会, 2002.3 (名古屋)

小幡孝二, 永田浩三, 小田嶋真理, 曾村富士, 井澤英夫, 西澤孝夫, 岩瀬三紀, 山田芳司, 横田充弘

心臓特異的カルモジュリン過剰発現マウスの心肥大形成におけるカルシニューリン依存性シグナル伝達系の関与

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 橋本克訓, 横井豊治, 上山 純, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘

緑膿菌由来エンドトキシンは重篤な左室機能障害を惹起する (Exp Anim 51(Suppl.) : 141, 2002)

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

西澤孝夫, 岩瀬三紀, 高木健三, 高木健次, 加藤洋介, 橋本克訓, 横井豊治, 金澤寛明, 横田充弘

TO-2 ハムスターにおける拡張型心筋症の発症および進展 (Exp Anim 51(Suppl.) : 140, 2002)

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

西澤孝夫, 岩瀬三紀, 山田 晶, 曾村富士, 井澤英夫, 永田浩三, 横田充弘

左心機能障害発症および進展過程における $\beta$  アドレナリン作動性交感神経情報伝達

第18回東海心機能研究会, 2002.6 (名古屋)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 河田那月, 吉森之恵, 西澤孝夫, 橋本克訓, 横井豊治, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘

肺高血圧症ラットにおける心エコーによる経時的な新機能評価 (超音波医学 29(Suppl.) : S297, 2002)

第75回日本超音波学会学術集会, 2002.6 (高松)

**IWASE Mitsunori**, NISHIZAWA Takao, KANAZAWA Hiroaki, **TAKAGI Kenji**, **HASHIMOTO Katsunori**, ISHIKI Ryoji, SOMURA Fuji, IZAWA Hideo, NAGATA Kohzo, YOKOTA Mitsuhiro

Growth hormone-releasing peptide ameliorates progressive left ventricular dysfunction, without systemic or myocardial growth, in dilated cardiomyopathic hamsters

Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure / American Heart Association, 2002.8 (Snowbird, USA)

ODASHIMA Mari, NAGATA Kohzo, OBATA Koji, SOMURA Fuji, SASAMORI Jun, IZAWA Hideo, **IWASE Mitsunori**, YOKOTA Mitsuhiro

ZAKI-4 $\beta$  as an endogenous inhibitor of cardiac hypertrophy : inhibition of calcineurin activity by ZAKI-4 $\beta$  and its expression independent of ZAKI-4 $\alpha$  and DSCR1 in cultured rat cardiomyocytes

Scientific Conference on Advances in the Molecular and Cellular Mechanisms of Heart Failure / American Heart

Association, 2002. 8 (Snowbird, USA)

井澤英夫, 曾村富士, 永田浩三, 山田 晶, 平井眞理, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 横田充弘  
洞調律拡張型心筋症患者における予後予測因子の検討  
第50回日本心臓病学会, 2002. 9 (名古屋)

井澤英夫, 曾村富士, 永田浩三, 山田 晶, 平井眞理, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 横田充弘  
肥大型心筋症における運動中の左室拡張末期圧の二相性変化  
第50回日本心臓病学会, 2002. 9 (名古屋)

岩瀬三紀, 西澤孝夫, 永田浩三, 横田充弘  
成長ホルモン放出ペプチドにおける慢性心不全  
第50回日本心臓病学会, 2002. 9 (名古屋)

西澤孝夫, 岩瀬三紀, 小田嶋真里, 小畑孝二, 山田 晶, 曾村富士, 井澤英夫, 永田浩三, 横田充弘  
左室機能障害発症および進展過程における  $\beta$  アドレナリン作動性交感神経情報伝達の変化  
第9回関西不全心研究会, 2002. 9 (大阪)

永田浩三, 曾村富士, 井澤英夫, 室原豊明, 小畑孝二, 小田嶋真里, 横田充弘, 岩瀬三紀  
ニコランジルはミトコンドリア  $K_{ATP}$  チャンネルの活性化と硝酸剤様の作用を介して酸化ストレス誘導性心筋細胞アポトーシスを抑制する  
第15回 Nicorandil 研究会, 2002. 10 (東京)

加藤洋介, 岩瀬三紀, 西澤孝夫, 金澤寛明, 高木健次, 野田明子, 古池保雄, 横田充弘  
HCM 及び DCM ハムスターにおける左室機能及び交感神経脱感作の経時的評価  
第18回日本超音波医学会中部地方会, 2002. 11 (名古屋)

川村久美子, 伊藤秀郎, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 太田美智男  
フルオロキノロン耐性肺炎球菌の耐性機構の解析 (予稿集 p 23, 2002)  
第39回日本細菌学会中部支部総会, 2002. 10 (名古屋)

間瀬清美, 大蔵照子, 川村久美子, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 太田美智男  
病棟内スポンジタワシの細菌汚染と院内感染の原因としての可能性 (予稿集 p 41, 2002)  
第39回日本細菌学会中部支部総会, 2002. 10 (名古屋)

松垣智子, 山田景子, 橋川真之介, 中野みよ, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 川村久美子, 太田美智男  
SSSS 院内感染を起こした MRSA 株の解析 (予稿集 p 25, 2002)  
第39回日本細菌学会中部支部総会, 2002. 10 (名古屋)

太田美智男, 飯沼由嗣, 馬場尚志, 橋川真之介, 横田美紀, 長谷川忠男, 鳥居啓三, 川村久美子  
劇症型 A 群連鎖球菌感染症の病態に関する考察 (予稿集 p 29, 2002)  
第39回日本細菌学会中部支部総会, 2002. 10 (名古屋)

ITO Chisato, NAKANO Miyo, KAWANO Yasushi, HASHIKAWA Shinnosuke, TAKENO Akira, YAMADA Keiko,

**KAWAMURA-SATO Kumiko, TORII Keizo, HASEGAWA Tadao, OHTA Michio**

Two dimensional analysis (2-DE) of exoproteins secreted from *Staphylococcus aureus* : possible application for epidemiological study and post-translational modification of exoproteins. (Abstract. p 68, 2002)

6th Japan-Korea International Symposium on Microbiology, 2002.11 (Osaka)

**上山 純, 北市清幸, 岩瀬三紀, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明**

限外濾過法による血漿中カテコールアミン測定に関する基礎的検討 (抄録集 p 33, 2002)

第3回愛知県医学検査学会, 2002.5 (豊橋)

**森下友喜, 北市清幸, 巽 康彰, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明**

覚醒剤連続投与により作製した覚醒剤逆耐性動物とこれを用いた覚醒剤依存メカニズムの解析 (講演要旨集 p 192, 2002)

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

**ZHAO Ying Lan, 金澤寛明, 北市清幸, 巽 康彰, 高木健次, 柴田英治, 高木健三, 長谷川高明**

血液脳関門における薬物輸送機構に及ぼすエンドトキシンの影響 (講演要旨集 p 193, 2002)

第49回日本実験動物学会総会, 2002.5 (名古屋)

**KITAICHI Kiyoyuki, MORISHITA Yuki, UYAMA Jun, MATSUSHIMA Miyoko, ZHAO Ying Lan, TAKAGI Kenzo, HASEGAWA Takaaki**

Pharmacokinetic changes of methamphetamine and their mechanisms in rats having behavioral sensitization to methamphetamine. (Abstract. p 112, 2002)

23rd Congress of Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologicum, 2002.6 (Montreal, Canada)

**北市清幸, 森下友喜, 上山 純, 中山寛尚, 高木健三, 長谷川高明**

ラットにおけるメタンフェタミン神経毒性モデル作成時のメタンフェタミン体内動態の変化 (要旨集 p 62, 2002)

第8回日本行動薬理研究会, 2002.8 (名古屋)

**KITAICHI Kiyoyuki, MORISHITA Yuki, UYAMA Jun, MATSUSHIMA Miyoko, TAKAGI Kenji, TAKAGI Kenzo, HASEGAWA Takaaki**

Methamphetamine : sensitization and pharmacokinetics. (Abstract. 2 : 98, 2002)

12th World Congress of Psychiatry, 2002.8 (Yokohama)

**竹下亨典, 近藤隆久, 飯野重夫, 平井眞理, 室原豊明, 山本晃士, 伊藤雅文, 北市清幸, 藤森俊彦, 鍋島陽一, 本壮晴朗, 安井健二, 李 鐘国, 神谷香一郎, 児玉逸雄**

早期老化マウス klotho mouse の突然死に関する研究 (要旨集 p 12, 2002)

第27回東海不整脈研究会, 2002.10 (名古屋)

**北市清幸, 森下友喜, 上山 純, 中山寛尚, 巽 康彰, 高木健三, 長谷川高明**

メタンフェタミン神経毒性モデルラット作成時のメタンフェタミンの生体内挙動に関する検討 (日本神経精神薬理学雑誌 22(4) : 275, 2002)

第32回日本神経精神薬理学会年会, 2002.10 (前橋)

**松島充代子, 北市清幸, 巽 康彰, 長谷川高明, 高木健三**

ラット腹腔肥満細胞からのヒスタミン遊離に及ぼす Adrenomedullin および CGRP の効果 (Jpn J Allerg 51(9/10) : 136, 2002)

第52回日本アレルギー学会総会, 2002.10 (横浜)

UEYAMA Jun, **KITAICHI Kiyoyuki**, DOI Yuko, **TAKAGI Kenzo**, **HASEGAWA Takaaki**

The lack of involvement of TNF- $\alpha$ , IL-1 and PAF in endotoxin-induced decrease in hepatic drug-metabolizing enzyme activity. (Clin Chem Lab Med 40(Suppl.) : S297, 2002)

18th International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine, 2002.10 (Kyoto)

**北市清幸**, 森島恒雄

インフルエンザ脳炎・脳症における NSAIDs の影響について

平成14年度第2回厚生労働省インフルエンザ脳炎・脳症研究班会議, 2002.11 (東京)

木村匡男, 中山寛尚, 灘井雅行, ZHAO Ying Lan, **北市清幸**, **長谷川高明**, 吉住秀夫

デキサメタゾン処置ラットにおける薬物代謝酵素および薬物輸送担体を介した体内動態の変化に関する研究 (講演要旨集 p 259, 2002)

第17回日本薬物動態学会年会, 2002.11 (東京)

ISHIGURO Kazuhiro, **KOJIMA Tetsuhito**, NAKAYAMA Yukiko, **TAKAGI Akira**, YAMAMOTO Koji, MATSUSHITA

Tadashi, KUSUGAMI Kazuo, MURAMATSU Takashi, SAITO Hidehiko

Syndecan-4 deficiency impairs the fetal vessels in the placental labyrinth. (Abstract. p 112, 2002)

COE International Symposium on Receptors and Ion Transporters in Cardiovascular System, 2002.2 (Suita)

**KOJIMA Tetsuhito**

Antithrombin deficient mice

3rd International Symposium on Serpin Biology, Structure and Function, 2002.6 (Chicago, USA)

**KOJIMA Tetsuhito**, YANADA Masamitsu, ISHIGURO Kazuhiro, **TAKAGI Akira**, **MURATE Takashi**, YAMAMOTO

Koji, MATSUSHITA Tadashi, SAITO Hidehiko

Free paper (oral) : Antithrombin deficient in mice. (Int J Hematol 76(Suppl.) : 28, 2002)

29th World Congress of the International Society of Hematology, 2002.8 (Seoul, Korea)

**KOJIMA Tetsuhito**

Education program 3 : Update on hypercoagulability. Targeted gene disruption of natural anticoagulant proteins in mice

29th World Congress of the International Society of Hematology, 2002.8 (Seoul, Korea)

国島伸治, 井上知加子, 神谷 忠, 小澤和郎, **小嶋哲人**, 松下 正, 迫 正廣, 木村文彦

白血球封入体を伴う巨大血小板減少症好中球における A 型細胞性ミオシン重鎖の免疫蛍光染色解析

日本血液学会, 2002.9 (横浜)

山本晃士, 下川高賢, 竹下享典, 柳田正光, 松下 正, **小嶋哲人**, 齋藤英彦

拘束ストレス負荷における Tissue factor の組織特異的発現

日本血液学会, 2002.9 (横浜)

足立達哉, 松下 正, 足立弘明, 渡邊英孝, 祖父江 元, 下山芳江, 山本晃士, 小嶋哲人, 齋藤英彦  
血友病 A 患者に発症した多彩な症状を呈する結節性動脈周囲炎  
日本臨床血液学会, 2002.9 (横浜)

#### 倉科正徳

細胞傷害性乳腺症の細胞像と病理組織学的特徴 (プログラム p 10, 2002)  
第21回日本臨床細胞学会東海連合会総会, 2002.3 (名古屋)

**MURATE Takashi**, BANNO Yoshiko, KOIZUMI-TAMIYA Keiko, MORI Naoyoshi, WADA Atsushi, IGARASHI  
Yasuyuki, **TAKAGI Akira**, NOZAWA Yoshinori

Human sphingosine kinase 1 : its localization and transcriptional control. (Exp Hematol 30(6, Suppl. 1) : 102, 2002)  
31st Annual Meeting / International Society for Experimental Hematology, 2002.7 (Montreal, Canada)

**野田明子**, **古池保雄**, 岩山範久, 安田宜成, 杉浦建生, 中井 滋, 前田憲志, 伊藤菜美, 本多久美子, 粥川裕平, 太  
田龍朗, 中田誠一, 中島 務, 岡田 保, 横田充弘

透析患者における睡眠習慣と睡眠障害に関するアンケート調査  
第28回睡眠呼吸障害研究会, 2002.2 (東京)

伊藤菜美, **野田明子**, 早野順一郎, **古池保雄**, 岩山範久, 安田宜成, 杉浦建生, 中井 滋, 前田健志, 安間文彦, 本  
多久美子, 岡田 保, 井澤英夫, 西澤孝夫, **岩瀬三紀**, 横田充弘

閉塞性睡眠時無呼吸症候群における心拍変動解析による BiPAP 療法評価の有用性  
第28回睡眠呼吸障害研究会, 2002.2 (東京)

宮田聖子, **野田明子**, 岩山範久, 中井 滋, 比企能之, 新里高弘, 伊藤菜美, 本多久美子, **古池保雄**, 前田憲志  
一般外来患者における動脈硬化指標の検討 (抄録集 p 111, 2002)

第4回日本在宅医学会大会, 2002.2 (名古屋)

#### 野田明子, 古池保雄

SAS の治療—nCPAP を中心に— (抄録集 p 57, 2002)

第4回日本在宅医学会大会, 2002.2 (名古屋)

岩山範久, **野田明子**, **古池保雄**, 前田憲志

透析患者の睡眠障害 (抄録集 p 59, 2002)

第4回日本在宅医学会大会, 2002.2 (名古屋)

中田誠一, 八木英仁, 三沢逸人, **野田明子**, 中島 務

睡眠障害に対する相違する検査法の問題点

愛知耳鼻咽喉科フォーラム, 2002.5 (名古屋)

宮尾悦子, 澤木佳弘, **野田明子**, 池松亮子

長期スプリント治療後, 上顎骨延長術施行した閉塞性睡眠時無呼吸症候群の一例

第29回睡眠呼吸障害研究会, 2002.7 (東京)

三村民江, **野田明子**, 中田誠一, 八木英仁, 柳 絵里子, 三沢逸人, 中島 務



小児扁桃肥大，アデノイド増殖患者における睡眠呼吸障害指標の検討  
第29回睡眠呼吸障害研究会，2002.7（東京）

中田誠一，**野田明子**，深津 博，八木英仁，柳 絵里子，鈴木啓介，森島美歩，堀江友子，国枝千嘉子，三沢逸人，  
中島 務

自然睡眠下 Dynamic MRI における睡眠時無呼吸症候群の閉塞部位診断における検討  
第29回睡眠呼吸障害研究会，2002.7（東京）

井澤英夫，曾村富士，山田 晶，永田浩三，武市康志，梅田久視，磯部 智，野々川 信，近藤隆久，室原豊明，西  
澤孝夫，横田充弘，**野田明子**，**岩瀬三紀**

肥大心の収縮予備能の破綻と分子機序  
第52回循環器負荷研究会，2002.8（東京）

梅田久視，井澤英夫，山田 晶，曾村富士，堀場 充，武市康志，高田康信，磯部 智，近藤隆久，因田恭也，赤星  
誠，野々川 信，永田浩三，平井眞理，西澤孝夫，横田充弘，**野田明子**，**岩瀬三紀**

労作性狭心症における頻度依存性心筋弛緩特性の二相性変化：心筋虚血の新しいマーカー  
第52回循環器負荷研究会，2002.8（東京）

**野田明子**，宮尾悦子，深津 博，中田誠一，中島 務，岩山範久，安間文彦，太田龍朗，横田充弘，岡田 保，**古池  
保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群における Oral appliance の治療効果  
第13回東海睡眠呼吸障害研究会，2002.9（名古屋）

宮田聖子，**野田明子**，**古池保雄**，本多久美子，岩山範久，杉浦建生，安田宜成，中井 滋，岡田 保，太田龍朗  
透析患者における睡眠障害

第13回東海睡眠呼吸障害研究会，2002.9（名古屋）

梅田久視，井澤英夫，永田浩三，西澤孝夫，武市康志，曾村富士，**野田明子**，磯部 智，平井眞理，**岩瀬三紀**，横田  
充弘

労作性狭心症における頻度依存性心筋弛緩特性の二相性変化：心筋虚血の新しいマーカー  
第50回日本心臓病学会，2002.9（名古屋）

宮田聖子，**野田明子**，本多久美子，伊藤理恵子，吉子健一，山田 廣

在宅スクリーニングによる閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群の CPAP 治療経過観察（抄録集 p 163，2002）  
第41回中部医学検査学会，2002.10（富山）

伊藤菜美，**野田明子**，宮田聖子，川岸郁子，松原宏紀，山田 廣

閉塞性睡眠時無呼吸低呼吸症候群における終夜睡眠ポリグラム心拍変動解析（抄録集 p 162，2002）  
第41回中部医学検査学会，2002.10（富山）

伊藤菜美，**野田明子**，宮田聖子，**古池保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群における心拍変動と治療効果との関係（日本臨床生理学会雑誌 32：98，2002）  
第39回日本臨床生理学会，2002.10（金沢）

宮田聖子, **野田明子**, 本多久美子, **古池保雄**

昼間の睡眠ポリグラフィによる重症睡眠呼吸障害患者の検出 (日本臨床生理学会雑誌 32:96, 2002)  
第39回日本臨床生理学会, 2002.10 (金沢)

石見亜紀, **野田明子**, **岩瀬三紀**, 横田充弘.

組織ドブラ法心筋速度勾配による拡張型心筋症の拡張機能評価 (日本臨床生理学会雑誌 32:122, 2002)  
第39回日本臨床生理学会, 2002.10 (金沢)

本多久美子, **野田明子**, 宮田聖子, **古池保雄**

閉塞性睡眠時無呼吸症候群の経過観察における在宅スクリーニングの有用性 (日本臨床生理学会雑誌 32:97, 2002)  
第39回日本臨床生理学会, 2002.10 (金沢)

KATO Tomoko, **NODA Akiko**, IZAWA Hideo, NISHIZAWA Takao, SOMURA Fuji, NAGATA Kohzo, **IWASE Mitsunori**, YOKOTA Mitsuhiro

Depressed peak negative myocardial velocity gradient could predict diastolic dysfunction characterized by prolonged left ventricular relaxation and elevated left ventricular end diastolic pressure  
Scientific Sessions 2002 / American Heart Association, 2002.11 (Chicago, USA)

SOMURA Fuji, HIRASHIKI Akihiro, UMEDA Hisashi, KIM Il Sung, TAKEICHI Yasusi, NISHIZAWA Takao, IZAWA Hideo, **NODA Akiko**, NAGATA Kohzo, **IWASE Mitsunori**, YOKOTA Mitsuhiro

Reduced myocardial abundance of Ca<sup>2+</sup>-handling protein mRNAs and tachycardia-induced mechanical alternans in patients with idiopathic dilated cardiomyopathy  
Scientific Sessions 2002 / American Heart Association, 2002.11 (Chicago, USA)

西澤孝夫, **野田明子**, 山田 晶, 曾村富士, 井澤英夫, 永田浩三, 磯部 智, 野々川 真, **岩瀬三紀**, 室原豊明, 横田充弘

心筋症における血清カルニチン測定の意義  
第119回日本循環器学会東海地方会, 2002.11 (名古屋)

石見亜紀, **野田明子**, 新美佐保, 宮田聖子, 加藤洋介, **岩瀬三紀**, **古池保雄**, 横田充弘

健常人における負荷心エコー法による運動時の心機能評価  
第18回日本超音波医学会中部地方会, 2002.11 (名古屋)

酒井 潔, NORBÄCK Dan, MI Yahong, **柴田英治**, 上島通浩, 山田哲也, 三谷一憲, 竹内康浩

日本とスウェーデンにおける住環境中空気汚染物質濃度の比較 (日本衛生学会雑誌 57:336, 2002)  
第72回日本衛生学会総会, 2002.3 (津)

上島通浩, 酒井 潔, **柴田英治**, 山田哲也, 糸原誠一朗, 大野浩之, 王 海蘭, 市原 学, 竹内康浩

2-エチル-1-ヘキサノールによると考えられたシックビルディング症候群 (日本衛生学雑誌 57:290, 2002)  
第72回日本衛生学会総会, 2002.3 (津)

市原 学, 李 衛華, **柴田英治**, 丁 訓誠, 上島通浩, 王 海蘭, 梁 亦鄧, 彭 四盟, 糸原誠一朗, 山田哲也, 竹内康浩

1-ブロモプロパン工場労働者の神経障害 (産業衛生学雑誌 44(Suppl.):343, 2002)

第75回日本産業衛生学会，2002.4（神戸）

上島通浩，日比初紀，市原 学，山田哲也，王 海蘭，糸原誠一郎，**柴田英治**，竹内康浩  
不妊症外来受診者における職業歴の検討（産業衛生学雑誌 44(Suppl.)：344，2002）  
第75回日本産業衛生学会，2002.4（神戸）

**柴田英治**，毛利一平，久保田 均，久永直見，孫 健，上島通浩  
職業がん—建設業にみるがん死亡とリスク—（講演集 pp14-15，2002）  
平成14年度日本産業衛生学会東海地方会学会，2002.10（津）

**柴田英治**，上島通浩，酒井 潔，大野浩之，糸原誠一郎，竹内康浩，那須民江  
室内環境中の2-エチル-1-ヘキサノール（室内環境学会誌 5（2）：142-143，2002）  
平成14年度室内環境学会総会・研究発表会，2002.12（東京）

塚原明子，田川容子，金子桐子，山田貴之，中出祐介，**高木 明**，**村手 隆**，**小嶋哲人**  
血液凝固第 XI 因子欠損症の遺伝子解析  
第3回愛知県医学検査学会，2002.5（豊橋）

岡田浩美，中出祐介，**高木 明**，**村手 隆**，松下 正，田中美保子，中 宏之，杉本充彦，吉岡 章，齋藤英彦，**小嶋哲人**  
プロテイン S 欠損症一家系の遺伝子解析  
第25回日本血栓止血学会学術集会，2002.11（神戸）

塚原明子，山田貴之，中出祐介，**高木 明**，**村手 隆**，足立達哉，柳田正光，山本晃士，松下 正，齋藤英彦，**小嶋哲人**  
複合ヘテロ遺伝子異常による血液凝固第 XI 因子欠損症の一例  
第25回日本血栓止血学会学術集会，2002.11（神戸）

伊藤由起，齋藤 勲，**高木健次**，**柴田英治**，**高木健三**  
病院給食中フタル酸エステル類の残留実態調査（日本職業・環境アレルギー学会雑誌 10（1）：33，2002）  
第33回日本職業・環境アレルギー学会，2002.6（横浜）

柳田光輝，平野幸伸，長谷川祐一，柴山 靖，佐野哲也，張本浩平，錢田良博，有馬征宏，石黒祥太郎，**高木健次**，  
鈴木重行  
臨床研究における痛みの評価方法—PAIN における最近の傾向（理学療法学 29（Suppl.2）：296，2002）  
第37回日本理学療法学会学術大会，2002.7（静岡）

**高木健三**  
気管支喘息治療におけるテオフィリン製剤の役割  
第42回日本呼吸器学会総会教育講演，2002.4（仙台）

**高木健三**  
β 刺激薬の未来  
第52回日本アレルギー学会総会教育セミナー，2002.11（横浜）

吉田和仁，馬場研二，若山英雄，八木健郎，丹羽さやか，松井聖子，松原綾子，小石川 功，関井威彦，**高木健三**  
当科での喘息管理におけるテオフィリン徐放剤の使用状況—その妥当性を含めた検討—  
第52回日本アレルギー学会総会，2002.11（横浜）

#### **横井豊治**

今後の病理検査技術と診断法：病理医と技術者の関わり（公開シンポジウム 病理医と病理関係技術員：新しい関係論）

第91回日本病理学会総会，2002.3（横浜）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**，鈴木隆二郎，野田康信，大石尚史，加藤聡之，**高木健三**

外科的肺生検後に急性増悪を呈した間質性肺炎症例の検討

第42回日本呼吸器学会，2002.4（仙台）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**，鈴木隆二郎，野田康信，大石尚史，加藤聡之，進藤 丈，松本修一，**高木健三**

特発性肺線維症における HRCT での蜂巢肺所見の予後に与える影響

第42回日本呼吸器学会，2002.4（仙台）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**

BALF リンパ球増多を認めた特発性肺線維症急性増悪の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**

開鏡肺生検にて診断した特発性肺線維症急性増悪の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**

急性間質性肺炎との鑑別が問題となる特発性肺線維症急性増悪の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**

検診発見11ヶ月後に急性増悪に陥った特発性肺線維症の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

近藤康博，谷口博之，西山 理，**横井豊治**

特異な画像所見を呈し外科的肺生検にて特発性肺線維症急性増悪との鑑別が問題となった1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

那須英紀，中 敏夫，川崎貞男，篠崎正博，**横井豊治**

挿管人工呼吸管理下の開鏡肺生検にて診断し得た特発性肺線維症急性増悪の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

木村智樹，長谷哲成，清水潤一，牧野 靖，大橋能理，若原恵子，水谷 宏，進藤 丈，堀場通明，**横井豊治**

特発性肺線維症の急性増悪に対し胸腔鏡下肺生検後，肺癭を来した1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

鈴木 清，水谷 宏，**横井豊治**

BOOP 様所見を呈した特発性肺線維症の急性増悪の1例

第66回間質性肺疾患研究会，2002.6（東京）

中尾彰宏，長竹正明，松永宏之，神谷里明，渡邊俊明，浅井昌美，**横井豊治**

嚢胞内感染症状にて発症し肺膿瘍との鑑別が困難であった巨大嚢胞形成性の肺胞上皮癌の1手術例

第81回中部肺癌学会，2002.9（岐阜）

浅野 敦，今吉由美，**横井豊治**，浅井昌美

顎下腺 Oncocytic carcinoma の一例

第41回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会，2002.11（下関）

高納 崇，田中 繁，鈴木裕太郎，野崎裕広，吉本鉄介，中西和夫，西脇敬祐，村上 榮，**横井豊治**

Acute Interstitial Pneumonia（AIP）の1剖検例

第82回日本呼吸器学会東海地方学会，2002.11（四日市）

松井聖子，馬場研二，吉田和仁，若山英雄，松原綾子，八木健郎，丹羽さやか，永田昌久，加藤真司，近藤一男，原一夫，**横井豊治**

IPF/UIP 症例に対するステロイド+免疫抑制剤療法

第82回日本呼吸器学会東海地方学会，2002.11（四日市）

#### 〔公開講座・講演会〕

**長谷川高明**

薬物相互作用のABC（内科専門医会誌 14：324-338，2002）

第13回認定内科専門医会講演会特別講演「内科医に必要な薬物相互作用の知識」，2002.3（名古屋）

**岩瀬三紀**

心不全：最近の話題・β遮断薬治療を中心にして

東区医師会定例集会学術講演会，2002.2（名古屋）

**岩瀬三紀**

高血圧症の薬物療法：最近の進歩

平成14年度名城大学薬学部卒後教育講演会，2002.5（名古屋）

**岩瀬三紀**

心臓における交感神経の意義

北区医師会学術講演会，2002.9（名古屋）

**北市清幸**

薬物依存症における生体膜輸送能の変化—覚醒剤依存動物モデルを用いた検討—

文部科学省学術フロンティア推進事業名城大学生命薬学リサーチセンター講演会，2002.7（名古屋）

**北市清幸，長谷川高明**

「抗炎症薬，消化性潰瘍治療薬」～処方監査と服薬指導のための知っておくべき薬物動態学的基礎知識～  
第7回摂南大学校友会摂南薬友会定例勉強会，2002.12（大阪）

**小嶋哲人**

Syndecan-4(Ryudocan)とアンチトロンビンの欠失マウス作製解析  
平成14年テストチーム研究会招待講演，2002.1（熊本）

**小嶋哲人**

ジーンターゲットング法を用いた血液凝固制御分子の生体内機能解析  
第54回東海血栓症セミナー特別講演，2002.4（名古屋）

**柴田英治**

エチレンオキシドの毒性  
第1回社団法人日本作業環境測定協会東海支部愛知大会，2002.11（名古屋）

**柴田英治**

化学物質の健康リスク評価  
平成14年度愛知県化学物質管理セミナー，2002.11（名古屋）

**横井豊治**

呼吸器細胞診（その他の病変）  
日本臨床細胞学会東海連合会細胞診基礎講習会，2002.6（稲沢）

**横井豊治**

急性肺障害の病理について  
第8回呼吸器疾患研究会，2002.8（名古屋）

理学療法学専攻

〔原著論文〕

猪田邦雄, 加藤智香子, 河村守雄

高齢者の転倒予防

現代医学 49 : 311-320, 2002

OBA Toshiharu, KURONO Chieko, NAKAJIMA Ritsuko, TAKAISHI Tetsuo, **ISHIDA Kazuto**, FULLER Geraldine A., KLOMKLEAW Wuthichai, YAMAGUCHI Mamoru

H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> activates ryanodine receptor but has little effect on recovery of releasable Ca<sup>2+</sup> content after fatigue

J Appl Physiol 93 : 1999-2008, 2002

石田和人, 松田 輝, 鈴木重行

名古屋大学大学院修士過程設置へ向けての意識調査

愛知県理学療法士会誌 14(1) : 63-66, 2002

校條由紀, 小林身哉, 林 厚宏, 中山裕章, 小林邦彦

施灸刺激によるマウス真皮コラーゲン細線維の形態変化

解剖学雑誌 77 : 7-15, 2002

**KOEDA Tomoko**, SATO Jun, KUMAZAWA Takao, **TSUJII Yoichiro**, MIZUMURA Kazue

Effects of adrenoceptor antagonists on the cutaneous blood flow increase response to sympathetic nerve stimulation in rats with persistent inflammation

Jpn J Physiol 52 : 521-530, 2002

長谷川祐一, 平野幸伸, 銭田良博, 齊間康晴, 鈴木重行

整形外科疾患の慢性痛に対する物理療法の効果—VASとSF-MPQを指標として

日本物理療法学会会誌 9 : 37-41, 2002

平野幸伸, 山口育子, 水野直樹, 野田高虎, 鈴木重行

広帯域多重複合波治療の臨床的検討—肩関節周囲炎に対して—

日本物理療法学会会誌 9 : 43-48, 2002

鈴木重行, 浅井友詞

腰痛症に対する徒手療法の再考

理学療法 19 : 1279-1287, 2002

〔総説・解説・その他〕

猪田邦雄

骨・関節疾患のリハビリテーション—早期運動療法におけるCPM

医学と薬学 48 : 793-801, 2002

曾我部正博, 早川公英, 河上敬介, 成瀬恵治, 辰巳仁史



機械刺激に対する細胞の形態応答とインテグリン／細胞骨格系の役割  
日本バイオレオロジー学会誌 16：8-20, 2002

#### 河上敬介

機械刺激に対する細胞の形態応答  
理学療法ジャーナル 36：598-600, 2002

#### 肥田朋子

痛みと理学療法  
理学療法湖都 22：5-13, 2002

#### 鈴木重行, 平野幸伸

チーム医療における理学療法士の役割  
JIM 12：723-726, 2002

#### 鈴木重行

ストレッチングのコツ  
理学療法 19：480-489, 2002

#### 〔科研費・班研究等〕

小林邦彦, 猪田邦雄, 鈴木重行, 肥田朋子, 石田和人, 木山喬博, 河村守雄, 林 厚宏, 中山裕章, 校條由紀  
結合組織線維の三次元再構築：関節拘縮における線維走行の変化の超微構造学的検討  
平成12～13年度科学研究費補助金（基盤研究 C-2）研究成果報告書 1冊, 2002

#### 肥田朋子, 水村和枝, 猪田邦雄

慢性痛モデルにおける温熱, 寒冷療法の血流動態に対する効果  
平成12～13年度科学研究費補助金（基盤研究 C-2）研究成果報告書 1冊, 2002

#### 〔学会発表〕

#### 島岡 清, 村本名史, 猪田邦雄

デイケアセンター利用者の体力的特徴  
第6回日本体力医学会東海地方会学術集会, 2002.3（名古屋）

#### 石田和人, 飛田秀樹, 清水秀夫, 西野仁雄

Dark neuron は障害程度の違いにより細胞死に至るかあるいは回復する（海馬へのイボテン酸投与および運動負荷ストレスによる検討）（予稿集 p 278, 2002）  
第79回日本生理学会大会, 2002.3（広島）

#### 神田佳恵, 相原徳孝, 飛田秀樹, 石田和人, 西野仁雄, 山田和雄

線条体出血モデル動物の機能評価法の検討（プログラム・予稿集 p 40, 2002）

第17回神経組織の成長・再生・移植研究会, 2002.6 (東京)

**石田和人**, 飛田秀樹, 西野仁雄

ラット海馬へのイボテン酸投与により出現する dark neuron とその経過 (理学療法学 29(Suppl.2) : 389, 2002)  
第37回日本理学療法学会, 2002.7 (静岡)

新美佳子, 森川由紀子, 遠山宏江, **石田和人**, 猪田邦雄, 小林邦彦

脳出血ラットモデルにおける脳組織と運動機能の回復過程 (理学療法の医学的基礎 6(1) : 16, 2002)  
第7回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2002.7 (名古屋)

神田佳恵, 相原徳孝, 山田和雄, 飛田秀樹, 西野仁雄, **石田和人**

コラゲナーゼ注入による線条体出血ラットの神経機能評価  
第18回不随意運動研究会, 2002.7 (名古屋)

**石田和人**, 清水秀夫, 飛田秀樹, 西野仁雄

過度な水泳負荷ストレスによりラット海馬に出現する dark neuron とその経過  
第49回中部日本生理学会, 2002.10 (富山)

TATSUMI Hitoshi, **KAWAKAMI Keisuke**, SOKABE Masahiro

Analysis of clustering and mechanodependent adsorption of integrin at focal contacts of endothelial cells by multimode light microscopy. (Biophys J 82(1, Pt. 2) : 10a, 2002)  
46th Annual Meeting of Biophysical Society, 2002.2 (San Francisco, USA)

**KAWAKAMI Keisuke**, TATSUMI Hitoshi, HAYAKAWA Kimihide, MIYAZU Motoi, SOKABE Masahiro

Mechanical stimuli applied on the focal contact facilitates endocytosis of integrins in endothelial cells. (Jpn J Physiol 52(Suppl.) : S31, 2002)  
79th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, 2002.3 (Hiroshima)

SOKABE Masahiro, **KAWAKAMI Keisuke**, TATSUMI Hitoshi, NARUSE Keiji

Spatial-information processing in the cell : SA channels, adhesion molecules, and cytoskeletons. (Jpn J Physiol 52(Suppl.) : S3, 2002)  
79th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, 2002.3 (Hiroshima)

曾我部正博, **河上敬介**, 早川公英, 辰巳仁史

内皮細胞における接着斑のダイナミックスと機械刺激に対する応答 (プログラム・抄録集 p 42, 2002)  
第25回日本バイオレオロジー学会年会, 2002.6 (松本)

岩井 歩, **河上敬介**, 木山喬博

低負荷時の筋収縮と筋断面形状の変化 (理学療法の医学的基礎 6(1) : 23, 2002)  
第7回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2002.7 (名古屋)

長谷川仁郎, **河上敬介**, 小林邦彦

筋連結の肉眼解剖学のおよび運動学的観察 (理学療法の医学的基礎 6(1) : 22, 2002)  
第7回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2002.7 (名古屋)

**河上敬介, 宮津真寿美, 辰巳仁史, 早川公英, 宮津 基, 曾我部正博**  
機械刺激による接着斑崩壊の分子機構 (理学療法学 29(Suppl.2) : 390, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

**岩井 歩, 河上敬介, 木山喬博**  
超音波診断装置による筋の定量的評価 (理学療法学 29(Suppl.2) : 347, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

**長谷川仁郎, 河上敬介, 小林邦彦**  
大殿筋の収縮により大腿四頭筋は牽引される (理学療法学 29(Suppl.2) : 274, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

**曾我部正博, 河上敬介, 早川公英, 成瀬恵治, 辰巳仁史**  
機械刺激による細胞の形づくり (バイオイメージング 11(3) : S11-S16, 2002)  
第11回日本バイオイメージング学会学術集会, 2002.10 (名古屋)

**河上敬介, 辰巳仁史, 早川公英, 清島大資, 曾我部正博**  
力学刺激により血管内皮細胞の接着斑の integrin の endocytosis が活性化する (生物物理 42(Suppl.) : S194, 2002)  
第40回日本生物物理学会年会, 2002.11 (名古屋)

**TATSUMI Hitoshi, KAWAKAMI Keisuke, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro**  
Mechanical stimulus to focal contacts activates endocytosis of integrin in endothelial cells. (Abstract. p 9, 2002)  
13th ATI International Forum and ICORP Cell Mechanosensing Special Symposium, 2002.11 (Nagoya)

**KAWAKAMI Keisuke, TATSUMI Hitoshi, HAYAKAWA Kimihide, KIYOSHIMA Daisuke, SOKABE Masahiro**  
Endocytosis of integrins is facilitated by mechanical stimulus applied on the focal contact in endothelial cells. (Mol Biol Cell 13(Suppl.) : 337a, 2002)  
42nd Annual Meeting of the American Society for Cell Biology, 2002.12 (San Francisco, USA)

**池野倫弘, 片岡幸恵, 鶴田 猛, 河村守雄**  
ラットを用いた膝関節拘縮モデルの作成と定量的評価  
第16回東海北陸理学療法士学会, 2002.11 (名古屋)

**木山喬博, 戸田秀彦, 勝水健吾, 岩井 歩**  
超音波導子の固定法と移動法による骨片温度上昇の違い (理学療法学 29(Suppl.2) : 246, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

**勝水健吾, 木山喬博**  
超音波照射時の骨片の温度変化—連続波と間欠波の違い (理学療法学 29(Suppl.2) : 213, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

**校條由紀, 小林身哉, 林 厚宏, 中山裕章, 小林邦彦**  
鍼灸刺激後の損傷修復過程におけるマウス皮膚の組織化学的变化 (解剖学雑誌 77(Suppl.) : 67, 2002)  
第107回日本解剖学会総会・全国学術集会, 2002.3 (浜松)

MENJO Yuki, KOBAYASHI Miya, HAYASHI Atsuhiko, NAKAYAMA Hiroaki, **KOBAYASHI Kunihiko**  
Ultrastructural and histochemical studies on the remodeling of dermal connective tissue of mouse after moxibustion  
treatment  
5th Symposium of Pan-Pacific Connective Tissue Societies, 2002.4 (Hamamatsu)

KOBAYASHI Miya, **KOBAYASHI Kunihiko**, FUJITA Yoshikazu, HIROTA Arisa, KOYAMA Yoh-ichi  
Biochemical and ultrastructural characteristics of collagen molecules in chronically inflamed skin of mice  
18th Federation of European Connective Tissue Societies Meeting, 2002.7 (Brighton, UK)

鈴木和代, 小林身哉, **小林邦彦**, 中野 隆  
マウス胎盤の成熟過程の走査型電子顕微鏡像と3次元立体再構築像との対応 (解剖学雑誌 78(Suppl.) : 330, 2003)  
第62回日本解剖学会中部支部学術集会, 2002.10 (豊明)

KOBAYASHI Honami, KOBAYASHI Miya, **KOBAYASHI Kunihiko**, KUNO Naohiko  
In vitro calcification model and its relation to placental pathology  
1st Meeting of the American Society for Matrix Biology, 2002.11 (Houston, USA)

**KOEDA Tomoko**, SATO Jun, KUMAZAWA Takao, MIZUMURA Kazue  
Vasodilatation of hindpaw plantar skin induced by lumbar sympathetic nerve stimulation in rats with chronic  
constriction injury of the sciatic nerve. (Jpn J Physiol 52(Suppl.) : S226, 2002)  
79th Annual Meeting of the Physiological Society of Japan, 2002.3 (Hiroshima)

渡部真志, 須藤和晃, 清水裕勝, 増原俊幸, **肥田朋子**  
圧迫に対する反発力から見る筋の深さと, 圧迫速度が筋硬度へ与える影響 (理学療法の医学的基礎 6(1) : 25,  
2002)  
第7回理学療法の医学的基礎研究会学術集会, 2002.7 (名古屋)

張本浩平, **鈴木重行**  
ストレッチの回数と種類の違いが頸椎関節可動域に及ぼす影響 (理学療法学 29(Suppl.2) : 78, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

柳田光輝, 平野幸伸, 長谷川祐一, 柴山 靖, 佐野哲也, 張本浩平, 錢田良博, 有馬征宏, 石黒祥太郎, 高木健次,  
**鈴木重行**  
臨床研究における痛みの評価方法—PAINにおける最近の傾向 (理学療法学 29(Suppl.2) : 296, 2002)  
第37回日本理学療法学術大会, 2002.7 (静岡)

〔公開講座・講演会〕

**猪田邦雄**  
骨折の機能的治療とリハビリテーション  
日本医師会生涯教育講座, 2002.9 (名古屋)

**猪田邦雄**

スポーツと健康：パートⅡ—生涯健康をめざして努力すれば報われる？—  
平成14年度名古屋大学医学部医学科公開講座，2002.10（名古屋）

**猪田邦雄**

スポーツや運動の効果—最大酸素摂取量の維持—  
田代学区老人会，2002.10（名古屋）

**猪田邦雄**

スポーツ外傷とスポーツ障害  
沼津東高校主催「大学出張講義」，2002.10（沼津）

**石田和人**

理学療法の科学性・研究  
愛知県理学療法士会新人教育プログラム，2002.7（名古屋）

**石田和人**

「筋電図による筋機能の評価」周波数分析  
第570回日本理学療法士協会現職者短期講習会，2002.10（名古屋）

**石田和人**

脳科学の進歩と理学療法  
第42回中部理学療法学会特別講演，2002.11（名古屋）

**河上敬介**

筋の解剖学的特徴と触察法—肩後面の筋を中心として—  
第22回社団法人高知県理学療法士協会現職者講習会，2002.8（高知）

**河村守雄**

腰痛の原因とその対策—予防と運動—  
名古屋大学総合保健体育科学センター公開講座，2002.7（名古屋）

**河村守雄**

頰椎症の病態評価とリハビリテーション  
日本医師会生涯教育講座，2002.9（名古屋）

**河村守雄**

腰痛疾患の診断と治療  
聖霊病院病診連携教育講演，2002.9（名古屋）

**河村守雄**

腰痛性疾患の診断と治療のこつ  
尾北医師会生涯教育講演，2002.9（江南）

**河村守雄**

腰を大切に—腰痛の原因と予防対策—  
高齢者ささやかセミナー，2002.11（名古屋）

**河村守雄**

骨粗鬆症の予防（1）  
尾張旭市骨粗鬆症検診講演，2002.12（尾張旭）

**河村守雄**

骨粗鬆症の予防（2）  
尾張旭市骨粗鬆症検診講演，2002.12（尾張旭）

# 作業療法学専攻

〔著書〕

高柳哲也, 藤田紘一郎, 宮尾 克, 真野行生, 高柳泰世, 高柳友子, 鷺巣月美, 原 和子, 青木人志, 山口千津子, 朴 善子, 山崎恵子, 土田隆政

人適応科学から見た介助犬と障害者のリハビリテーション

『介助犬を知る：肢体不自由者の自立のために』（高柳哲也編）名古屋大学出版会，2002. pp 210-224

杉村公也

第5章 神経疾患のリハビリテーション | 機能評価とリハビリテーションプラン

『脳・神経系疾患（看護のための最新医学講座 第1巻）』（祖父江元編集）中山書店，2002. pp 573-586

鈴木國文

〔項目〕 去勢／形象性／性欲／他者／ラノイア

『精神分析事典』（小此木啓吾編集代表）岩崎学術出版社，2002. p 100, 109, 293, 324, 397

〔原著論文〕

原 和子

臨床実習内容の検討：実習総時間数の減少にともなう内容の変遷と対応  
作業療法ジャーナル 36：1064-1068, 2002

KAKIGI Ryusuke, WATANABE Shoko, TRAN Tuan Diep, INUI Koji, LAM Khanh, QIU Yunhai, WANG Xiaohong, YAMASAKI Hiroshi, **HOSHIYAMA Minoru**  
Neurophysiologic Assessment of pain  
Adv Clin Neurophysiol 54：151-155, 2002

INUI Koji, TRAN Tuan Diep, QIU Yunhai, WANG Xiaohong, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke  
Pain-related magnetic fields evoked by intra-epidermal electrical stimulation in humans  
Clin Neurophysiol 113：298-304, 2002

**HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke  
New concept for the recovery function of short-latency somatosensory evoked cortical potentials following median nerve stimulation  
Clin Neurophysiol 113：534-541, 2002

TRAN Tuan Diep, INUI Koji, **HOSHIYAMA Minoru**, LAM Khanh, QIU Yunhai, KAKIGI Ryusuke  
Cerebral activation by the signals ascending through unmyelinated C-fibers in humans : a magnetoencephalographic study  
Neuroscience 113：375-386, 2002

TRAN Tuan Diep, INUI Koji, **HOSHIYAMA Minoru**, LAM Khanh, KAKIGI Ryusuke  
Conduction velocity of the spinothalamic tract following CO<sub>2</sub> laser stimulation of C-fibers in humans  
Pain 95：125-131, 2002



INUI Koji, TRAN Tuan Diep, **HOSHIYAMA Minoru**, KAKIGI Ryusuke  
Preferential stimulation of A $\delta$  fibers by intra-epidermal needle electrode in humans  
Pain 96 : 247-252, 2002

柿木隆介, 乾 幸二, **寶珠山 稔**, 渡辺昌子, TRAN Tuan Diep, 秋 云海, 王 曉宏  
痛覚認知機能の生理学的研究  
麻酔 51(Suppl.) : 115-124, 2002

**寶珠山 稔**, 柿木隆介  
正中神経刺激による短潜時体性感覚誘発脳磁界と脳電位の対応  
臨床脳波 44(2) : 91-96, 2002

**伊藤恵美**, 八田武志  
日本人の言語流暢性—日本語版言語流暢性テストの標準化にむけて—  
情報文化研究 15 : 81-96, 2002

**美和千尋**, 杉浦友美  
3種類の作業課題がヒトに与える心理反応  
愛知作業療法 10 : 3-8, 2002

水野美穂, **美和千尋**, **鈴木國文**, 向 文緒  
作業療法場面における療法士の位置の違いによる主観的および客観的変化  
作業療法 21 : 125-133, 2002

河原ゆう子, 永田まゆみ, 新美由紀, **美和千尋**, 岩瀬 敏  
ミストサウナとドライサウナが循環動態および体温調節機能に与える影響  
自律神経 39 : 402-408, 2002

河原ゆう子, 永田まゆみ, 新美由紀, **美和千尋**, 岩瀬 敏  
冬期入浴中の水位と湯温が生理・心理反応に及ぼす影響  
人間と生活環境 9(2) : 79-86, 2002

**美和千尋**, **杉村公也**, 川村陽一, 出口 晃, 岩瀬 敏  
40℃入浴時の循環動態と体温調節機能の変化における加齢の影響  
日本温泉気候物理医学会雑誌 65(4) : 187-193, 2002

**向 文緒**, 村野敦子, 西岡和郎, **鈴木國文**  
リハビリテーション過程にある精神分裂病の1症例—多職種によるチームアプローチを目指して—  
精神科治療学 17 : 95-101, 2002

出口 晃, 川村憲市, **杉村公也**  
回復期リハビリテーション病棟における脳血管障害患者への水中機能訓練と入浴  
日本温泉気候物理医学会雑誌 66(1) : 25-26, 2002

## 鈴木國文

心的因果性に見る近代

精神医学史研究 6(2):28-33, 2002

田吉伸哉, 中村曜子, 関 由賀子, 鈴木國文, 加藤 敏, 中安信夫

幻想的な幻覚と自傷行為を認め, 境界性人格障害と診断されていた一女性例 (前編)

精神科治療学 17:925-936, 2002

田吉伸哉, 中村曜子, 関 由賀子, 鈴木國文, 加藤 敏, 中安信夫

幻想的な幻覚と自傷行為を認め, 境界性人格障害と診断されていた一女性例 (後編)

精神科治療学 17:1055-1064, 2002

赤堀薫子, 村瀬聡美, 西岡和郎, 小川豊昭, 鈴木國文

「もの忘れ」を訴えて来院した二十代女性例

精神科治療学 17:1169-1176, 2002

鈴木保有, 西岡和郎, 赤堀薫子, 小河原尚泰, 小川豊昭, 鈴木國文

泣いてばかりいた青年の一症例

精神科治療学 17:1455-1461, 2002

諏訪真美, 鈴木國文

「一次性ひきこもり」の精神病理学的特徴

精神神経学雑誌 104:1228-1241, 2002

## 鈴木國文

分裂病の前駆期と他者

臨床精神病理 23(2):141-149, 2002

〔総説・解説・その他〕

## 原 和子

脊髄損傷者における介助犬の有用性と補助犬法

脊髄損傷の作業研究会ニュース 25:1-2, 2002

## 伊藤恵美

住民検診への認知機能検査の導入

愛知作業療法 10:23-25, 2002

森 明子, 安藤一也, 藤江正克, 関根正樹, 一関紀子, 田村俊也

パワーアシスト歩行支援機を用いた高齢者への歩行訓練の試み

総合リハビリテーション 30:953-956, 2002

## 杉村公也

痴呆性高齢者とともに生きる—地域医療・介護の理念—  
健康文化振興財団紀要 33：34-37, 2002

古橋忠晃, 鈴木國文  
偶像の再生—フロイトの無意識とニーチェ的無意識  
精神科治療学 17：803-808, 2002

〔科研費・班研究等〕

原 和子

介助犬適応段階における作業療法的評価と訓練目標の関係  
平成13年度厚生科学研究障害保健福祉総合研究事業介助犬研究班報告集 介助犬の適応障害と導入および効率的育成  
に関する調査研究—身体障害者に対する有用性と課題 pp 66-69, 2002

祖父江 元, 加知輝彦, 池田修一, 杉村公也, 寺沢捷年, 松本一年, 林 正男, 氏平高敏, 栗山 勝, 宮田和明, 渡  
辺幸夫, 松岡幸彦, 小長谷正明, 服部直樹, 小池春樹  
平成13年度中部地区スモン患者の実態  
平成13年度厚生科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班総括・分担研究報告書 pp 36  
-39, 2002

杉村公也, 清水英樹, 高田正男, 美和千尋, 伊藤恵美, 寶珠山 稔, 柴田澄江  
スモン患者における基本動作能力の経時変化  
平成13年度厚生科学研究費補助金（特定疾患対策研究事業）スモンに関する調査研究班総括・分担研究報告書 pp 132  
-134, 2002

〔学会発表〕

原 和子

作業課題の変化に及ぼす介助犬の影響  
第12回日本作業行動研究会総会, 2002.4（広島）

原 和子, 寶珠山 稔

机上動作における肩の閉鎖関節運動連鎖状態の設定（作業療法 21(Suppl.)：409, 2002）  
第36回日本作業療法学会, 2002.5（広島）

原 和子, 高柳泰世, 藤田晃弘, 宮尾 克

もうひとつのバリアフリー —見やすい点字ブロック—（作業療法 21(Suppl.)：649, 2002）  
第36回日本作業療法学会, 2002.5（広島）

原 和子, 高柳友子, 木村佳友

生きている自助具—介助犬— —介助犬の可能性と作業療法—（作業療法 21(Suppl.)：144, 2002）  
第36回日本作業療法学会, 2002.5（広島）

原 和子, 森 奈美佳, 渡辺崇史

ALSにおける重症度別スイッチの適応—障害者用ワープロソフトの操作における各種スイッチと身体部位の関係—  
(作業療法 21(Suppl.): 634, 2002)

第36回日本作業療法学会, 2002.5 (広島)

HARA Kazuko, MANO Yukio, TAKAYANAGI Tetsuya, TAKAYANAGI Tomoko, TSUCHIDA Takamasa

Service dogs in the occupational performance of disabled persons to change their needs

13th World Congress of Occupational Therapists, 2002.6 (Stockholm, Sweden)

HARA Kazuko, UEDA Masahiro

The influences of hand splints upon the motion at eating

13th World Congress of Occupational Therapists, 2002.6 (Stockholm, Sweden)

高柳泰世, 宮尾 克, 原 和子, 高柳友子

雇入時の色覚検査廃止, 学校保健の色覚検査削除後の対応 (日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録): 370, 2002)

第61回日本公衆衛生学会総会, 2002.10 (さいたま)

高柳友子, 高柳泰世, 原 和子, 宮尾 克

身体障害者補助犬法における公衆衛生学的基準と犬由来人畜共通感染症に関する調査—公衆衛生学的受け入れ状況についての若干の検討— (日本公衆衛生雑誌 49(10, 特別附録): 269, 2002)

第61回日本公衆衛生学会総会, 2002.10 (さいたま)

原 和子, 國見ゆみ子, 別府政敏, 野村 進, 安藤徳彦

介助犬希望者に対する事前適正評価—歩行バランスの動作分析から— (東海北陸作業療法学会誌 2: 79, 2002)

第2回東海北陸作業療法学会, 2002.11 (金沢)

渡辺崇史, 原 和子

着脱可能な乗用車乗降用補助いすの開発とその効果について (講演論文集 pp 246-252, 2002)

第2回日本機械学会福祉工学シンポジウム, 2002.11 (名古屋)

寶珠山 稔, 柿木隆介

正中神経刺激による体性感覚誘発電位の Recovery function

第32回日本臨床神経生理学会, 2002.11 (福島)

伊藤恵美, 八田武志

日本人健常者の言語流暢性機能の検討 (神経心理学 18(4): 258, 2002)

第26回日本神経心理学会, 2002.9 (東京)

ITO Yasuhiro, ITO Emi, HATTA Takeshi, YOSHIZAKI Kazuhito

Normative performance in the Digit-Cancellation-Test (D-CAT)

22nd Annual Meeting / National Academy of Neuropsychology, 2002.10 (Miami Beach, USA)

ITO Emi, HATTA Takeshi

Performance of verbal fluency tests in Japanese version. (Abstract. p 78, 2002)

Interbational Conference on Cognitive Orocessing of Chinese and Other Related Asian Languages 2002, 2002. 12  
(Taipei, Taiwan)

**美和千尋**, 打田奈津子

精神分裂病患者の興味調査 (愛知作業療法 10:43, 2002)  
第10回愛知作業療法学会, 2002.4 (豊川)

**美和千尋**, 飯田邦人

老人保健施設における入所者とデイケア通所者—介護度, 病名, 痴呆度, 介護者の関係, 家族数より— (作業療法  
21(Suppl.):227, 2002)  
第36回日本作業療法学会, 2002.5 (広島)

小川祐美子, 光松由紀子, 中島美奈子, **美和千尋**

患者の病態と作業内容との関連—女性分裂病患者を通して— (作業療法 21(Suppl.):326, 2002)  
第36回日本作業療法学会, 2002.5 (広島)

鈴木恵理, 出口 晃, 中村 覚, 川村直人, 川村憲市, 浜口 均, 川村陽一, **美和千尋**, 杉村公也

足浴時の鼻腔粘液繊毛輸送機能と鼓膜温との関係 (プログラム並びに講演要旨 p53, 2002)  
第67回日本温泉気候物理医学会総会, 2002.5 (群馬県草津町)

**美和千尋**, 杉村公也, 川村陽一, 出口 晃, 岩瀬 敏

40℃入浴時の循環動態と体温調節機能に年齢が及ぼす影響 (プログラム並びに講演要旨 p56, 2002)  
第67回日本温泉気候物理医学会総会, 2002.5 (群馬県草津町)

**森 明子**, 齋藤さわ子, 長谷川久美, 前田裕美

グループホームにおける OT の関わり—AMPS を用いて— (作業療法 21(Suppl.):290, 2002)  
第36回日本作業療法学会, 2002.5 (広島)

**向 文緒**, **美和千尋**, 新宮尚人, 田口 修, 名和郁子, 鈴木國文

東海地区における精神科作業療法の実態—プログラムと病院組織及び対象者に注目して— (作業療法 21(Suppl.):  
557, 2002)  
第36回日本作業療法学会, 2002.5 (広島)

**清水英樹**

作業療法の立場から見たクリニカルパス (総合リハビリテーション 30(7):673, 2002)  
第36回東海リハビリテーション懇話会, 2002.4 (名古屋)

**SHIMIZU Hideki**, **SUGIMURA Kimiya**, **TAKADA Masao**, **MIWA Chihiro**, **SHIBATA Sumie**

Self-understanding of their handicaps in the patients with drug-induced disease  
13th World Congress of Occupational Therapists, 2002.6 (Stockholm, Sweden)

**清水英樹**, 齋藤洋典, 沖田庸嵩

自己関連情報に対する処理特性(2)—抑うつ傾向者の人物形容語に対する処理の特徴— (発表論文集 p583, 2002)  
第66回日本心理学会大会, 2002.9 (東広島)

**SUZUKI Kunifumi**

Social-phobia and "Witz" in Japan (Abstract. 1 : 180, 2002)

12th World Congress of Psychiatry, 2002.8 (Yokohama)

〔公開講座・講演会〕

**原 和子**

介助犬の現状と課題

上越市重度障害者の会講座, 2002.3 (上越)

**原 和子**

作業療法理論と臨床応用

三重県作業療法士会学会特別講演, 2002.3 (四日市)

**原 和子**

介助犬と暮らす

国立伊東重度障害者センター講演会, 2002.4 (伊東)

**原 和子**

障害福祉学

日本介助犬アカデミートレーナー養成講座, 2002.6 (東京)

**原 和子**

生きた自助具—補助犬：介助犬・盲導犬・聴導犬（『在宅障害者の自立支援—生活を支える環境・技術・交流—』pp 9-13, 2002）

平成14年度名古屋大学医学部保健学科公開講座, 2002.9 (名古屋)

**原 和子**

介助犬の作業療法的アプローチおよび補助犬法案について

兵庫県作業療法学会公開講座, 2002.9 (姫路)

**原 和子**

介助犬と暮らす

社会福祉法人徳充会青山彩光苑障害者週間講演会, 2002.11 (七尾)

**原 和子**

アジアにおける地域ぐるみの障害者リハビリテーション (CBR) と障害者の自立

作業療法学専攻自主公開講座, 2002.12 (名古屋)

**原 和子**

作業療法に関連した新規情報

愛知県作業療法協会新人教育プログラム, 2002.12 (名古屋)

#### **加賀谷 一**

福祉と医療の連携—総合的サービスの実現に向けて（『在宅障害者の自立支援—生活を支える環境・技術・交流—』 pp 21-26, 2002）

平成14年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2002.9（名古屋）

#### **向 文緒**

症例研究 2

平成14年度第 6 回日本作業療法士協会新人教育プログラム，2002.12（名古屋）

#### **清水英樹**

自分でできることをふやすために—移動動作を中心にした便利な機器—（『在宅障害者の自立支援—生活を支える環境・技術・交流—』 pp 14-20, 2002）

平成14年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2002.9（名古屋）

#### **杉村公也**

痴呆性高齢者のための地域医療のあり方

第 1 回尾北地区老人性痴呆疾患研究会，2002.5（犬山）

#### **杉村公也**

痴呆介護の基本的理解—痴呆性高齢者とその介護を理解するために—

平成14年度第 1 回名古屋市痴呆介護実務者研修基礎過程，2002.6（名古屋）

#### **杉村公也**

スモンの運動障害とその対策

スモンの集い，2002.11（名古屋）

#### **田川義勝**

生き甲斐のある生活獲得のために—作業療法からのメッセージ—（『在宅障害者の自立支援—生活を支える環境・技術・交流—』 pp 1-8, 2002）

平成14年度名古屋大学医学部保健学科公開講座，2002.9（名古屋）

## 編集後記

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報第6巻（2002年）を発行いたしましたので、当学科5専攻全教官の一年間の教育・研究業績をご覧ください。

2002年は修士課程がスタートした年であり、年報の各専攻の活動紹介のなかでも、この点に触れられています。さらに、本年度は修士課程の初めての卒業生を送り出すことになり、また、来年度からは博士課程（後期課程）が開設されることになっています。この当学科の大学院化への発展とともに、本年報の内容も変更していく必要があり、この点は来年度以降の課題と思われまます。また、国立大学は来年度から独立法人化され、自己評価と成果主義の波の中で各教官の教育・研究内容のさらなる充実が求められており、本年報はその一つの指標になるものと思われまます。

教育・研究業績数の流れは以下の通りです。

	第1巻 (1997年)	第2巻 (1998年)	第3巻 (1999年)	第4巻 (2000年)	第5巻 (2001年)	第6巻 (2002年)
著書	17	39	55	56	38	33
原著論文	58	123	141	163	137	175
総説・解説・その他	64	61	92	106	58	76
科研費・班研究等	6	12	10	26	23	19
その他の印刷物等	10	14	26	18	13	9
学会発表	115	173	252	268	246	287
公開講座・講演会	45	73	96	102	70	72
計	315	495	672	739	585	671

今年度も昨年に引き続いて編集作業を電子ファイリングシステムで行いました。この作業の課程でいろいろな試行錯誤はありましたが、このシステムが定着し始めたと思われまます。また、折角教育・研究年報の内容を電子媒体のデータとして残すのであれば、このデータを保健学科の広報活動に活用することや電子媒体として発刊することで、情報公開を求められる中でより広く当学科の存在や活動をアピールできると思われまます。この点も来年度以降の課題と思われまます。

最後に、力量不足の私を助けて、本年報の編集作業に携わっていただいた保健学情報掛の職員の皆様に深謝いたします。

2004年2月27日  
年報編集委員長 伊藤茂樹

### 年報編集委員

看護学専攻	神里みどり
放射線技術科学専攻	伊藤茂樹
検査技術科学専攻	野田明子
理学療法学専攻	河村守雄
作業療法学専攻	加賀谷一



---

名古屋大学医学部保健学科教育・研究年報 第6巻

2004年3月10日 発行

発行 名古屋大学医学部保健学科

〒461-8673 名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

TEL(052)719-1504

印刷 (株)荒川印刷

〒460-0012 名古屋市中区千代田2丁目16番38号

TEL(052)262-1006 (代表)

---